

令和 6 年度
川越市文化芸術及び生涯学習に関する
意識調査 報告書

川 越 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の設計	2
4	回答者の属性	2
5	集計と表記	4
II	調査票と回答結果	5
III	調査結果の分析	22
A	文化芸術の活動について	22
問 1	文化芸術の鑑賞内容	22
問 2	文化芸術の鑑賞場所	26
問 3	文化芸術の鑑賞をしていない理由	29
問 4	今後の文化芸術の鑑賞内容	32
問 5	自ら文化芸術の活動をした内容	35
問 6	自ら文化芸術の活動をした場所	38
問 7	自ら文化芸術の活動をしていない理由	40
問 8	今後、自ら文化芸術の活動をしたい内容	43
問 9	文化財等の保存・活用の活動への参加の有無	47
問 10	文化財等の保存・活用の活動に参加していない理由	50
問 11	文化財等の保存・活用の活動への今後の参加意向	53
問 12	芸術活動や文化活動の必要性	55
問 13	障害のある方が文化芸術活動をするために効果的なこと	57
問 14	文化活動や芸術家の支援のために必要なこと	60
問 15	文化活動をもっと活発にするための市の取り組み	62
問 16	川越市の文化や芸術に関する意見	65

B	生涯学習の活動について	67
問 17	生涯学習の内容	67
問 18	生涯学習の手段	71
問 19	生涯学習情報の取得手段	74
問 20	生涯学習で得た知識・技能や経験の活用	77
問 21	生涯学習をしていない理由	79
問 22	今後の生涯学習の意向	83
問 23	地域や社会の活動への参加意向	86
問 24	多くの人が地域や社会の活動に参加するために必要なこと	89
問 25	市民活動・生涯学習施設に期待する運営・役割	93
問 26	自分自身の趣味、学習、地域の活動を進める上で市に望むこと	95

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民の文化芸術及び生涯学習に関する意識や具体的活動状況を把握し、今後の支援施策策定のための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査の内容

(1) 文化芸術に関する意識調査

- ①文化芸術の活動について（問 1～問 8）
- ②文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動について（問 9～問 11）
- ③文化活動等について（問 12～問 15）
- ④自由意見（問 16）

(2) 生涯学習に関する意識調査

- ①生涯学習の活動について（問 17～問 22）
- ②地域や社会での活動について（問 23・問 24）
- ③市民活動・生涯学習施設について（問 25）
- ④自由意見（問 26）

3 調査の設計

- (1) 調査対象地域 川越市全域
- (2) 調査対象 川越市在住の満 16 歳以上の市民（令和 6 年 9 月 1 日現在）
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 川越市住民基本台帳から抽出（無作為抽出）
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送回収または web 回答
- (6) 調査期間 令和 6 年 10 月 1 日から令和 6 年 11 月 1 日まで

4 回答者の属性

(1) 市全体

内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 回収率 (%)
市全体	309,612	100.0	3,000	950	31.7

(2) 性別※

区分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 回収率 (%)
市全体	309,612	100.0	3,000	950	31.7
男性	153,298	49.5	1,500	392	26.1
女性	156,314	50.5	1,500	504	33.6
その他／答えたくない	—	—	—	20	—
無回答	—	—	—	34	—

※ 有効回収率における女性の割合と男性の割合に大きな差があることに注意が必要である。

(3) 年齢別

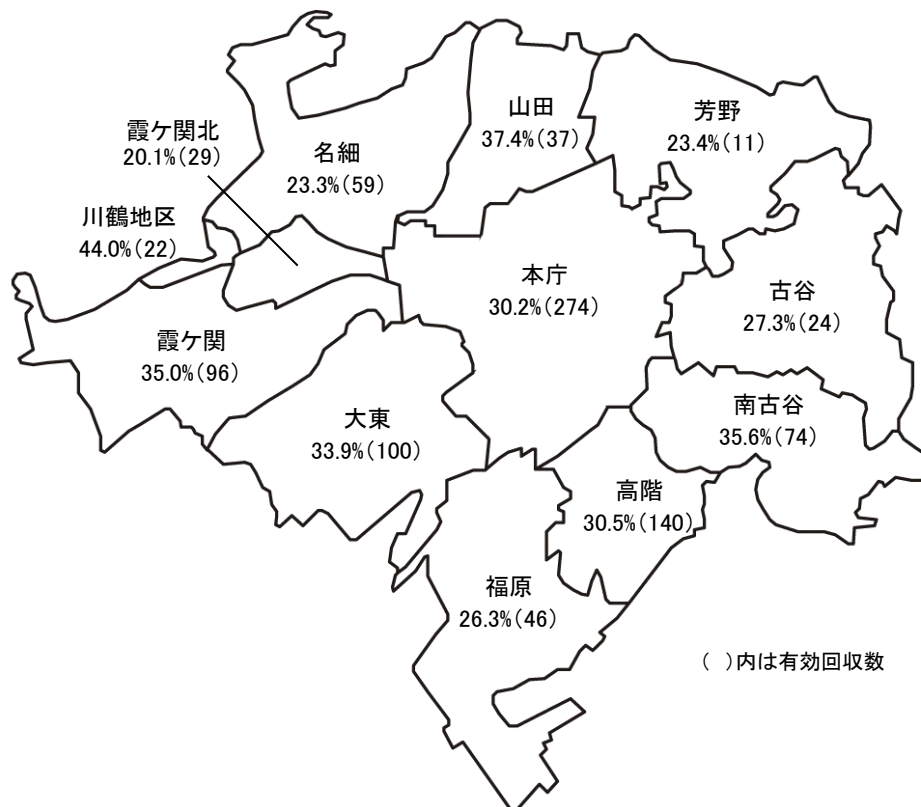
区分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団) (%)	標本数	有 効 回収数	有 効 回収率 (%)
市全体	309,612	100.0	3,000	950	31.7
16-19 歳	12,956	4.2	146	27	18.5
20-29 歳	38,363	12.4	368	51	13.9
30-39 歳	39,056	12.6	435	111	25.5
40-49 歳	49,311	15.9	568	167	29.4
50-59 歳	54,387	17.6	618	182	29.4
60-69 歳	37,916	12.2	424	185	43.6
70 歳以上	77,623	25.1	441	193	43.8
無回答	—	—	—	34	—

※ 有効回収率における 16-19 歳及び 20-29 歳の割合が少ないことに注意が必要である。

(4) 地区別

区分	内訳	標本数	有効 回収数	有効 回収率(%)
市全体		3,000	950	31.7
本庁地区		908	274	30.2
芳野地区		47	11	23.4
古谷地区		88	24	27.3
南古谷地区		208	74	35.6
高階地区		459	140	30.5
福原地区		175	46	26.3
大東地区		295	100	33.9
霞ヶ関地区		274	96	35.0
川鶴地区		50	22	44.0
霞ヶ関北地区		144	29	20.1
名細地区		253	59	23.3
山田地区		99	37	37.4
無回答		—	38	—

【地区別区分図】



5 集計と表記

(1) 回答率

回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第1位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

誤差を考慮し、nが10未満のものについては、コメントしていません。

(2) 表記

調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを
で網かけをしています。（無回答を除く）

(3) 標本集計の誤差

今回の集計は、対象者（母集団 309,612 人）から一部を抽出した標本調査です。そのため、母集団に対する標本誤差が発生します。

標本誤差は、次の公式で求めます。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差
N = 母集団数
n = 回収数（比率算出の基数）
P = 回答の比率（%）

《標本誤差早見表》

単位:%

基数（n）	回答の比率（P）				
	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
950	±1.9%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.2%
800	±2.1%	±2.8%	±3.2%	±3.5%	±3.5%
500	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

Ⅱ 調査票と回答結果

文化芸術及び生涯学習に関する市民アンケート ご協力をお願い

日頃皆様には、本市の文化芸術の振興及び生涯学習の推進にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、川越市では、市民の皆様の文化芸術及び生涯学習に関する意識や具体的な活動内容などについてご意見を伺い、それぞれの活動を支援していく施策の貴重な資料として活用させていただくため、市民アンケートを行います。

この調査は、住民基本台帳に登録されている16歳以上の市民の方から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年10月

川越市長 川合 善明

◎ 調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、個人を特定したかたちで公表されることは一切ございません。ありのままお答えください。

【調査全般について】

- ・ アンケートには、封筒のあて名の方についてご記入ください。
- ・ 本アンケートの所要時間はおおよそ15分程度です。
- ・ アンケートは、「Aあなたの文化芸術の活動についておたずねします」「Bあなたの生涯学習についておたずねします」「Cあなたのことについて教えてください」の順に構成されております。
- ・ 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によってはお答えしただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
- ・ お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。ただし、質問によって○をつける数を「1つに○」「○はいくつでも」などと指定がありますので、その範囲以内でお答えください。
- ・ 「その他」にあてはまる場合で、（ ）がある場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。

【インターネットによる回答について（推奨）】

- ・ 本アンケートはインターネットで回答することができます。以下に記載の二次元コードの読み取りにより、回答用のホームページにアクセスし、回答用フォームにて画面の案内に従ってご回答ください。

※インターネットで回答いただいた場合は、この調査票を提出いただく必要はありません。

川越市公式ホームページ内「文化芸術及び生涯学習に関する市民アンケート」から調査回答ページにリンクすることもできます。

検索



【郵送による回答について】

- ・対象となったご本人がお答えください。
- ・黒のボールペンまたは濃い鉛筆でご記入ください。

【ご記入が終わりましたら】

- ・ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて11月1日（金）までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。
- ・インターネットによる回答についても、同様に11月1日（金）までにご回答ください。

※返信用の封筒に、ご住所・お名前などは記入しないでください。

【お問い合わせ先】川越市 文化スポーツ部 文化芸術振興課
埼玉県川越市元町1丁目3番地1（本庁舎5階）
☎（049）224－6157（直通）
FAX（049）224－8712

※各選択肢に続く数値は回答結果(%)を表しています。

A あなたの文化芸術の活動についておたずねします

問1 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に下記の演目等に関する公演や展示会等を鑑賞しましたか。（○はいくつでも）（n=950）

1. クラシック音楽（12.5） 2. ポピュラー音楽（20.0） 3. 美術（18.1）
4. 演劇（6.8） 5. オペラ・ミュージカル（7.5） 6. バレエ・ダンス（3.8）
7. 日本舞踊（0.8） 8. 歌舞伎・能・狂言（3.3） 9. 邦楽（2.4）
10. 民俗芸能（3.5） 11. 落語・演芸（6.5） 12. 映画・映像（36.5）
13. 茶道・華道（2.9） 14. 文芸（2.7）
15. 文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）（30.8）
16. その他（ ）（1.6）
17. 鑑賞していない、鑑賞できなかった（35.7） → **【問3へお進みください】**

＜無回答＞（0.2）

※上の用語の詳しい意味、例については「用語説明」をご覧ください。

用語説明

◆演目について

クラシック音楽	管弦楽、吹奏楽、器楽などによる、西洋の芸術音楽
ポピュラー音楽	ジャズ、ロック、ポップス、フォーク、歌謡曲、演歌などの大衆的な音楽
美術	絵画、工芸、写真、書道などの芸術
邦楽	琴、三味線、尺八など、日本固有の伝統音楽
民俗芸能	獅子舞、万作、祭囃子、民謡など、各地域で受け継がれている芸能
演芸	漫談、浪曲、お笑い、マジックなどの芸能
文芸	文学、詩、俳句など言語によって表現される芸術

◆文化財

文化財	文化財保護法に基づき、国・県・市などにより指定・選定・登録されているもの。たとえば、川越市には以下のようなものがあります。 [有形文化財] ・大沢家住宅 ・喜多院 ・時の鐘 等 [民俗文化財（有形・無形）] ・石原の獅子舞（ささら獅子舞） ・川越氷川祭の山車行事 ・川越祭りばやし 等 [重要伝統的建造物群保存地区] 川越市川越伝統的建造物群保存地区 （・蔵造りの町並み：一番街を中心としたエリア） [登録有形文化財] ・りそなコエドテラス 等
-----	---

問1で、1. ～16. の鑑賞をしたと答えた方におたずねします。

問2 どこで最も多く鑑賞しましたか。(1つに○)(n = 609)

川越市内

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. ウェスタ川越 (16.1) | 2. やまぶき会館 (2.4) |
| 3. 西文化会館 (メルト) (2.0) | 4. 南文化会館 (ジョイフル) (1.6) |
| 5. その他 () (22.0) | |

川越市外

- | | |
|------------------------|----------------|
| 6. 埼玉県内 (市・町・村) (15.5) | 7. 東京都内 (30.2) |
| 8. その他 (市・区) (7.9) | |

＜無回答＞ (2.4)

問1で、『17. 鑑賞していない、鑑賞できなかった』と答えた方におたずねします。

問3 その最も大きな理由1つに○をつけてください。(n = 339)

1. 興味がない (21.9)
2. 興味はあるが時間がとれない (34.7)
3. 近くで観たい催し物をやっていない (11.6)
4. どこでどんな催し物をやっているのかわからない (14.5)
5. 入場料や交通費などの費用がかかりすぎる (8.0)
6. その他 () (9.1)

＜無回答＞ (0.3)

**問4 今後、下記の演目等の中で、鑑賞してみたい演目等がありますか。
(○はいくつでも)(n = 950)**

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. クラシック音楽 (27.9) | 2. ポピュラー音楽 (31.6) |
| 3. 美術 (23.6) | 4. 演劇 (21.1) |
| 5. オペラ・ミュージカル (23.3) | 6. バレエ・ダンス (9.5) |
| 7. 日本舞踊 (3.2) | 8. 歌舞伎・能・狂言 (14.5) |
| 9. 邦楽 (9.1) | 10. 民俗芸能 (5.8) |
| 11. 落語・演芸 (23.1) | 12. 映画・映像 (41.8) |
| 13. 茶道・華道 (5.6) | 14. 文芸 (3.5) |
| 15. 文化財 (博物館や川越まつり会館の見学を含む) (22.8) | |
| 16. その他 () (1.3) | |
| 17. 特にない (9.4) | |

＜無回答＞ (4.8)

問5 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に下記の演目に関して、自ら活動した（演じる、作品を創る、習う）ものはありますか。（○はいくつでも）（n=950）

- | | | |
|---|--------------------|-----------------|
| 1. クラシック音楽（2.9） | 2. ポピュラー音楽（4.0） | 3. 美術（2.9） |
| 4. 演劇（0.5） | 5. オペラ・ミュージカル（0.2） | 6. バレエ・ダンス（1.5） |
| 7. 日本舞踊（0.1） | 8. 歌舞伎・能・狂言（0.2） | 9. 邦楽（0.4） |
| 10. 民俗芸能（1.2） | 11. 落語・演芸（0.2） | 12. 映画・映像（0.0） |
| 13. 茶道・華道（1.4） | 14. 文芸（1.3） | |
| 15. その他（ | | ）（2.5） |
| 16. 自ら活動していない、活動できなかった（82.8） → 【問7へお進みください】 | | |
| ＜無回答＞（3.1） | | |

問5で、1.～15.の活動をしたと答えた方におたずねします。

問6 どこで最も多く活動しましたか。（1つに○）（n=134）

川越市内

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. ウェスタ川越（7.1） | 2. やまぶき会館（2.8） |
| 3. 西文化会館（メルト）（0.7） | 4. 南文化会館（ジョイフル）（2.8） |
| 5. その他（ | ）（38.3） |

川越市外

- | | |
|---------------|---------------|
| 6. 埼玉県内（17.7） | 7. 東京都内（17.7） |
| 8. その他（ | 市・区）（2.8） |
| ＜無回答＞（9.9） | |

問5で、『16. 自ら活動していない、活動できなかった』と答えた方におたずねします。

問7 その理由に○をつけてください。（○は3つまで）（n=787）

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 興味がない（35.7） | 2. 時間がない（49.2） |
| 3. 近くに活動の場所がない（16.0） | 4. 自分が参加できる催しがない（18.3） |
| 5. 一緒に活動する仲間がない（14.2） | |
| 6. いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない（17.0） | |
| 7. 参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる（10.3） | |
| 8. その他（ | ）（7.6） |
| ＜無回答＞（0.5） | |

問 8 今後、下記の演目の中で、自ら活動したいと思うものはありますか。
(○はいくつでも) (n = 950)

1. クラシック音楽 (8.2) 2. ポピュラー音楽 (10.3) 3. 美術 (11.2)
 4. 演劇 (2.6) 5. オペラ・ミュージカル (1.6) 6. バレエ・ダンス (3.5)
 7. 日本舞踊 (1.2) 8. 歌舞伎・能・狂言 (0.3) 9. 邦楽 (2.6)
 10. 民俗芸能 (1.9) 11. 落語・演芸 (1.2) 12. 映画・映像 (4.5)
 13. 茶道・華道 (7.9) 14. 文芸 (3.8)
 15. その他 () (3.5) 16. 特にない (55.9)
- ＜無回答＞ (4.3)

問 9 あなたは、この1年間（令和 5 年 10 月～令和 6 年 9 月）に、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加したことはありますか。（お祭り、獅子舞などの伝統行事や、博物館の講座などへの参加も含みます。）（1つに○）（n = 950）

1. 主に川越市内で参加したことがある (12.2) → 【問 11 へお進みください】
2. 主に川越市外で参加したことがある () 市・区 (2.4)
→ 【問 11 へお進みください】
3. 参加していない、参加できなかった (83.4) → 【問 10 へお進みください】
＜無回答＞ (2.0)

用語説明

歴史的遺産	このアンケートでは、文化財保護法に基づく指定を受けていない、まちに長く残されてきた歴史的価値のある資源をいいます。 地元の地域に長く残されている建物、工芸品や民俗芸能、祭礼や習慣までも歴史的遺産に含まれるとされています。
-------	---

問 9 で、『3. 参加していない、参加できなかった』と答えた方におたずねします。

問 10 その理由に○をつけてください。（○は3つまで）（n = 792）

1. 興味がない (42.3)
 2. 時間がない (41.3)
 3. 近くに活動の場所がない (13.1)
 4. どうすれば参加できるか情報がなく、わからない (28.5)
 5. 参加費や交通費などの費用がかかりすぎる (5.4)
 6. その他 () (6.1)
- ＜無回答＞ (2.1)

**問 11 今後、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加してみたいと思いますか。
(1つに○) (n = 950)**

1. 参加してみたい (30.7)
2. 参加したくない (18.3)
3. どちらでもない (47.6)

＜無回答＞ (3.4)

問 12 あなたは、日常生活の中で、優れた芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行うことが大切だと思いますか。(1つに○) (n = 950)

1. 非常に大切だ (25.5)
2. ある程度大切だ (55.7)
3. どちらでもない (12.2)
4. あまり大切ではない (3.2)
5. まったく大切ではない (1.1)

＜無回答＞ (2.4)

問 13 障害のある方が文化芸術活動をするために効果的なことは何だと思いますか。(○は3つまで) (n = 950)

1. イベント情報等が取得しやすいこと (13.7)
2. 一緒に活動する仲間がいること (42.4)
3. 活動する場所が近くにあること (25.8)
4. 外出のための手段が確保されていること (34.2)
5. 魅力的な内容であること (10.9)
6. 適切な指導者がいること (20.6)
7. 障害のある方に配慮した施設や設備があること (46.1)
8. 介助者・援助者がいること (29.4)
9. 費用の心配をしなくてよいこと (13.2)
10. 障害のある方もない方も一緒にできること (26.6)
11. その他 () (1.1)
12. 特にない (3.4)

＜無回答＞ (2.3)

問 14 市が市民の文化活動や市内の芸術家を支援するには、どんなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) (n = 950)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 経済的支援（56.9） | 2. 活動施設等の優先的提供（30.8） |
| 3. 広報等による PR の支援（46.1） | 4. 活動機会の積極的開催（37.6） |
| 5. 後継者育成への支援（34.8） | |
| 6. 文化芸術の振興に寄与した方等の表彰（2.8） | |
| 7. その他（ ）（1.6） | |
| 8. わからない（9.3） | |

＜無回答＞ (1.5)

問 15 あなたは、文化活動をもっと活発にするために行なう市の取り組みとして、次の各項目が、どれくらい重要だと思いますか。（それぞれの項目1つに○）
（n = 950）

	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	無回答
a. 市民の文化活動に関する情報提供	1 (43.4)	2 (33.4)	3 (18.0)	4 (2.1)	5 (0.6)	(2.5)
b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供	1 (33.4)	2 (39.7)	3 (20.9)	4 (2.7)	5 (0.4)	(2.8)
c. 文化活動の指導者や研究者の養成	1 (31.4)	2 (39.4)	3 (21.5)	4 (3.7)	5 (1.1)	(3.1)
d. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	1 (30.6)	2 (38.2)	3 (24.3)	4 (2.7)	5 (1.1)	(3.1)
e. 文化施設の整備、既存施設の活用	1 (33.1)	2 (37.7)	3 (22.9)	4 (2.4)	5 (0.9)	(2.9)
f. 練習・発表・創作等の活動への支援	1 (26.1)	2 (37.4)	3 (28.1)	4 (4.5)	5 (0.9)	(2.9)
g. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	1 (20.5)	2 (34.5)	3 (34.2)	4 (5.7)	5 (2.2)	(2.8)
h. 市内大学との連携による公演・講座の実施	1 (15.4)	2 (33.7)	3 (38.7)	4 (6.8)	5 (2.6)	(2.7)
i. 外国籍市民との相互理解の促進	1 (12.3)	2 (26.4)	3 (43.6)	4 (9.3)	5 (5.7)	(2.7)
j. 文化財保護のためのPRや人材の育成	1 (24.6)	2 (40.4)	3 (27.8)	4 (2.4)	5 (1.7)	(3.1)
k. 文化財や歴史的遺産の観光への活用	1 (28.1)	2 (39.3)	3 (25.6)	4 (2.5)	5 (1.9)	(2.6)
l. 民俗芸能の公開や後継者育成の促進	1 (30.0)	2 (39.6)	3 (24.3)	4 (2.2)	5 (1.4)	(2.5)
m. 子どもが文化に親しむ機会の提供	1 (49.6)	2 (34.8)	3 (10.8)	4 (1.2)	5 (0.9)	(2.6)

用語説明

◆問 15：取り組みの内容

市民の文化活動に関する情報提供

市内の団体・サークルや施設、催し物などの情報をまとめ、調べやすく提供すること。

問 16 川越市の文化や芸術に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

引き続き生涯学習に関するアンケートのご回答をお願いいたします。

B あなたの生涯学習の活動についておたずねします

本調査でいう『生涯学習』とは、自己の啓発や充実のため、生活の向上のためや職業上の能力の向上のため、自発的に行う学習活動のことを想定しています。

問 17 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に『生涯学習』をしたことがありますか。（○はいいくつでも）（n = 950）

1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）（22.0）
2. 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）（20.6）
3. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）（31.2）
4. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）（13.3）
5. 育児・教育（幼児教育、教育問題など）（8.0）
6. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）（16.7）
7. パソコン・インターネットなどの知識・技能（13.7）
8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能（4.1）
9. 自然体験や生活体験などの体験活動（5.1）
10. その他の活動（ ）（1.2）
11. していない（35.4） → 【問 21 へお進みください】
12. わからない（1.2） → 【問 22 へお進みください】

<無回答>（2.1）

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 18 あなたは、『生涯学習』をどのように行っていますか。（○はいいくつでも）（n = 583）

1. 公民館の講座や教室（10.6）
2. 図書館の講座や教室（5.1）
3. 博物館の講座や教室（2.7）
4. 美術館の講座や教室（1.7）
5. ウェスタ川越の講座や教室（4.8）
6. その他の川越市の講座や教室（やまぶき会館・西文化会館（メルト）・南文化会館（ジョイフル）の講座や教室を含む）（3.8）
7. 国・県・他市町村等の講座や教室（5.8）
8. 学校（大学、各種学校等）の公開講座など（6.9）
9. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室（15.4）
10. 民間の通信教育（7.4）
11. 同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動（19.6）
12. 自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）（52.8）
13. パソコン・インターネットなど（40.5）
14. ラジオやテレビ（14.1）
15. その他の活動（ ）（7.7）

<無回答>（2.7）

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 19 あなたは、『生涯学習』に関する情報をどのように得ていますか。(○はいくつでも) (n = 583)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| 1. 川越市広報 (32.6) | 2. 公民館だより (8.1) |
| 3. 自治会の回覧 (9.1) | 4. 川越市のホームページ (5.7) |
| 5. ウェスタ川越イベント・インフォメーション (6.2) | |
| 6. 生涯学習情報誌マナビィガイド (0.5) | 7. 家族からの紹介 (5.7) |
| 8. 友人、知人からの紹介 (27.1) | 9. 新聞記事や折り込み広告 (8.7) |
| 10. 書籍・雑誌 (22.5) | 11. ポスター、チラシ (9.6) |
| 12. ダイレクトメール (1.2) | 13. ラジオやテレビ (10.8) |
| 14. インターネットなどによる検索 (56.1) | |
| 15. SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) (25.6) | |
| 16. その他の手段 () (4.3) | 17. わからない (2.2) |
| ＜無回答＞ (6.0) | |

問 17 で 1. ～10. と答えた方におたずねします。

問 20 あなたは、『生涯学習』を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。(○はいくつでも) (n = 583)

- | | |
|---|--|
| 1. 仕事や就職の上で生かしている (33.1) | |
| 2. ボランティア活動に生かしている (7.0) | |
| 3. 資格を取得した (13.7) | |
| 4. 家庭・日常の生活に生かしている (40.5) | |
| 5. 地域や社会での活動に生かしている (8.1) | |
| 6. その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている (16.0) | |
| 7. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている (3.4) | |
| 8. 自分の人生がより豊かになっている (49.2) | |
| 9. 自分の健康の維持・増進に役立っている (42.5) | |
| 10. 学業、学校生活の上で生かしている (4.1) | |
| 11. その他 () (0.7) | |
| 12. 生かしていない (3.6) | |
| 13. わからない (1.0) | |
| ＜無回答＞ (5.3) | |

問 17 で『11. していない』と答えた方におたずねします。

問 21 あなたが、『生涯学習』を行っていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも) (n = 336)

1. 仕事や家事が忙しくて時間がとれない (47.6)
 2. 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない (8.9)
 3. 費用がかかる (20.5)
 4. 必要な情報(内容、時間、場所、費用)がなかなか入手できない (21.1)
 5. 一緒に学習や活動をする仲間がいない (11.6)
 6. 身近なところに施設や場所がない (8.9)
 7. 自分の希望や実施時期・時間に合わない (16.1)
 8. 家族や職場など周囲の理解が得られない (1.2)
 9. きっかけがつかめない (28.9)
 10. そういうことは好きではなく、面倒である (10.4)
 11. 特に必要性を感じない (22.0)
 12. その他の理由() (9.5)
 13. わからない (2.4)
- <無回答> (1.2)

問 22 あなたは、今後どのような『生涯学習』をしてみたいと思いますか。(○はいくつでも) (n = 950)

1. 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など) (46.0)
 2. 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学、社会問題など) (29.7)
 3. 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など) (50.3)
 4. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、編み物など) (26.6)
 5. 育児・教育(幼児教育、教育問題など) (8.8)
 6. 職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など) (17.3)
 7. パソコン・インターネットなどの知識・技能 (24.9)
 8. ボランティア活動やそのために必要な知識・技能 (10.5)
 9. 自然体験や生活体験などの体験活動 (17.4)
 10. その他の活動() (0.8)
 11. 学習をしたいとは思わない (6.5)
 12. わからない (6.1)
- <無回答> (4.0)

問 23 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。
(○はいくつでも) (n = 950)

1. 学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動（10.1）
2. 地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動など（10.9）
3. 子育て・育児を支援する活動（12.1）
4. 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動（14.2）
5. 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動（14.3）
6. スポーツ・文化活動（20.9）
7. 障害のある方や高齢者、外国籍市民などの支援に関する活動（7.7）
8. 地域の環境保全に関する活動（10.2）
9. 国際交流に関する活動（7.7）
10. 防犯・防災活動（10.3）
11. 自治会活動（4.8）
12. その他（ ）（1.7）
13. 地域や社会での活動に参加したいとは思わない（12.0）
14. わからない（20.8）

＜無回答＞（4.5）

問 24 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも) (n = 950)

1. 地域や社会での活動に関する情報提供（52.6）
2. 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り（46.8）
3. コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること（28.2）
4. 活動の成果が社会的に評価されること（16.2）
5. 交通費などの必要経費の支援（24.3）
6. その他（ ）（3.7）
7. 特にない（4.2）
8. わからない（10.0）

＜無回答＞（3.5）

問 25 川越市では、市民の皆さんの自主的な学習活動を支援するため、市民活動の場や生涯学習の機会の充実を目的とした市民活動・生涯学習施設（ウェスタ川越2階）を主体的な学びの場として提供しています。あなたは、この施設にどのような運営・役割を期待しますか。（○は1つ）（n = 950）

1. 活動室・会議室などの貸出（9.8）
2. 多様な生涯学習講座の実施（20.1）
3. 学習講座やイベント情報の提供（18.0）
4. 利用者への相談支援業務（3.8）
5. 打ち合わせスペースの提供（3.7）
6. その他（ ）（1.3）
7. 特に期待することはない（3.1）
8. 施設を利用したことがない（22.4）
9. 施設があることを知らない（12.7）

＜無回答＞（5.0）

問 26 あなたが、自分自身の趣味、学習、地域の活動を進める上で、市に望むことがありましたら、ご自由にご記入ください。

C 最後に、あなたのことについて教えてください

F 1 あなたの性別についておたずねします。(1つに○)(n=950)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 男性 (41.2) | 2. 女性 (53.1) |
| 3. その他／答えたくない (2.1) | |
| <無回答> (3.7) | |

F 2 あなたの満年齢についておたずねします。(1つに○) ※令和6年10月1日現在 (n=950)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 16～19歳 (2.8) | 2. 20～29歳 (5.4) |
| 3. 30～39歳 (11.7) | 4. 40～49歳 (17.6) |
| 5. 50～59歳 (19.2) | 6. 60～69歳 (19.5) |
| 7. 70歳以上 (20.3) | |
| <無回答> (3.6) | |

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。(1つに○)(n=950)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 単身世帯 (13.3) | 2. 夫婦二世帯 (25.8) |
| 3. 二世帯世帯(親と子) (50.3) | 4. 三世帯世帯(親子と孫) (4.3) |
| 5. その他 (|) (2.2) |
| <無回答> (4.0) | |

F 4 あなたのご職業は、この中のどれにあたりますか。(1つに○)(n=950)

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. 農業 (0.8) | |
| 2. 商工・サービス業(自営業、家族従事者) (4.3) | |
| 3. 自由業(医師、弁護士、税理士、芸術家など) (1.5) | |
| 4. 会社経営者・管理職(会社、団体等の課長職以上) (5.6) | |
| 5. 事務職(一般事務、販売員など) (9.5) | |
| 6. 専門・技術職(研究者、技術者、教員など) (11.8) | |
| 7. 技能労務者(建設作業員、工員、運転手など) (3.5) | |
| 8. 非正規社員(パート・アルバイト・派遣社員) (18.2) | |
| 9. 生徒・学生 (4.0) | |
| 10. 家事専業 (13.3) | |
| 11. 無職 (17.5) | |
| 12. その他 (|) (6.0) |
| <無回答> (3.9) | |

F 5 あなたのお住まいはどこですか。お送りした封筒の宛名右上にある名称をご確認の上、選んでください。(1つに○)(n = 950)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 本庁管内 (28.8) | 2. 芳野地区 (1.2) |
| 3. 古谷地区 (2.5) | 4. 南古谷地区 (7.8) |
| 5. 高階地区 (14.7) | 6. 福原地区 (4.8) |
| 7. 大東地区 (10.5) | 8. 霞ヶ関地区 (10.1) |
| 9. 川鶴地区 (2.3) | 10. 霞ヶ関北地区 (3.1) |
| 11. 名細地区 (6.2) | 12. 山田地区 (3.9) |
| ＜無回答＞ (4.0) | |

F 6 あなたの通勤、通学先はどこですか。(複数ある場合は主な場所1つに○)(n = 950)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 自宅(農業、自営業、家事専業、無職など) (28.4) |
| 2. 川越市内(自宅以外) (23.5) |
| 3. 埼玉県その他市町村 (22.4) |
| 4. 東京都 (14.0) |
| 5. その他 () (3.3) |
| ＜無回答＞ (8.4) |

お忙しいところ、調査にご協力くださりましてありがとうございました。

皆様の貴重なご意見、ご要望をできるかぎり川越市の文化芸術の振興及び生涯学習の推進施策に反映させるように努力してまいりたいと思います。

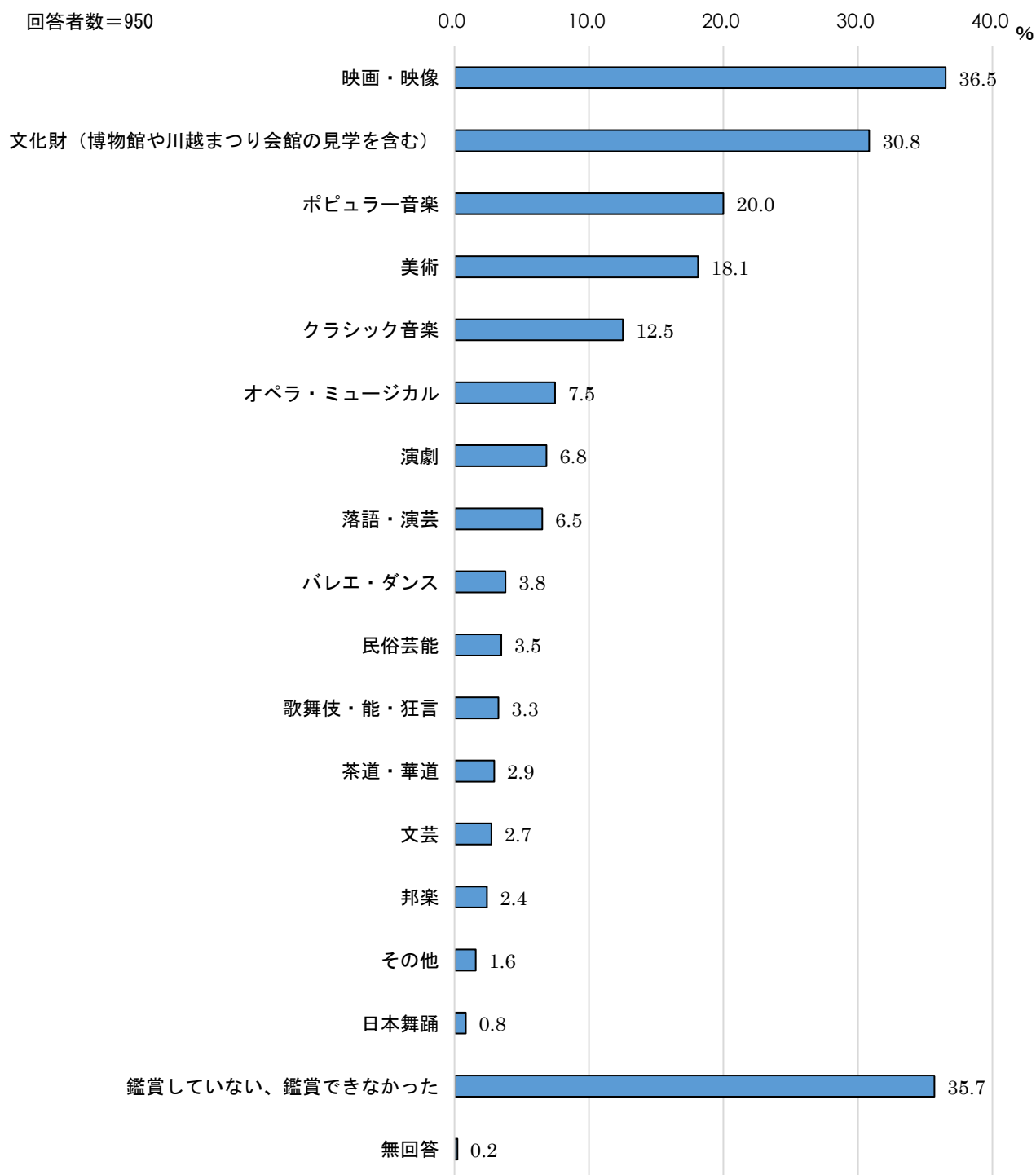
なお、本調査の集計結果等については、後日、川越市ホームページへ掲載する予定です。

Ⅲ 調査結果の分析

A 文化芸術の活動について

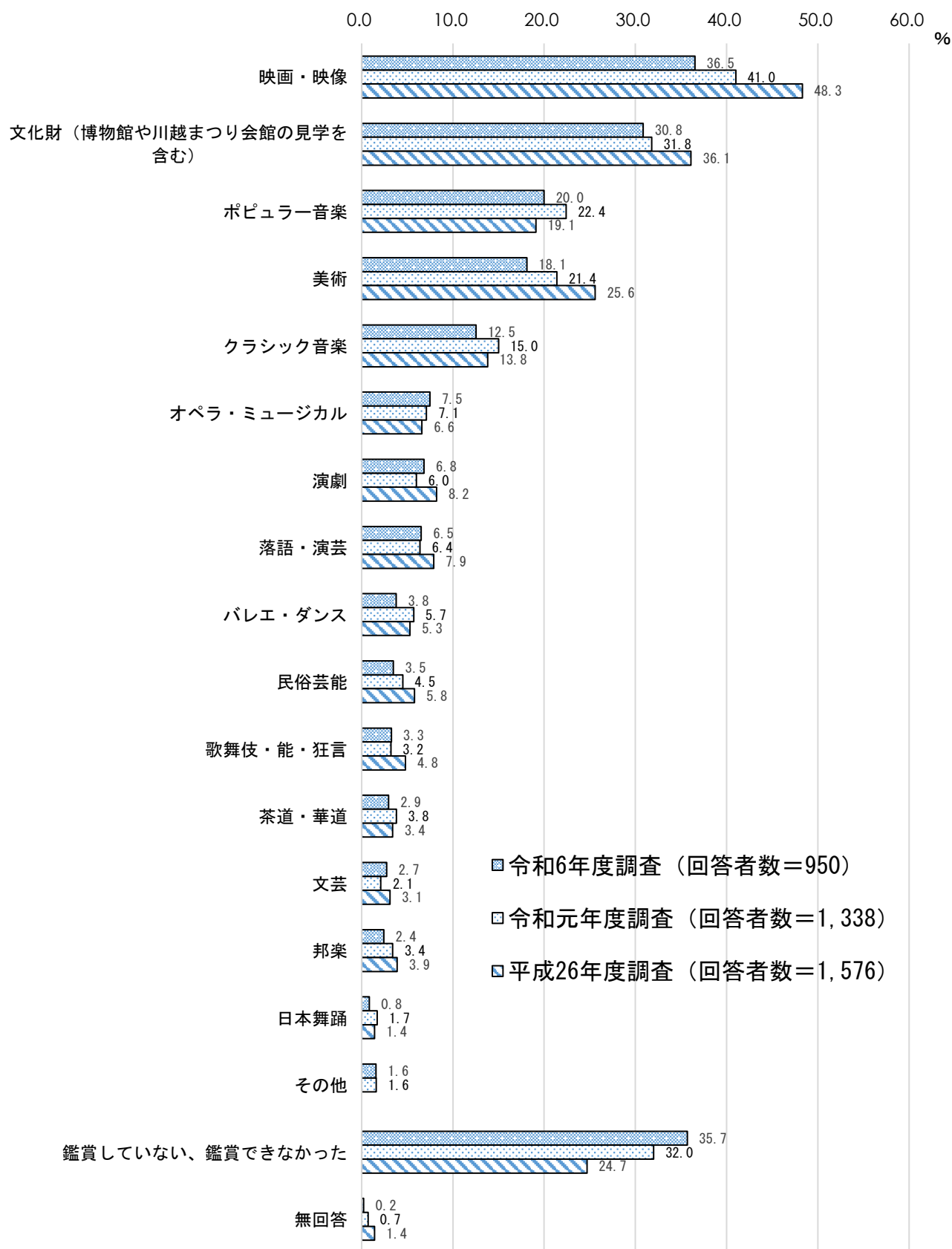
問1 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に下記の演目等に関する公演や展示会等を鑑賞しましたか。（〇はいくつでも）

「映画・映像」（36.5%）が最も多く、以下「鑑賞していない、鑑賞できなかった」（35.7%）、
「文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）」（30.8%）の順となっています。



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「鑑賞していない、鑑賞できなかった」が3.7ポイント増加し、最多数の「映画・映像」が4.5ポイント減少しています。



※平成26年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

【性 別】

性別でみると、男性は「鑑賞していない、鑑賞できなかった」（38.8％）が多く、第1位の回答となっています。

一方、女性の第1位は「映画・映像」（38.7％）で、男性で第1位となった「鑑賞していない、鑑賞できなかった」（33.3％）は第2位の回答となっています。この他、「民俗芸能」「落語・演芸」「その他」以外の選択肢の割合が男性より高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）	その他	鑑賞していない、鑑賞できなかった	無回答
男性	392	8.9	14.3	16.1	4.3	4.6	1.3	0.5	1.3	1.5	3.6	8.4	33.2	1.8	2.0	29.8	2.0	38.8	—
女性	504	14.7	24.6	19.0	8.9	9.7	5.8	0.8	4.4	3.2	3.6	5.8	38.7	3.8	3.0	31.9	1.2	33.3	0.4
その他／ 答えたくない	20	30.0	20.0	25.0	10.0	20.0	10.0	5.0	10.0	5.0	—	—	35.0	5.0	15.0	35.0	—	40.0	—

【年代別】

年代別でみると、50～59歳、70歳以上以外の年代で「映画・映像」が第1位の回答となっていますが、50～59歳及び70歳以上では「鑑賞していない、鑑賞できなかった」が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）	その他	鑑賞していない、鑑賞できなかった	無回答
16～19歳	27	22.2	18.5	18.5	18.5	11.1	11.1	—	3.7	7.4	3.7	3.7	55.6	—	—	29.6	—	18.5	—
20～29歳	51	7.8	27.5	19.6	7.8	17.6	5.9	—	—	5.9	2.0	9.8	62.7	3.9	7.8	31.4	—	19.6	—
30～39歳	111	9.9	19.8	18.0	9.0	12.6	2.7	1.8	1.8	3.6	1.8	3.6	41.4	3.6	1.8	27.9	—	38.7	—
40～49歳	167	9.6	19.2	16.8	3.6	6.6	7.2	0.6	3.0	3.6	6.0	6.0	35.3	2.4	3.0	34.7	2.4	35.3	—
50～59歳	182	9.3	14.8	17.6	7.7	8.8	2.2	0.5	4.4	2.2	2.7	3.8	34.6	3.3	3.3	30.2	2.2	38.5	—
60～69歳	185	17.3	23.2	19.5	10.8	4.9	2.7	0.5	3.8	—	2.7	10.3	41.6	3.2	2.7	33.5	1.6	33.5	—
70歳以上	193	14.5	20.7	17.1	2.6	4.7	2.6	1.0	3.1	2.1	4.1	8.3	20.7	2.1	2.1	28.0	1.6	40.9	1.0

【「その他」記述欄】

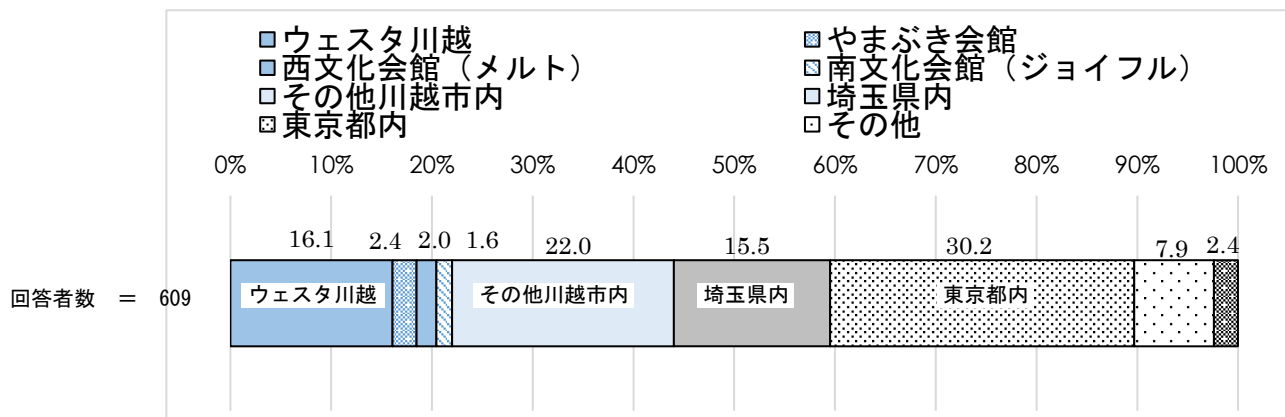
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

書道、学生声楽コンクール、合唱、歌謡ショー、K-pop、チア、ダンス、孫のダンス発表会、川越高校の文化祭・応援団とウォーターボーイズの鑑賞、高校の文化祭、川越まつりのおはやし展示等、花手水最明寺、川越八幡宮、長門の造船歴史館、星野哲郎記念館、宮本常子記念館

問1で、1～16の鑑賞をしたと答えた方におたずねします。

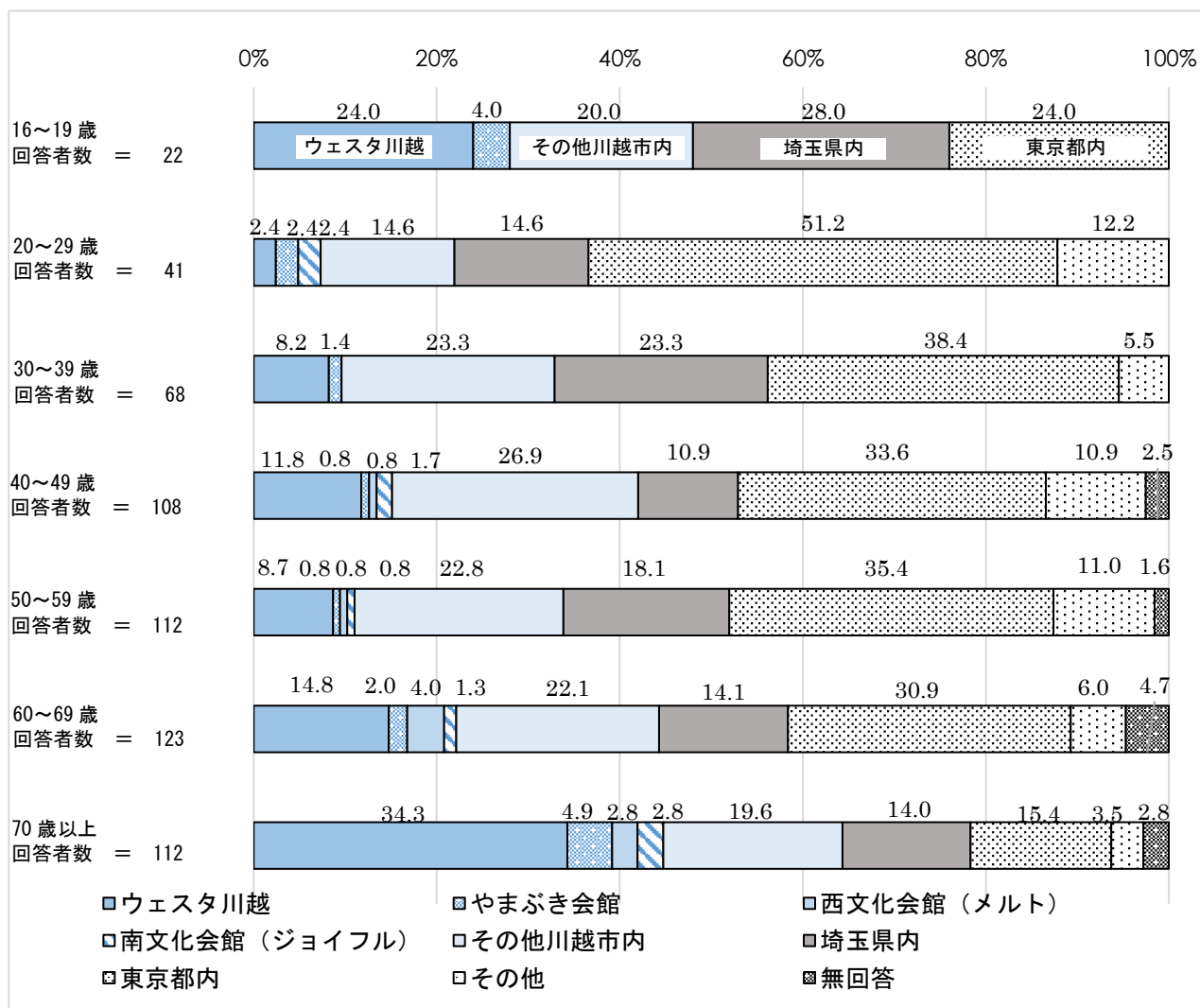
問2 どこで最も多く鑑賞しましたか。(1つに○)

「東京都内」(30.2%)が最も多く、約3割を占めています。次いで「その他の川越市内」(22.0%)となっています。



【年代別】

年代別でみると、70歳以上で「ウエスタ川越」の割合が最も高くなっています。一方、16～19歳では「埼玉県内」が、20～29歳では「東京都内」の割合が最も高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「川越市内その他」または「東京都内」のいずれかの割合が高くなっています。また、高階地区及び福原地区では「南文化会館（ジョイフル）」が、名細地区では「西文化会館（メルト）」が、それぞれ他地区よりも高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	川越市内					川越市外			無回答
		ウェスタ川越	やまぶき会館	西文化会館 (メルト)	南文化会館 (ジョイフル)	その他	埼玉県内	東京都内	その他	
本庁管内	190	17.1	3.2	1.4	—	23.9	12.6	31.1	8.6	2.3
芳野地区	6	14.3	14.3	—	—	28.6	—	28.6	14.3	—
古谷地区	14	25.0	—	—	—	18.8	18.8	25.0	6.3	6.3
南古谷地区	43	8.5	—	—	—	34.0	21.3	29.8	4.3	2.1
高階地区	79	18.3	2.2	1.1	7.5	14.0	14.0	37.6	4.3	1.1
福原地区	25	11.1	—	3.7	7.4	18.5	18.5	33.3	3.7	3.7
大東地区	70	12.8	3.8	—	—	26.9	15.4	32.1	3.8	5.1
霞ヶ関地区	62	17.4	1.4	2.9	1.4	18.8	20.3	26.1	8.7	2.9
川鶴地区	12	26.7	—	—	—	13.3	20.0	26.7	13.3	—
霞ヶ関北地区	20	14.3	—	3.6	—	10.7	25.0	39.3	3.6	3.6
名細地区	37	14.9	2.1	8.5	—	23.4	14.9	23.4	12.8	—
山田地区	26	18.5	—	—	—	25.9	14.8	22.2	18.5	—

【「その他」記述欄】

この設問における「その他」等の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

5. 川越市内その他

自宅、川越市立美術館、川越市立博物館、川越市立中央図書館、中央公民館、南公民館、川越まつり会館、尚美学園大学、東邦音楽大学、野田町1丁目自治会館、神社・寺院、ギャラリーカフェ、時の鐘、映画館、りそなコエドテラス、伝建地区、蔵造りのまち、大正浪漫通り、小江戸蔵里、川越スカラ座、川越城本丸御殿、菓子屋横丁、観音寺、熊野神社、最明寺、川越八幡宮、中院

6. 埼玉県内

さいたま市、深谷市、ふじみ野市、坂戸市、春日部市、鶴ヶ島市、所沢市、富士見市、鴻巣市、吉川市、新座市、狭山市、朝霞市、日高市、和光市、秩父市

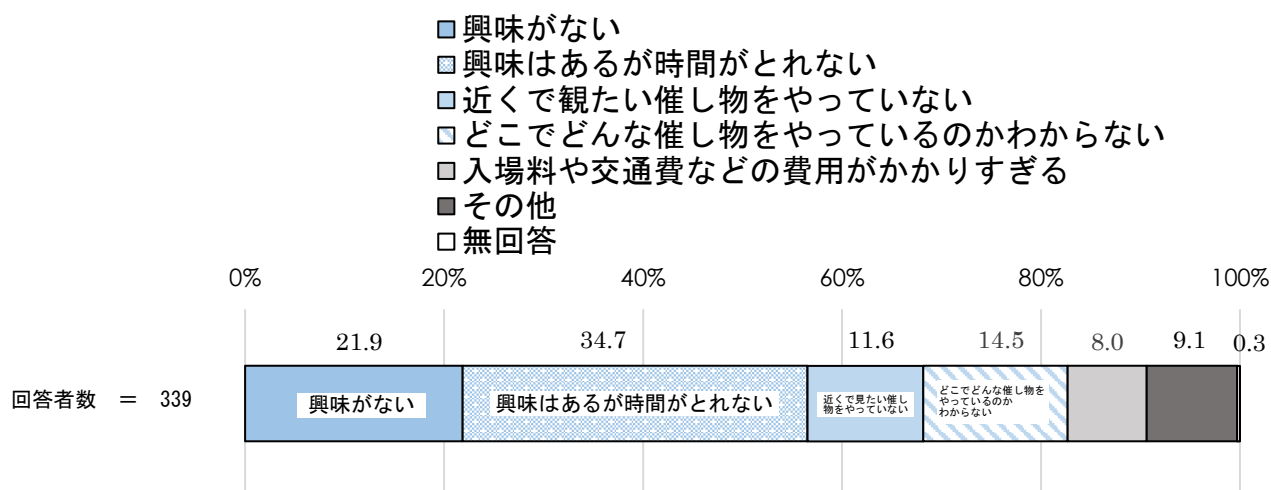
8. その他

盛岡市、仙台市、宇都宮市、日光東照宮、軽井沢町、日光市、鹿沼市、群馬県、足利市、高崎市、館林市、古河市、神奈川県、横浜市、横須賀市、静岡市、金沢市、名古屋市、滋賀県、京都市、奈良市、大阪市、神戸市、広島市、鳴門市、イギリス、海外

問1で、『17.鑑賞していない、鑑賞できなかった』と答えた方におたずねします。

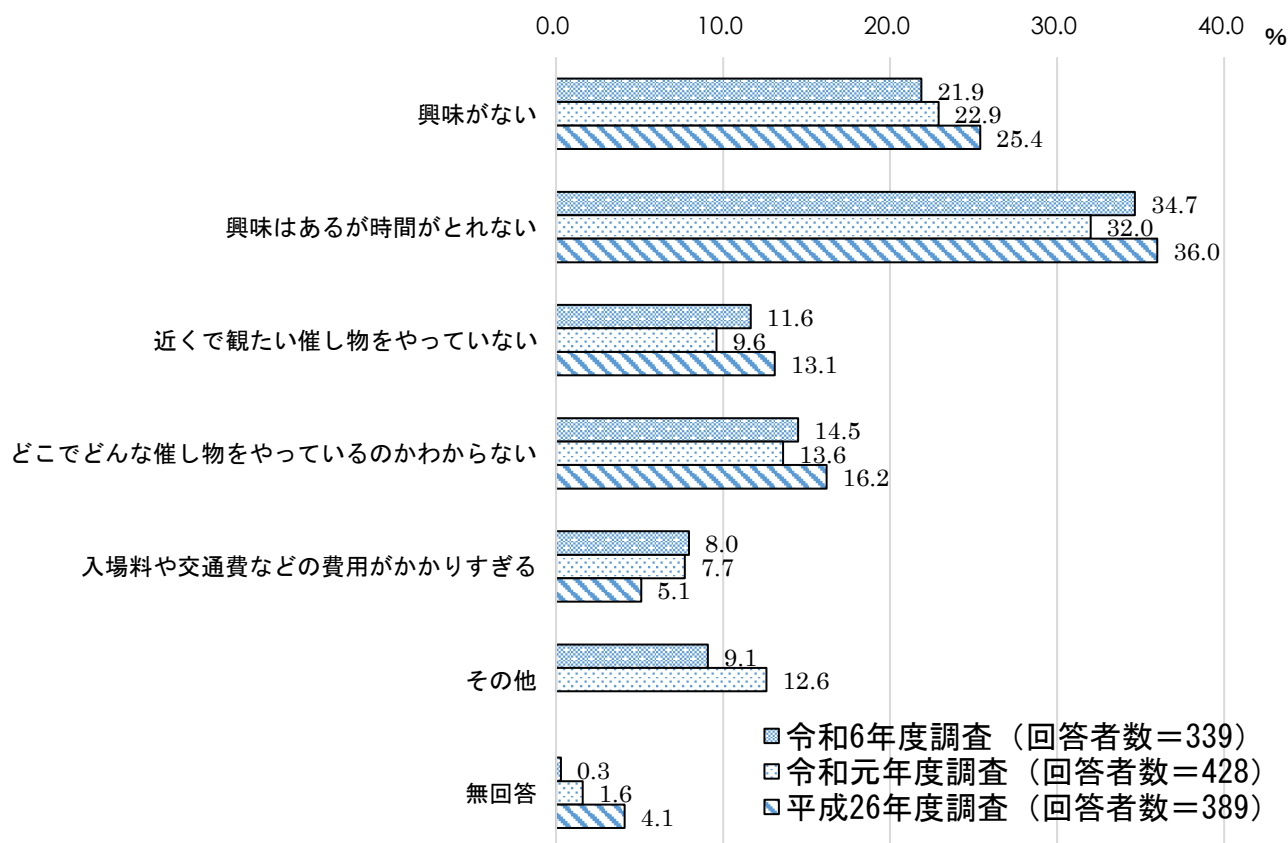
問3 その最も大きな理由1つに○をつけてください。

「興味はあるが時間がとれない」(34.7%)が最も多く、3割を超えています。以下「興味がない」(21.9%)、「どこでどんな催し物をやっているのかわからない」(14.5%)の順となっています。



【経年比較】

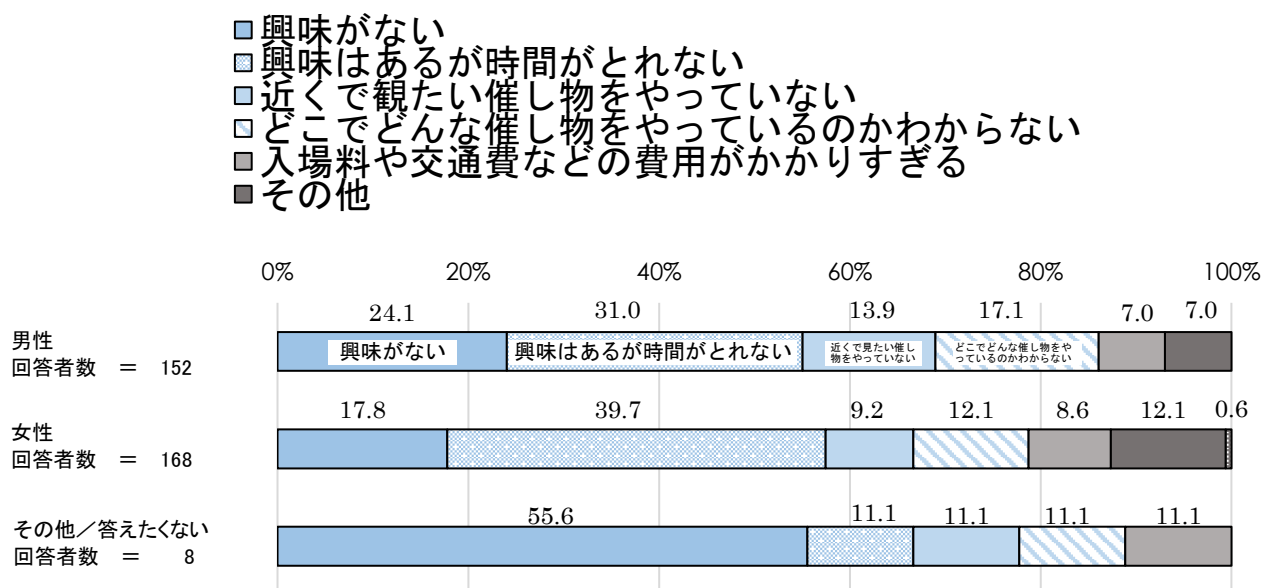
令和元年度調査及び平成26年度調査と比較すると「興味がない」は減少傾向にあります。一方で、令和元年度調査と比較すると、「興味はあるが時間が取れない」「近くで見たい催し物をやっていない」「どこでどんな催し物をやっているのかわからない」は増加しています。



※平成26年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

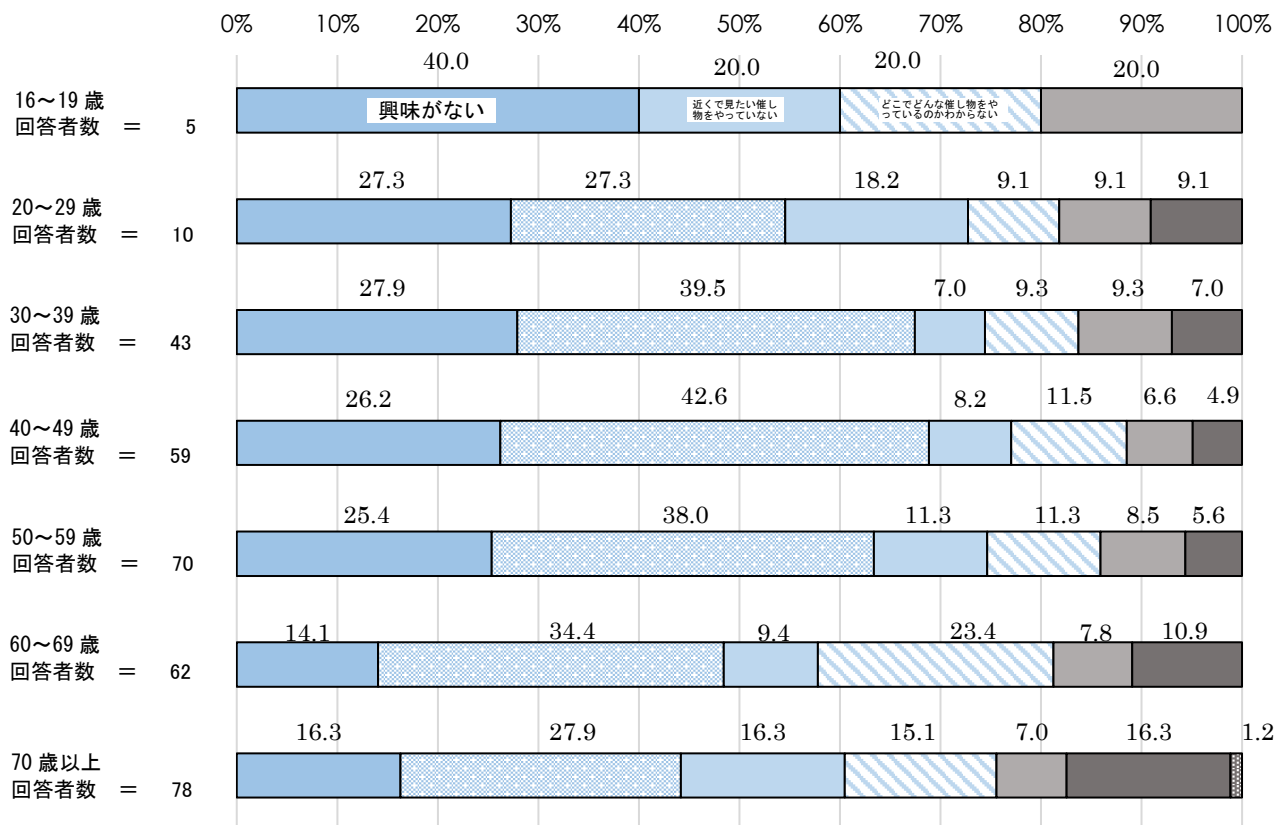
【性別】

男女とも「興味はあるが時間がとれない」が第1位、「興味がない」が第2位の回答ですが、「興味はあるが時間がとれない」は男性より女性に多く、「興味がない」は女性より男性に多くなっています。



【年代別】

年代別でみると、20～70歳以上の年代で「興味はあるが時間がとれない」が第1位となっています。また、60～69歳の回答では「どこでどんな催し物をしているのかわからない」(23.4%)が他の年代と比較して多くなっています。



【「その他」記述欄】

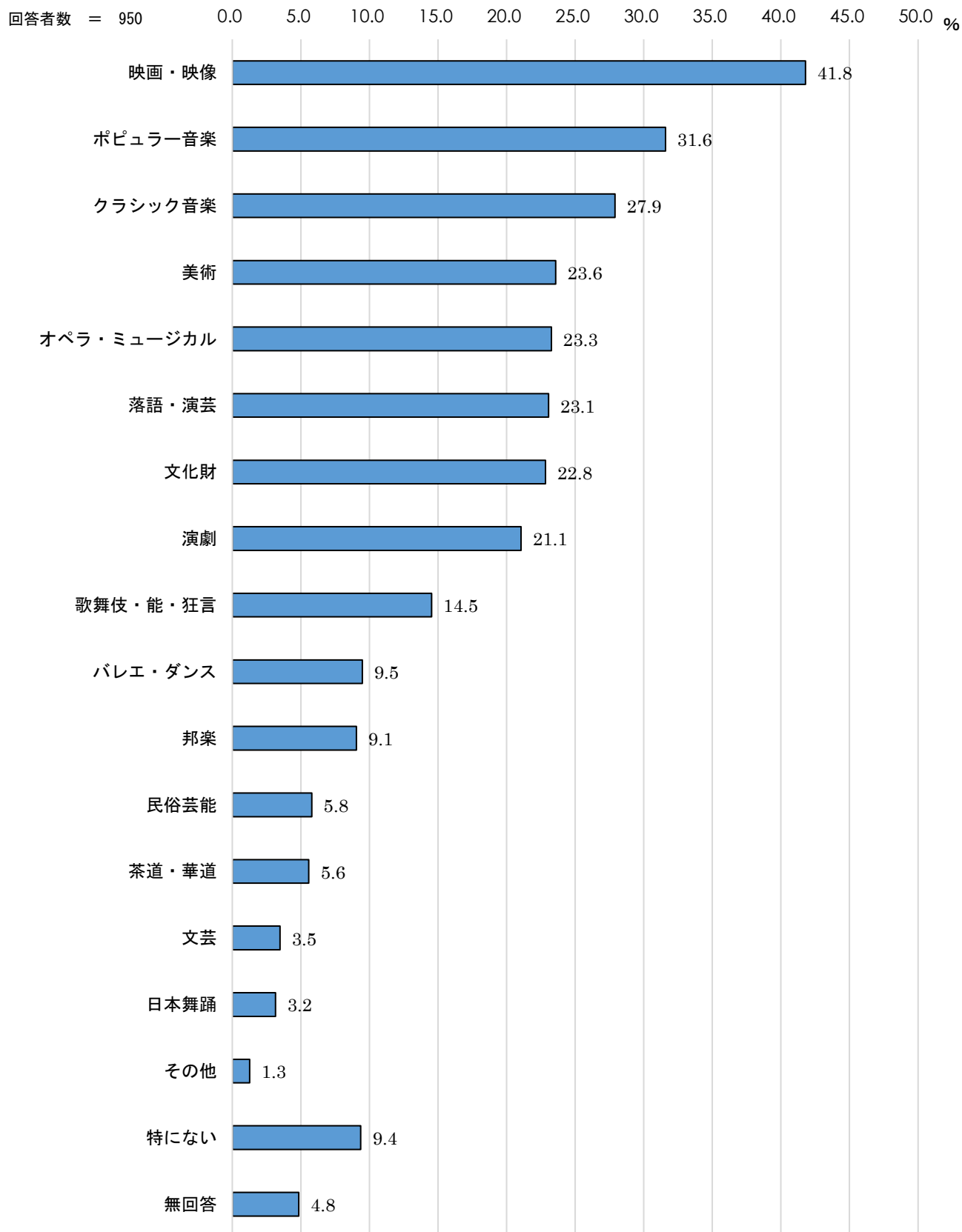
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

体調が悪かった、病気のため、仕事で多忙、障害があるため、意欲低減、所得低く自己に費やす資金がない、興味はあるが出掛ける気にならない、介護のため

- ・入院手術のため外出が難しかった。
- ・興味はありますが、なかなか行動に起こせない。
- ・とても興味はあるのですが体調が悪く必要以外の外出ができません。
- ・夫が亡くなり、相続手続きなどで疲れて楽しもうという気持ちになれませんでした。
- ・健康上の都合により、会場へ行くことが難しいため。
- ・実母逝去後の生活リズムを優先。
- ・コンサート等は土日が多く、私には障害のあるこどもがいるため外に出られない。
- ・子育て中の為。こどもの時間を優先にしている。
- ・妊娠出産育児でそのような暇ができなかったため。
- ・自宅で有料チャンネルにて、少し遅れた映画を空時間に鑑賞しています。

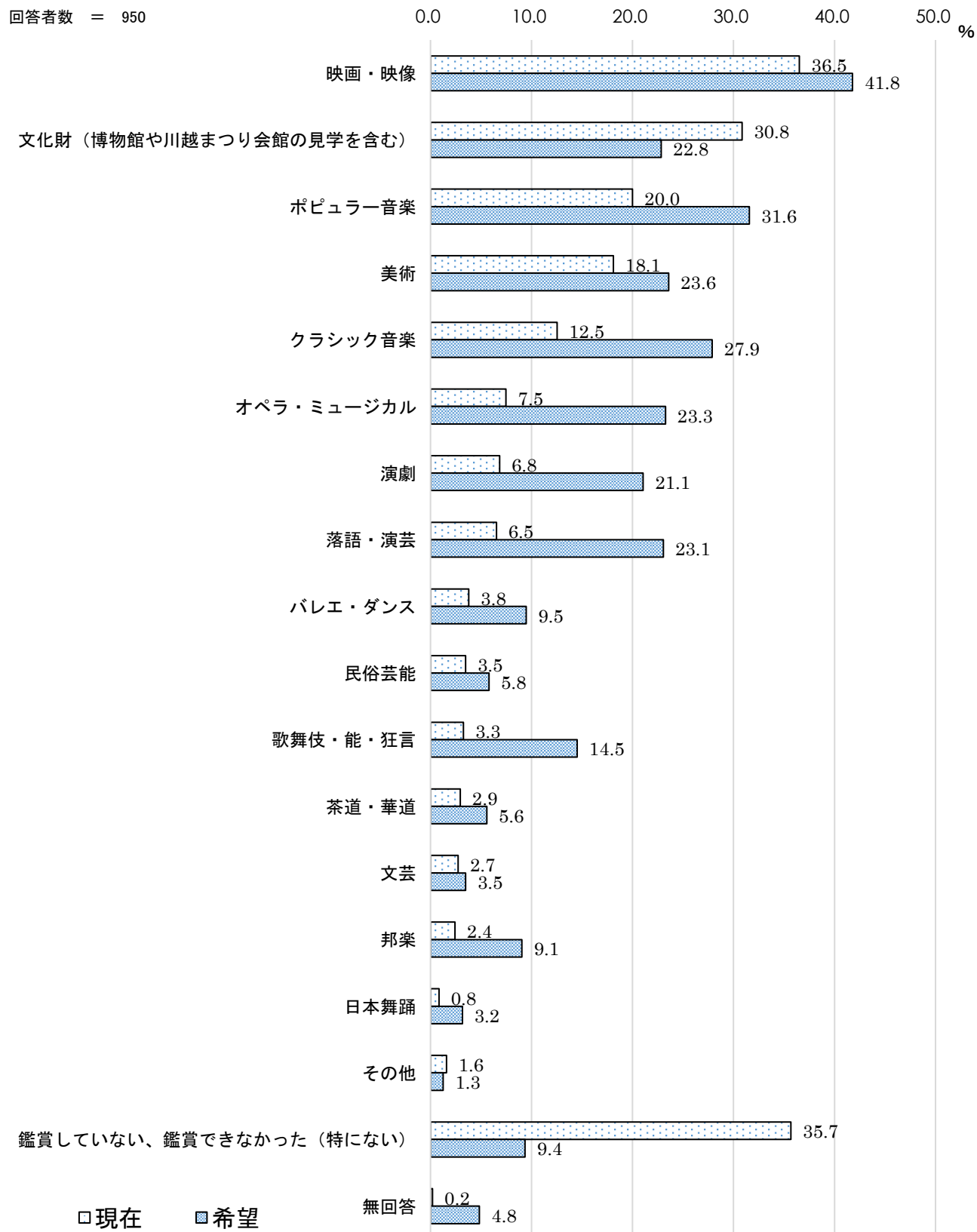
問4 今後、下記の演目等の中で、鑑賞してみたい演目等がありますか。
(〇はいくつでも)

「映画・映像」(41.8%)が4割程度で最も高く、以下、「ポピュラー音楽」(31.6%)、「クラシック音楽」(27.9%)の順となっています。



＜現在と希望の比較＞

問1での「鑑賞していない、鑑賞できなかった」の回答は35.7%でしたが、問4の「特にない」の回答は9.4%です。このことから、“現在は鑑賞していないが、何らかの演目等を鑑賞したいと思っている人”が多いと考えられます。特に「クラシック音楽」「オペラ・ミュージカル」「落語・演芸」では現在よりも希望が15ポイント以上高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、ほぼ全ての年代で「映画・映像」が第1位となっており、20～29歳及び30～39歳では「オペラ・ミュージカル」が、16～19歳では「クラシック音楽」と「ポピュラー音楽」が、それぞれ4割程度の回答となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	文化財（博物館や川越まつり会館の見学を含む）	その他	特になし	無回答
16～19歳	26	42.3	42.3	23.1	19.2	26.9	26.9	7.7	7.7	23.1	11.5	15.4	53.8	11.5	7.7	30.8	—	7.7	3.8
20～29歳	50	32.0	36.0	24.0	18.0	38.0	14.0	12.0	10.0	14.0	8.0	12.0	34.0	14.0	6.0	18.0	2.0	10.0	2.0
30～39歳	107	24.3	30.8	24.3	29.9	41.1	13.1	5.6	13.1	15.0	1.9	17.8	47.7	3.7	0.9	26.2	—	11.2	3.7
40～49歳	163	31.9	38.0	23.3	22.1	23.9	11.0	1.8	15.3	12.3	8.6	22.1	41.1	8.6	8.6	20.2	1.2	13.5	2.5
50～59歳	170	28.2	32.9	26.5	18.8	25.9	11.2	1.2	17.6	11.2	2.4	18.2	49.4	4.1	1.2	24.1	1.8	8.2	7.1
60～69歳	178	31.5	34.3	25.8	24.7	25.8	9.6	2.2	16.3	6.2	5.6	34.8	42.1	5.1	2.8	28.7	1.7	6.2	3.9
70歳以上	177	28.8	26.0	24.3	20.9	11.3	3.4	3.4	15.8	4.0	8.5	29.9	41.8	5.1	2.8	23.2	1.7	11.9	9.0

【「その他」記述欄】

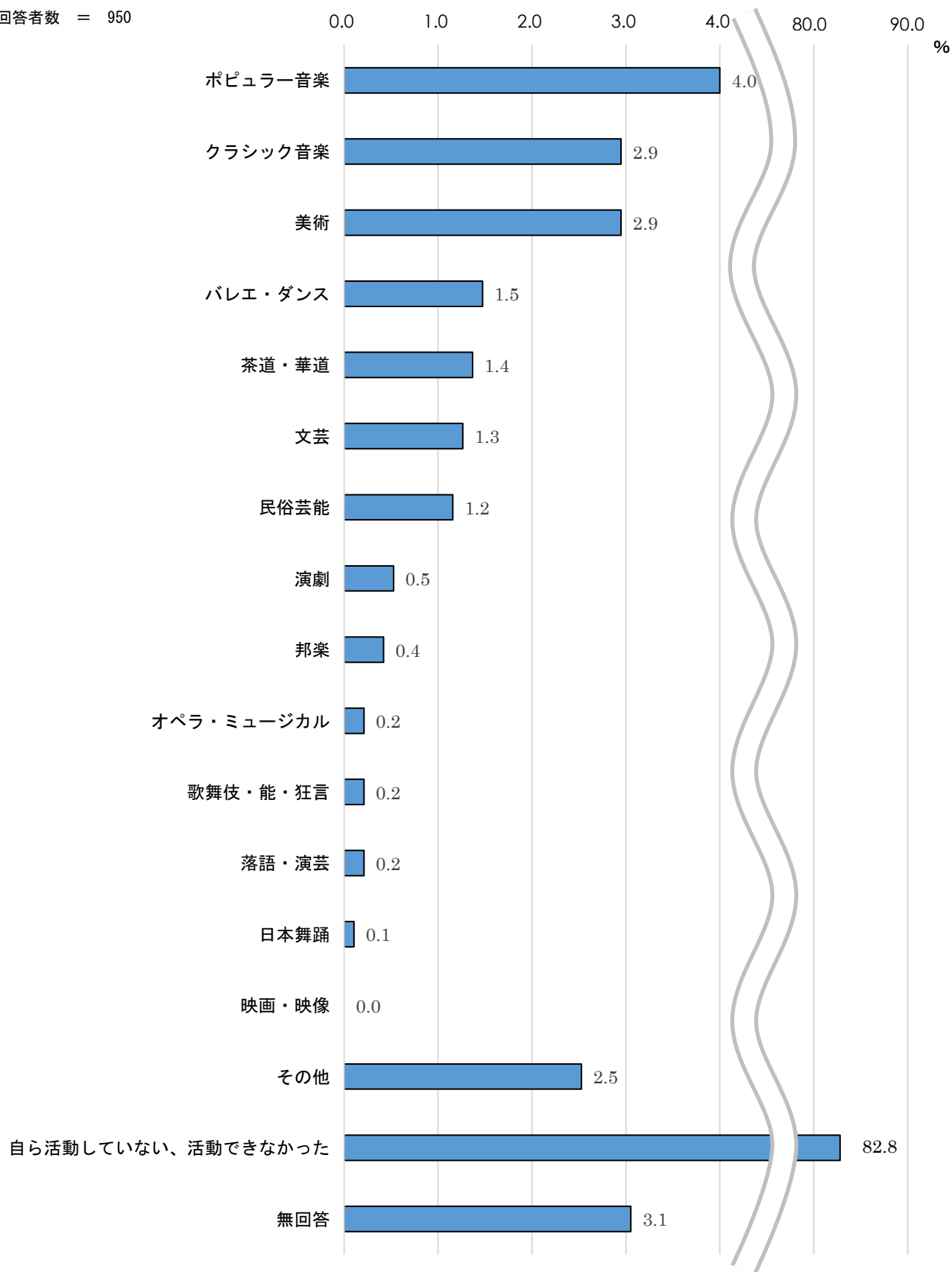
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

書道、花火、こども向け博物館、好きな歌手のコンサート、腹話術、人形劇、合唱、市内高校のマーチングバンドやダンスパフォーマンス

問5 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に下記の演目に関して、自ら活動した（演じる、作品を創る、習う）ものはありますか。（〇はいくつでも）

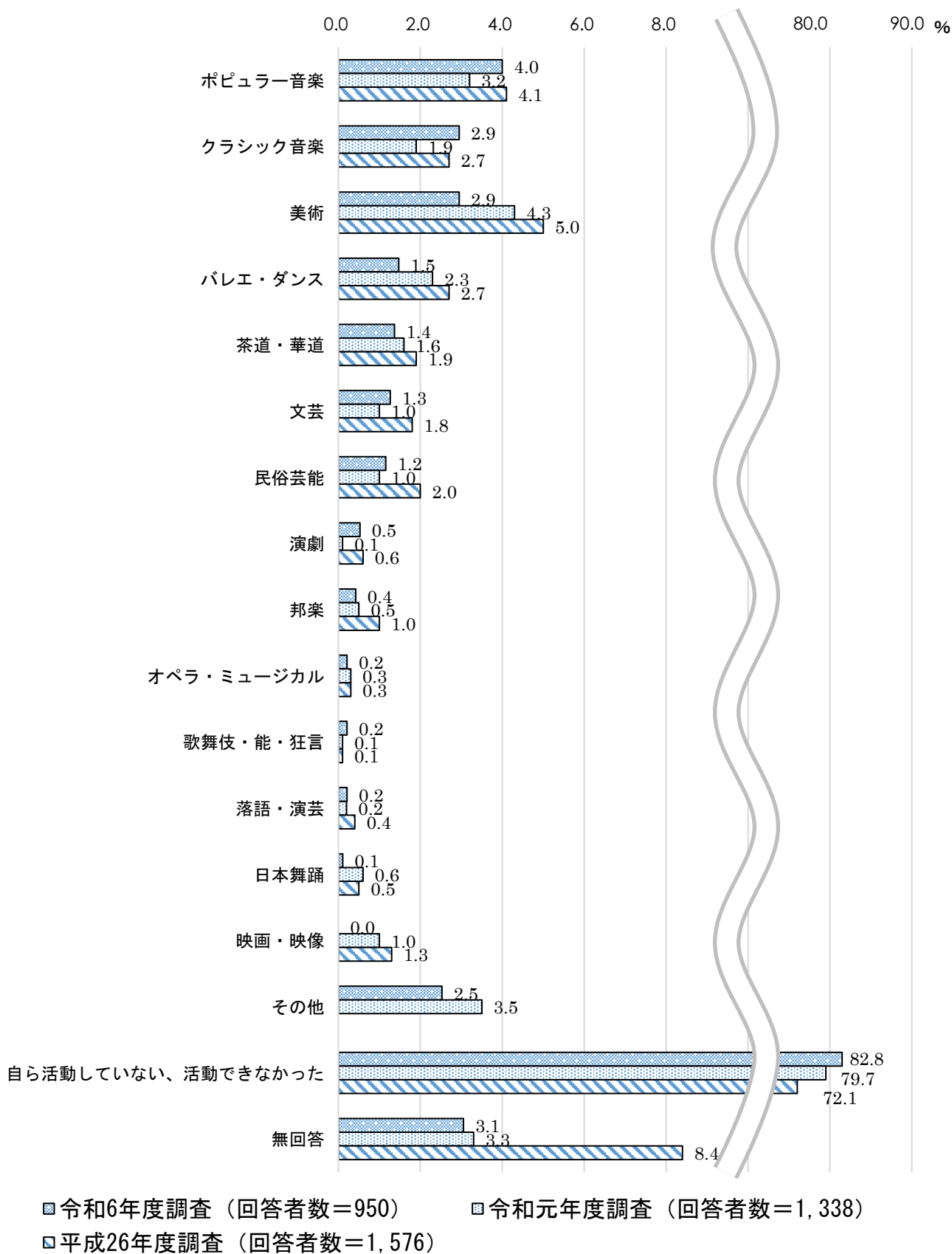
「自ら活動していない、活動できなかった」（82.8%）が最も多く、8割となっています。

回答者数 = 950



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「自ら活動していない、活動できなかった」が 3.1 ポイント増加しています。



※平成 26 年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

【性 別】

性別でみると、男性、女性とも「自ら活動していない、活動できなかった」が第1位の回答ですが、男性の「自ら活動していない、活動できなかった」(87.2%)は女性の回答(79.8%)を7ポイント以上、上回っています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	その他	自ら活動していない、 活動できなかった	無回答
男性	392	2.0	3.1	2.3	0.5	0.3	0.5	0.3	—	0.5	1.3	—	—	0.3	1.5	2.3	87.2	2.6
女性	504	3.6	4.2	3.4	0.6	—	2.2	—	0.2	0.4	1.2	0.4	—	2.2	1.2	3.0	79.8	3.4
その他／ 答えたくない	54	3.7	9.3	3.7	—	1.9	1.9	—	1.9	—	—	—	—	1.9	—	—	79.6	3.7

【年代別】

年代別でみると、全ての年代で「自ら活動していない、活動できなかった」が第1位の回答となっていますが、30～39歳、40～49歳及び50～59歳ではこの選択肢の回答が特に多く、9割前後となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	その他	自ら活動していない、 活動できなかった	無回答
16～19歳	27	7.4	7.4	7.4	3.7	—	3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	7.4	66.7	—
20～29歳	51	3.9	3.9	5.9	2.0	—	5.9	—	—	—	—	2.0	—	2.0	2.0	—	76.5	3.9
30～39歳	111	4.5	2.7	0.9	0.9	—	—	—	—	0.9	0.9	—	—	—	0.9	0.9	89.2	0.9
40～49歳	167	1.2	1.8	2.4	—	—	—	—	—	—	3.0	—	—	—	—	1.8	91.0	0.6
50～59歳	182	1.6	1.6	2.2	—	0.5	1.1	—	0.5	—	—	—	—	1.1	2.2	1.6	88.5	2.2
60～69歳	185	4.3	4.3	2.2	1.1	0.5	2.2	—	—	—	0.5	—	—	2.2	1.1	3.2	82.2	2.2
70歳以上	193	3.1	6.2	5.2	—	—	1.6	0.5	—	1.6	2.1	0.5	—	2.6	2.1	4.7	72.5	7.8

【「その他」記述欄】

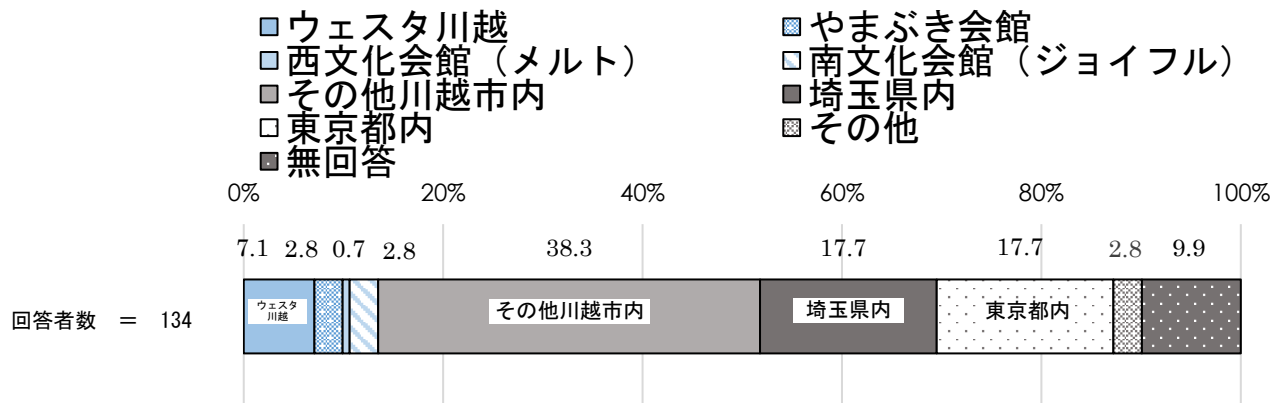
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

お囃子、川越まつり、書道、陶芸、仏像彫刻、合唱、わらべうた、ウクレレ、三線、お琴、植木、語り、紙芝居、パネルシアター、パペットシアター、腹話術、タップダンス、シルバー会員展示会、鉱物標本の作製

問5で、1.～15.の活動をしたと答えた方におたずねします。

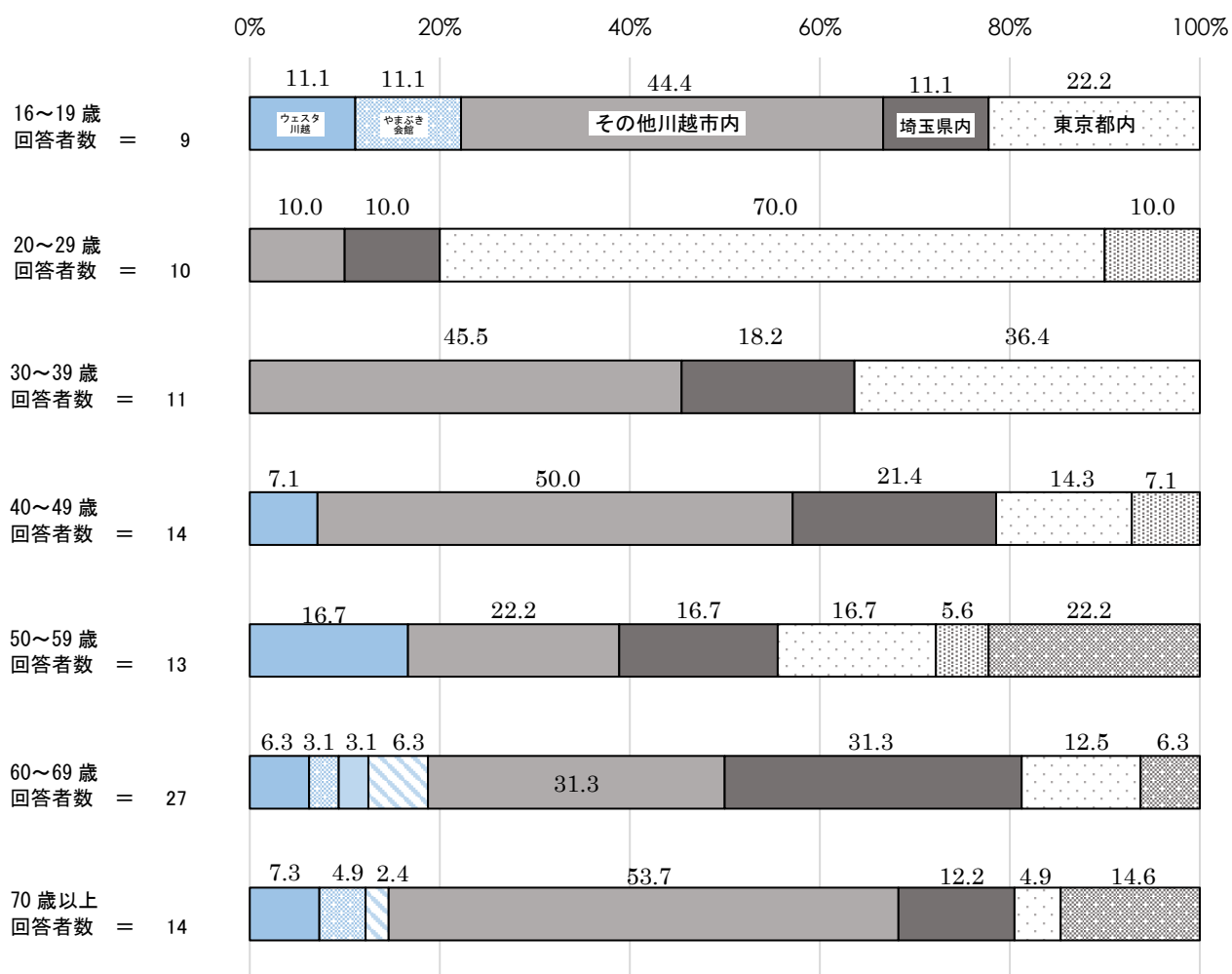
問6 どこで最も多く活動しましたか。(〇は3つまで)

「その他川越市内」(38.3%)が最も多く4割近くになっています。以下、「埼玉県内」及び「東京都内」(17.7%)の順となっています。



【年代別】

年代別でみると、多くの年代で「その他の川越市内」が第1位となっていますが、20～29歳及び30～39歳では「東京都内」の割合が他の世代より高い傾向があります。



【「その他」記述欄】

この設問における「その他」等の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

5. 川越市内その他

自宅、川越市立美術館、川越市立中央図書館、公民館、市民センター、川越まつり会館、学校、保育園、福祉施設、川越東高校、自治会館、カフェ、貸しスタジオ、スポーツジム、音楽教室、特別養護老人ホーム、シルバー人材センター、熊野神社、福田、蔵造りの町並み

6. 埼玉県内

さいたま市、鶴ヶ島市、日高市、狭山市、所沢市、入間市、東松山市、ふじみ野市、富士見市、朝霞市、和光市、越谷市、秩父市、吉川市、毛呂山町

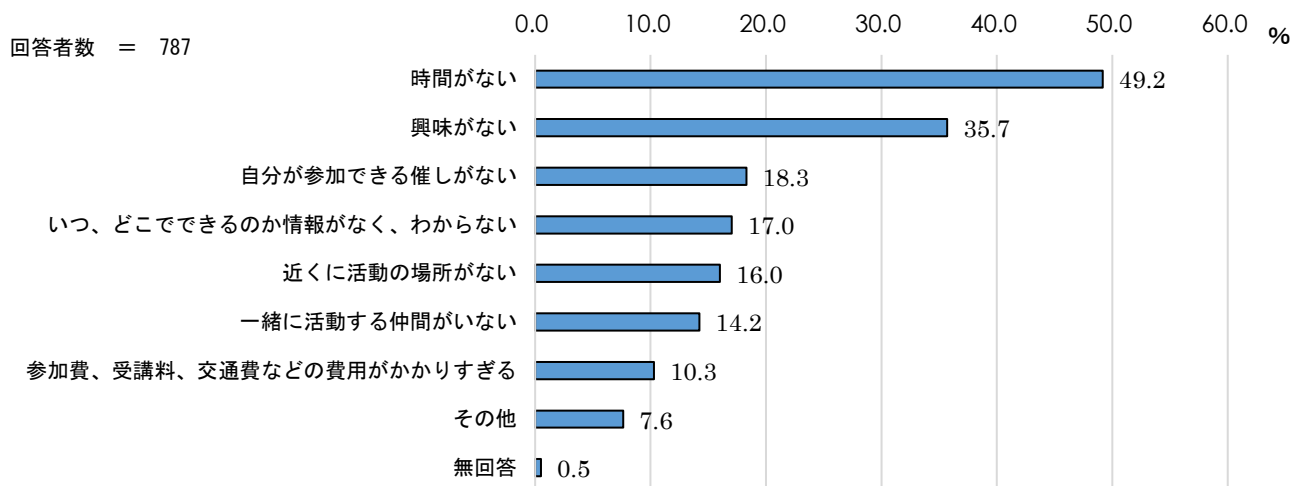
8. その他

兵庫県神戸市

問5で、「16. 自ら活動していない、活動できなかった」と答えた方におたずねします。

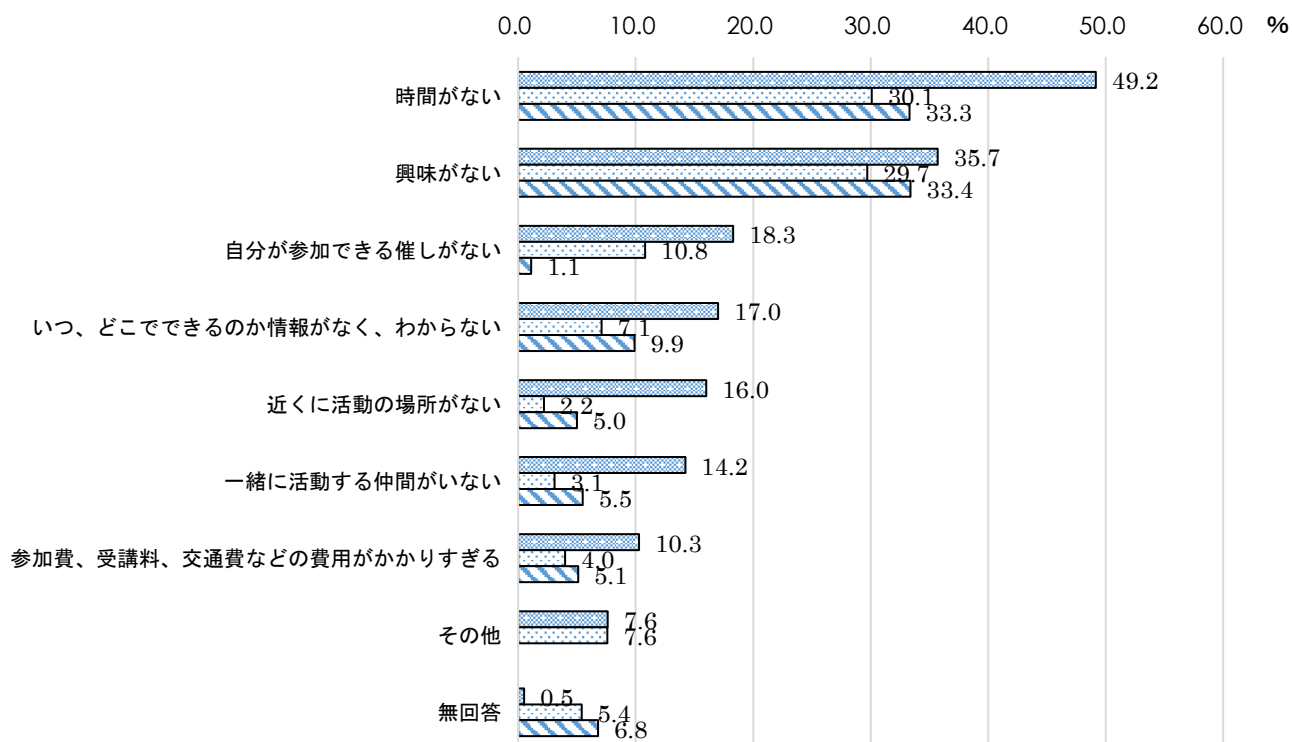
問7 その理由に○をつけてください。(○は3つまで)

「時間がない」(49.2%) が最も多く、約5割となっています。以下、「興味がない」(35.7%)、「自分が参加できる催しがない」(18.3%) の順となっています。



【経年比較】

令和元年度、平成26年度調査とは設問の選択方法が異なるため参考とします。



- ☒ 令和6年度調査（回答者数＝787）
 ☐ 令和元年度調査（回答者数＝1,067）
☒ 平成26年度調査（回答者数＝1,137）

※令和元年度調査、平成26年度調査では選択肢からひとつ選ぶ回答方式でした。

※平成26年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

【性 別】

性別でみると、男性、女性とも「興味がない」が第 1 位で、5 割程度となっています。男性、女性とも第 2 位は「時間がない」ですが、男性は女性の回答を 11 ポイント以上、上回っています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がない	興味がない	自分が参加できる催しがない	いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない	近くに活動の場所がない	一緒に活動する仲間がいない	参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる	その他	無回答
男性	343	41.7	46.4	14.0	17.5	18.4	19.0	6.4	4.7	0.3
女性	402	29.9	52.0	16.4	18.7	10.7	15.2	13.2	10.4	0.7
その他／答えたくない	43	41.9	44.2	27.9	20.9	14.0	18.6	14.0	4.7	—

【年代別】

年代別でみると、いずれの年代も上位 2 つは「興味がない」、「時間がない」ですが、20～29 歳では「時間がない」が第 1 位、30～39 歳では「時間がない」、「興味がない」がともに第 1 位、その他の年代では「興味がない」が第 1 位となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	時間がない	興味がない	自分が参加できる催しがない	いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない	近くに活動の場所がない	一緒に活動する仲間がいない	参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる	その他	無回答
16～19 歳	18	38.9	44.4	5.6	33.3	38.9	33.3	5.6	—	—
20～29 歳	39	43.6	38.5	15.4	17.9	20.5	33.3	5.1	7.7	—
30～39 歳	99	52.5	52.5	11.1	9.1	15.2	16.2	8.1	2.0	—
40～49 歳	152	38.2	63.2	17.1	14.5	9.2	13.2	13.2	3.9	—
50～59 歳	161	31.7	48.4	12.4	19.9	11.2	14.9	9.9	7.5	0.6
60～69 歳	152	28.3	44.1	13.8	24.3	15.8	17.8	10.5	10.5	—
70 歳以上	140	30.7	40.7	23.6	17.1	16.4	17.9	10.0	14.3	2.1

【「その他」記述欄】

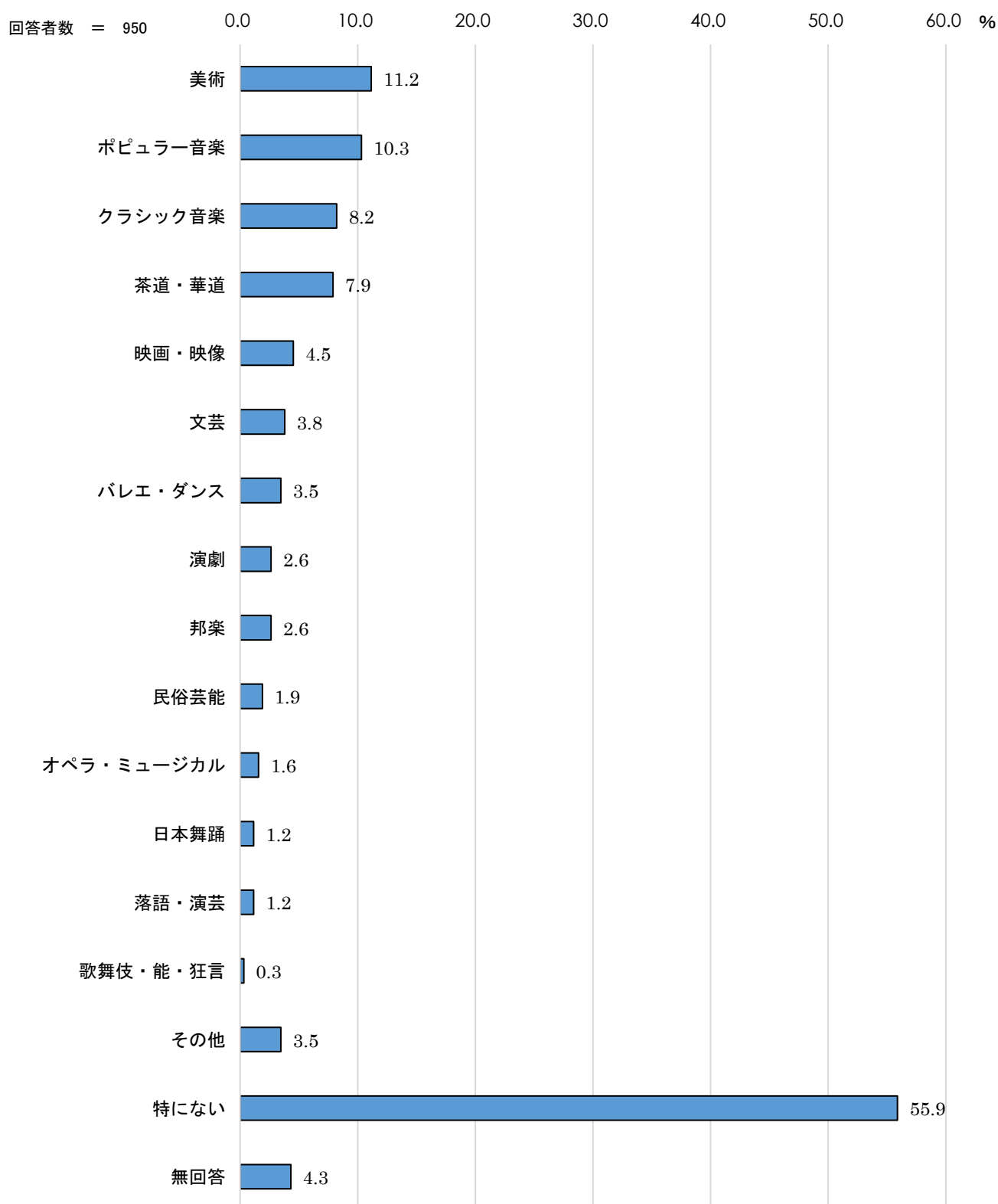
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

健康上の理由、障害があるから、高齢のため、親の介護で外出できない、育児で忙しい、自分で出来るものが無い、自信がない、自ら活動するほど興味がない、他の活動をやっているから、人づきあいが苦手、文化芸術は見るものと思う、若い時に十分楽しんだので、興味がないわけではないが行動を起こさなかった、参加には興味が無い、鑑賞だけで十分

- ・発表会等は土日が多いため参加できない。
- ・自ら活動するというよりは鑑賞するほうが好きなため。
- ・鑑賞はするが自ら活動する気は無い。
- ・時間や場所やメンバーはと考え面倒になる。
- ・習いたい気持ちはあるがきっかけがない。
- ・お茶や中国語や英語など自分のランクが合うか分からない。
- ・鑑賞のほうが好きだから。
- ・特に習った経験もないので鑑賞する側でいい。
- ・自分がやるより見たり聴いたりするほうが好きだから。
- ・鑑賞や催しは大変好きだが活動はしない。
- ・習ってみたいと思うものは、才能が必要なものばかりです。今さら感があります。
- ・テクニックを身につける時間と費用も必要なので鑑賞で十分です。
- ・ウクライナ侵攻や中東の紛争、天災などで気分が乗りません。世界中、日本中が幸せになればと思います。

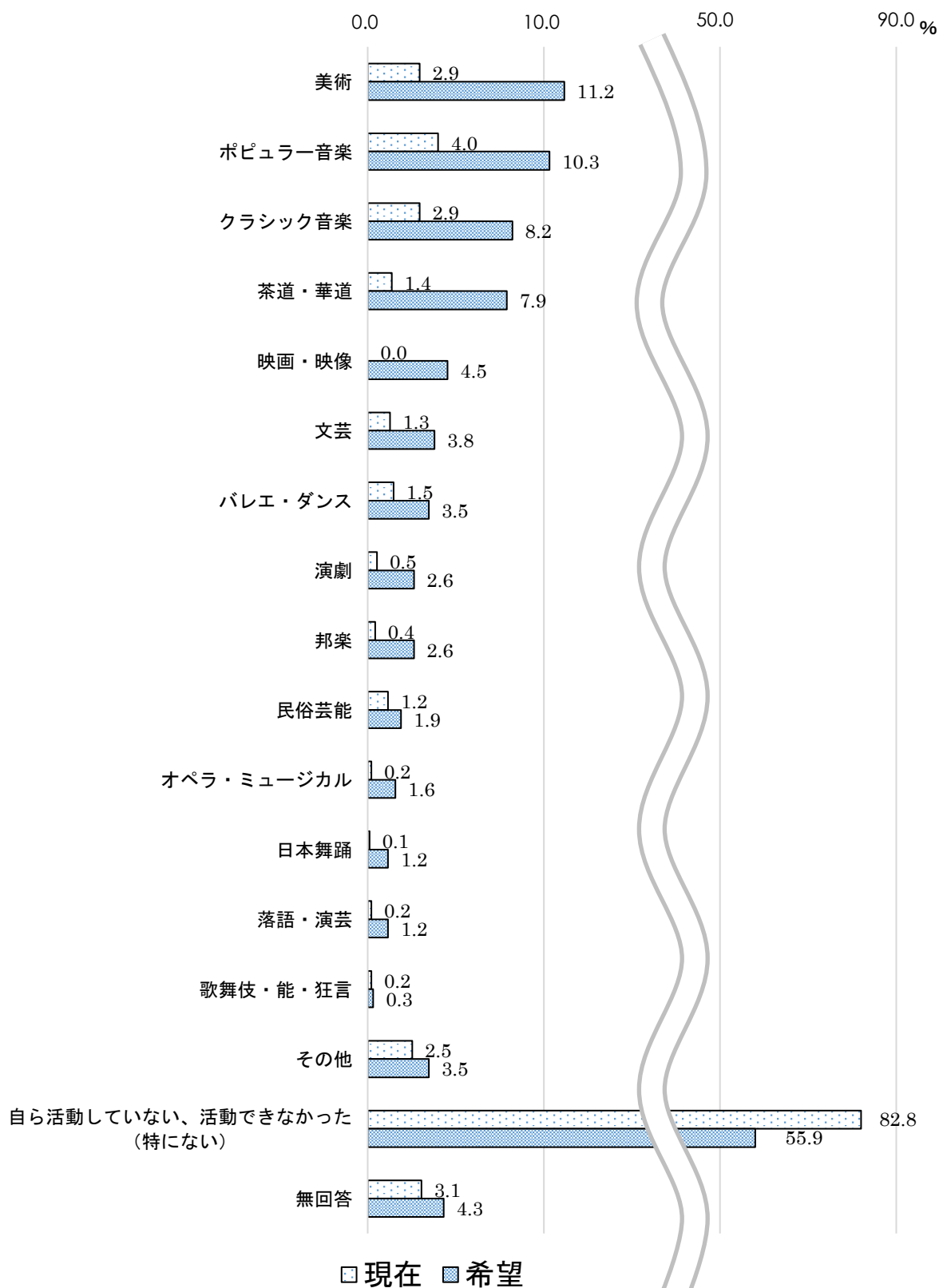
問8 今後、下記の演目の中で、自ら活動したいと思うものはありますか。
(〇はいくつでも)

「特にない」(55.9%)が最も多く、5割を超えています。以下「美術」(11.2%)、「ポピュラー音楽」(10.3%)の順となっています。



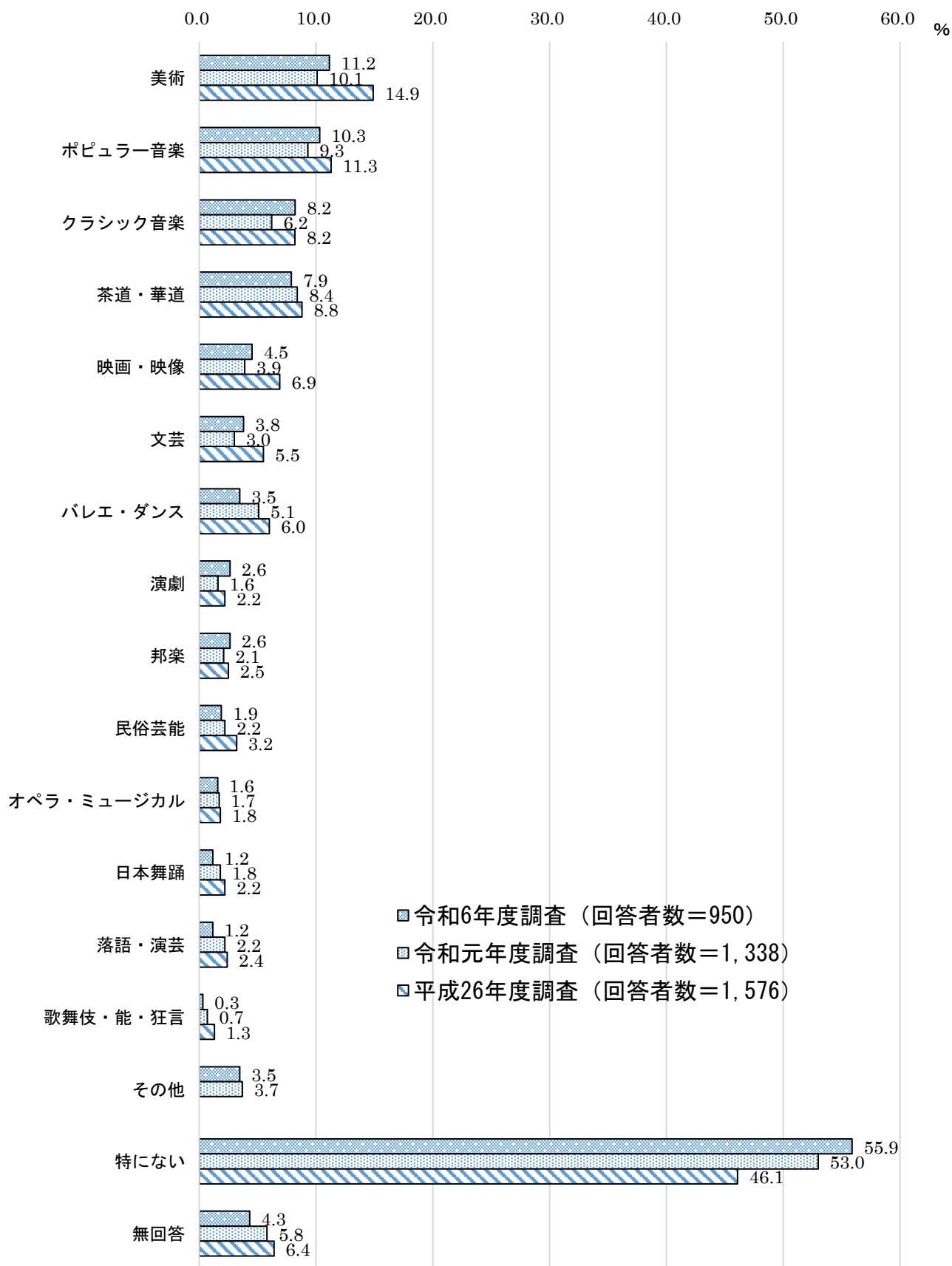
＜現在と希望の比較＞

問5での「自ら活動していない、活動できなかった」の回答は82.8%でしたが、問8の「特にない」の回答は55.9%です。このことから、“現在は活動していないが、何らかの活動をしたいと思っている人”が多いと考えられます。



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「特にない」が2.9ポイント増加しています。



※平成26年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

全体で、選択肢「特にない」の次に多い回答となった「美術」は、16～19 歳、20～29 歳、40～49 歳及び 60～69 歳では第 2 位の回答になっています。一方、30～39 歳では「クラシック音楽」に続き「美術」は第 3 位で、50～59 歳及び 70 歳以上では「ポピュラー音楽」に続き、「美術」は第 3 位になっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	クラシック音楽	ポピュラー音楽	美術	演劇	オペラ・ミュージカル	バレエ・ダンス	日本舞踊	歌舞伎・能・狂言	邦楽	民俗芸能	落語・演芸	映画・映像	茶道・華道	文芸	その他	特にない	無回答
16～19 歳	27	7.4	11.1	14.8	3.7	—	11.1	3.7	—	7.4	3.7	3.7	11.1	11.1	11.1	3.7	33.3	3.7
20～29 歳	51	13.7	17.6	17.6	3.9	5.9	5.9	3.9	2.0	3.9	3.9	—	5.9	11.8	5.9	—	45.1	5.9
30～39 歳	111	15.3	9.9	14.4	3.6	1.8	7.2	1.8	—	2.7	0.9	0.9	2.7	7.2	1.8	2.7	55.0	—
40～49 歳	167	11.4	11.4	13.2	3.6	0.6	3.6	1.2	—	3.6	1.8	0.6	6.0	12.6	3.6	2.4	57.5	1.2
50～59 歳	182	5.5	9.9	7.7	0.5	2.2	4.9	0.5	—	3.8	1.6	—	6.0	7.7	2.7	2.2	58.8	3.8
60～69 歳	185	7.6	10.3	13.0	4.3	1.6	1.6	0.5	0.5	1.6	1.6	2.2	3.2	8.1	5.9	5.4	55.1	1.6
70 歳以上	193	4.7	8.8	7.3	1.6	1.0	0.5	1.0	—	0.5	2.1	1.6	3.1	3.6	3.1	5.2	59.1	10.4

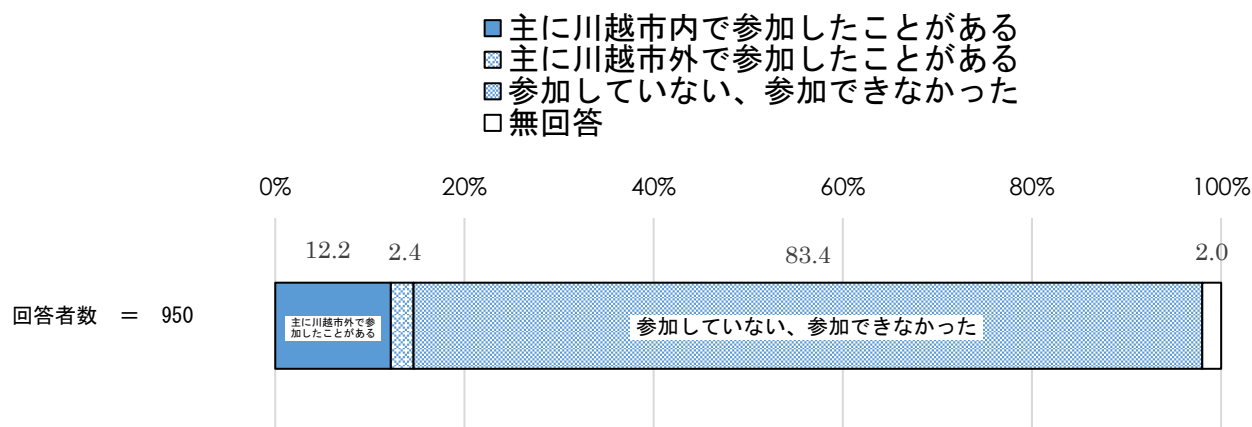
【「その他」記述欄】

この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

ウクレレ、バグパイプ、三線、川越まつりの囃子、合唱、写真、彫刻、陶芸、書道、料理、きもの着付け、運動、ボランティア活動、家庭菜園、ガーデニング、ゲーム制作、スポーツ観戦、腹話術、パペット作り、鉱物標本作製

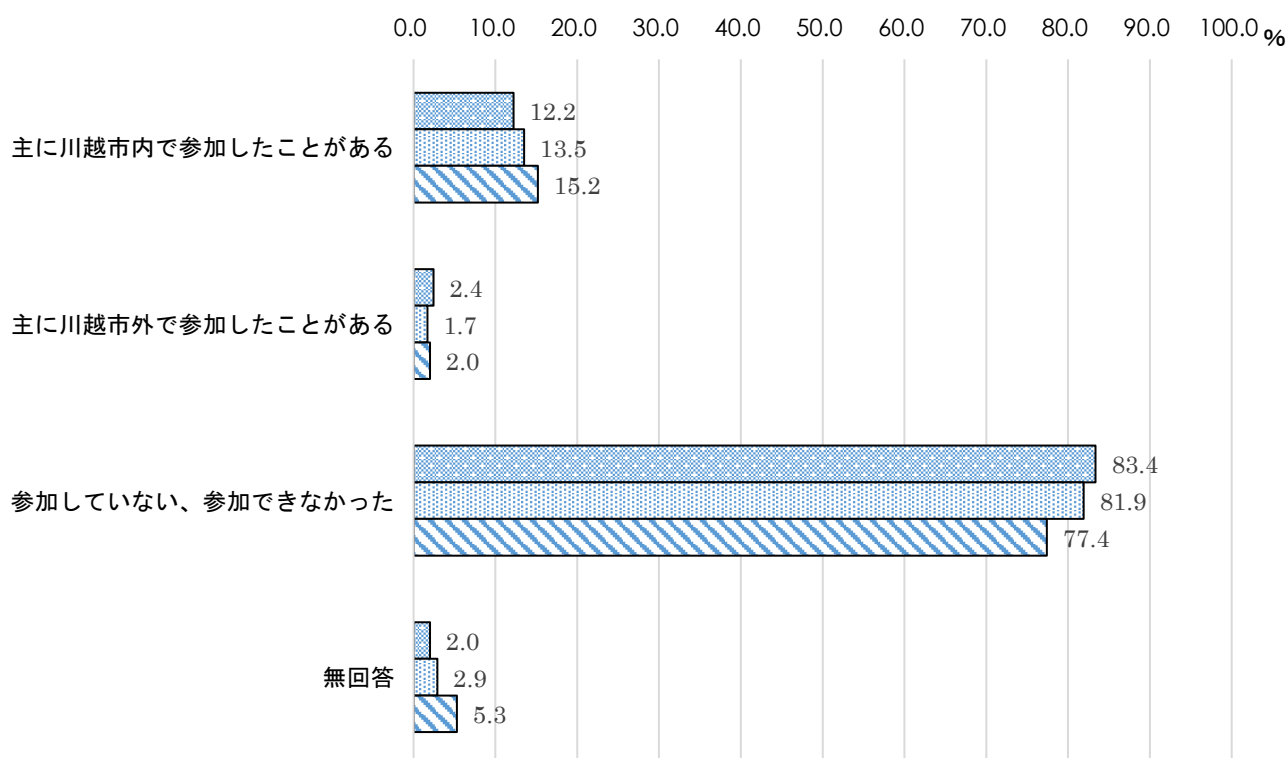
問9 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加したことがありますか。（お祭り、獅子舞などの伝統行事や、博物館の講座などへの参加も含みます。）（1つに○）

「参加していない、参加できなかった」（83.4%）が8割を超え、最も多くなっています。以下、「主に川越市内で参加したことがある」（12.2%）、「主に川越市外で参加したことがある」（2.4%）の順となっています。



【経年比較】

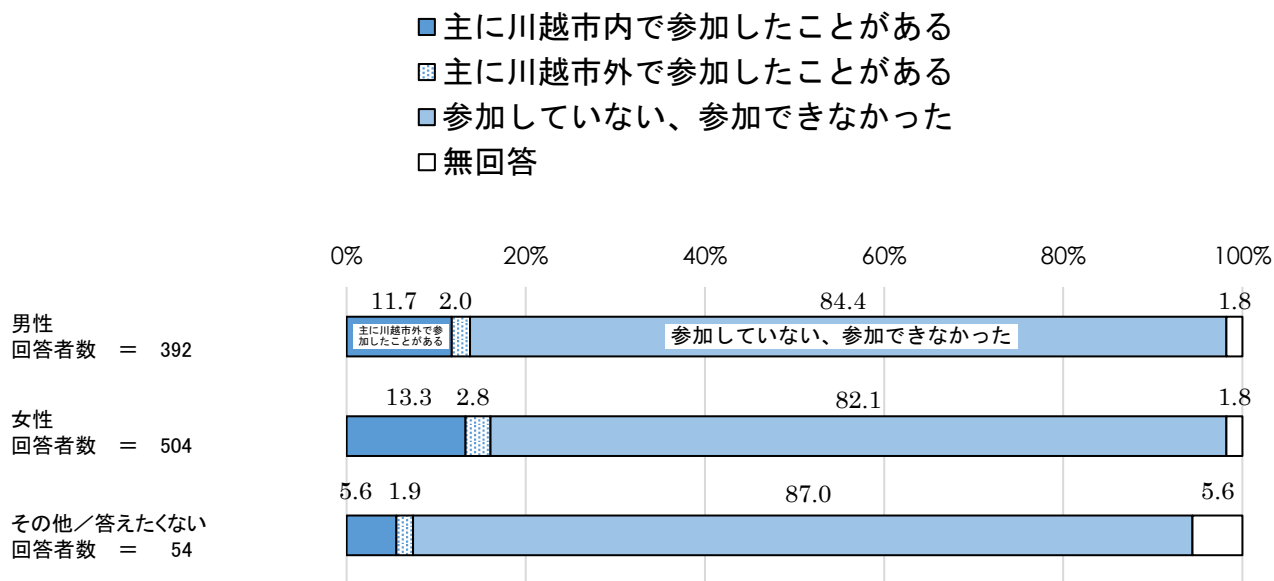
令和元年度調査と比較すると、第1位の「参加していない、参加できなかった」（83.4%）が1.5ポイント増えています。



■ 令和6年度調査（回答者数＝950） ■ 令和元年度調査（回答者数＝1,338）
 ■ 平成26年度調査（回答者数＝1,576）

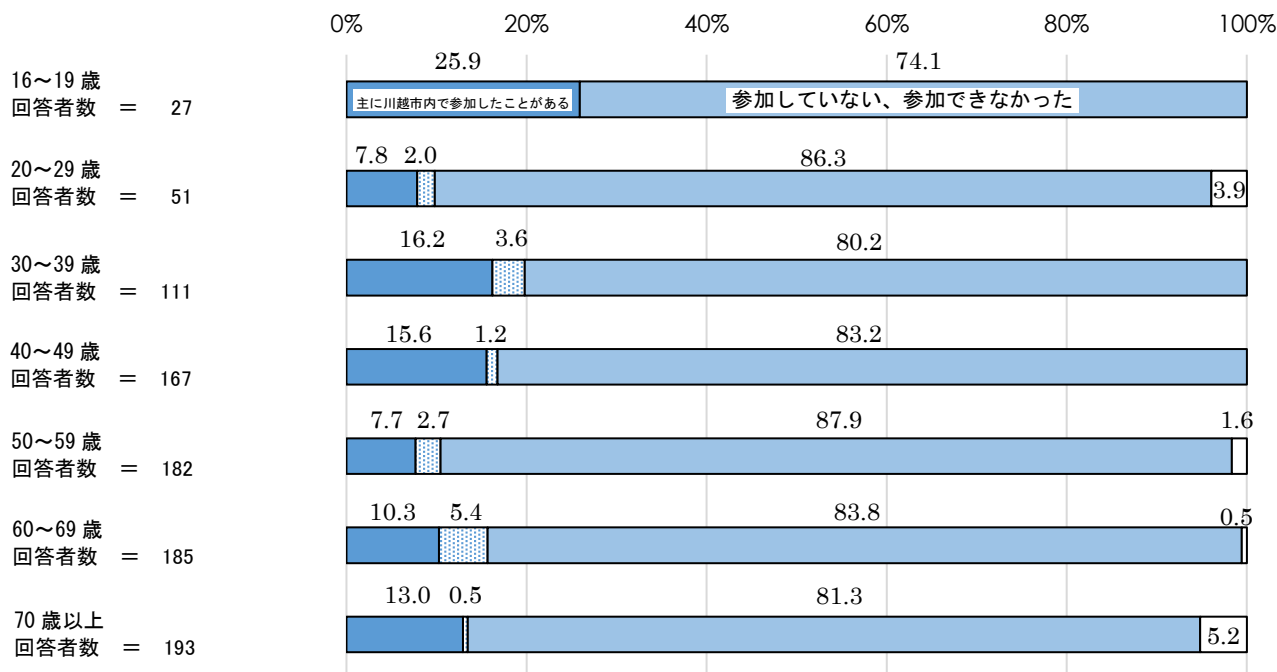
【性 別】

性別でみると、「主に川越市内で参加したことがある」「主に川越市外で参加したことがある」について、女性の回答が男性よりわずかに多くなっています。



【年代別】

年代別でみると、いずれの年代も「参加していない、参加できなかった」が第1位ですが、第2位の「主に川越市内で参加したことがある」は20～29歳(7.8%)、50～59歳(7.7%)を除き、その他の年代では1割を超えています。



【「その他」記述欄】

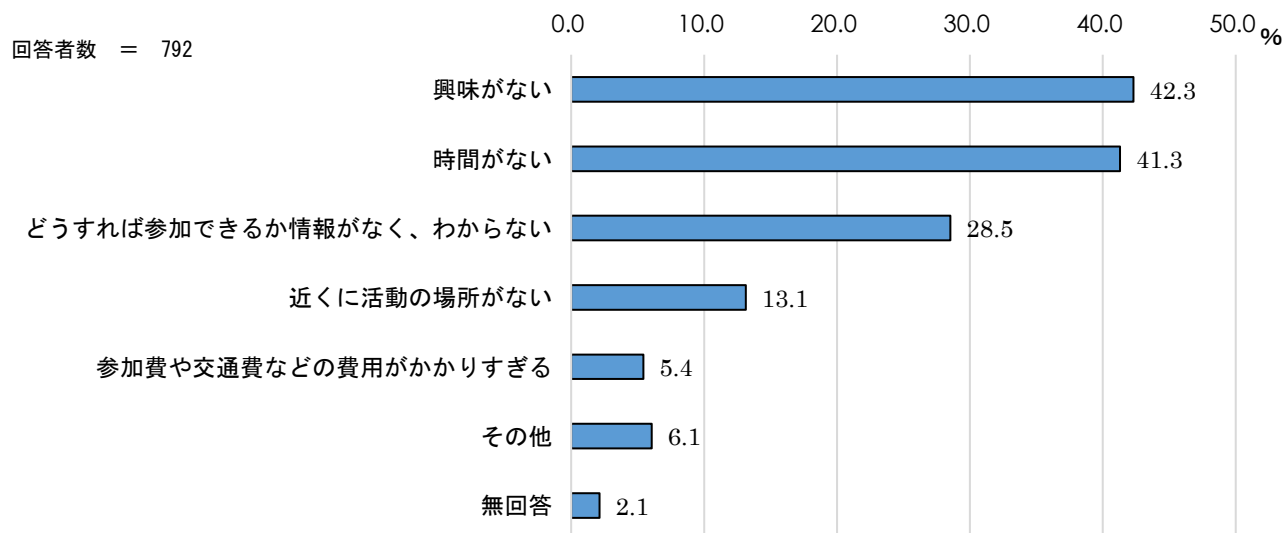
この設問における「主に川越市外で参加したことがある」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

さいたま市、所沢市、狭山市、朝霞市、越谷市、三芳町、行田市、宮城県仙台市、栃木県足利市、東京都、長野県、愛知県犬山市、三重県桑名市、奈良県奈良市、徳島県徳島市、沖縄県糸満市

問9で「3. 参加していない、参加できなかった」と答えた方におたずねします。

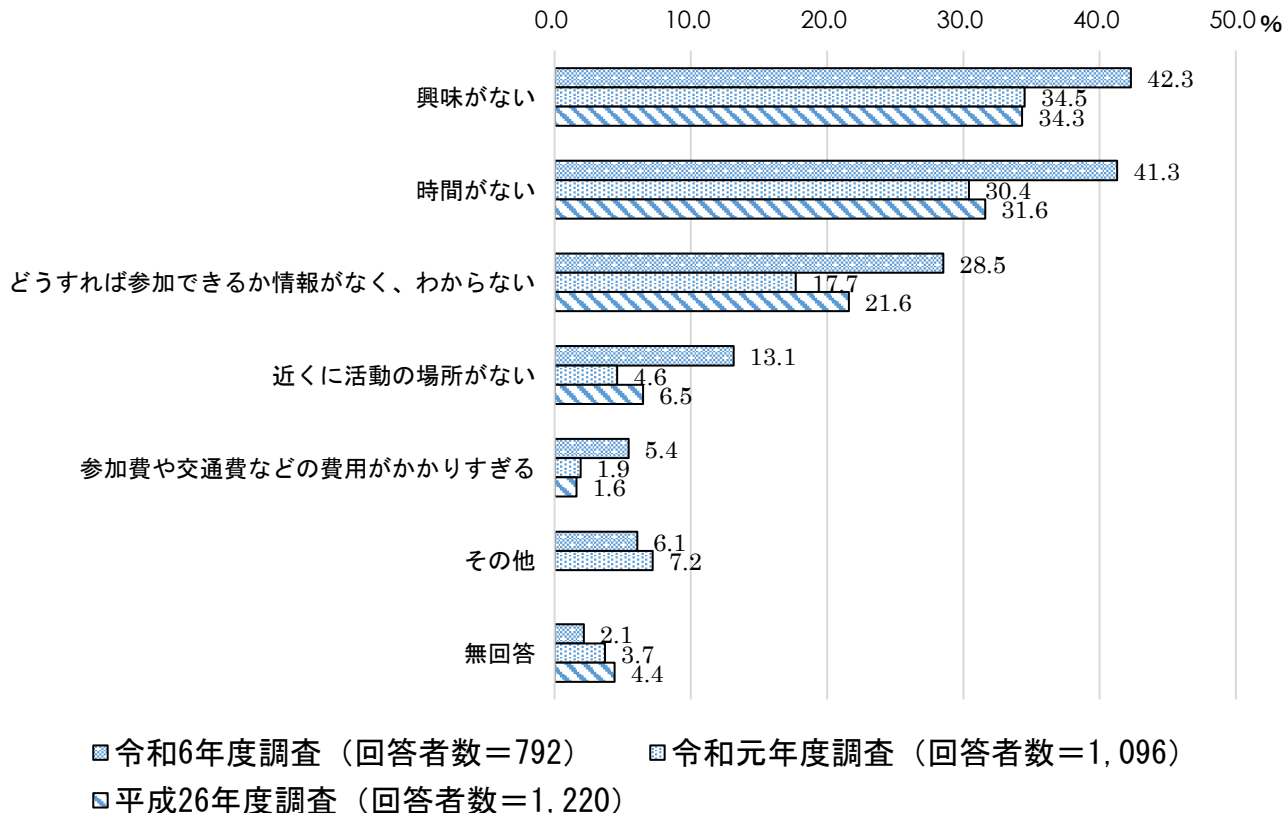
問10 その理由に○をつけてください。(○は3つまで)

「興味がない」(42.3%) が最も多くなっています。以下、「時間がない」(41.3%)、「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」(28.5%) の順となっています。



【経年比較】

令和元年度、平成26年度調査とは設問の選択方法が異なるため参考とします。



※令和元年度調査、平成26年度調査では選択肢からひとつ選ぶ回答方式でした。

※平成26年度調査には「その他」の選択肢はありませんでした。

【性 別】

性別でみると、第 3 位となった回答「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」は、男女でほぼ同じ割合となりましたが、「興味がない」に関しては男性（48.6%）が、「時間がない」に関しては女性（43.0%）がそれぞれ 1 位の回答となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	興味がない	時間がない	近くに活動の場所がない	どうすれば参加できるか情報がなく、わからない	参加費や交通費などの費用がかかりすぎる	その他	無回答
男性	331	48.6	39.6	13.9	29.3	5.7	3.9	2.1
女性	414	36.7	43.0	12.6	28.3	4.8	8.0	2.2
その他／答えたくない	47	46.8	38.3	12.8	25.5	8.5	4.3	2.1

【年代別】

どの年代においても、「興味がない」「時間がない」が多い傾向がありますが、他の年代に比べ、16～19 歳では「どうすれば参加できるか情報がなく、わからない」（50.0%）が最も多くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	興味がない	時間がない	近くに活動の場所がない	どうすれば参加できるか情報がなく、わからない	参加費や交通費などの費用がかかりすぎる	その他	無回答
16～19 歳	20	40.0	45.0	15.0	50.0	5.0	—	—
20～29 歳	44	45.5	47.7	15.9	36.4	4.5	4.5	—
30～39 歳	89	57.3	46.1	6.7	24.7	6.7	1.1	—
40～49 歳	139	46.8	51.8	8.6	24.5	4.3	5.0	—
50～59 歳	160	39.4	41.3	10.6	28.8	3.1	6.3	3.1
60～69 歳	155	38.7	38.1	16.8	34.8	8.4	4.5	1.9
70 歳以上	157	34.4	29.9	18.5	24.8	5.1	12.7	5.7

【「その他」記述欄】

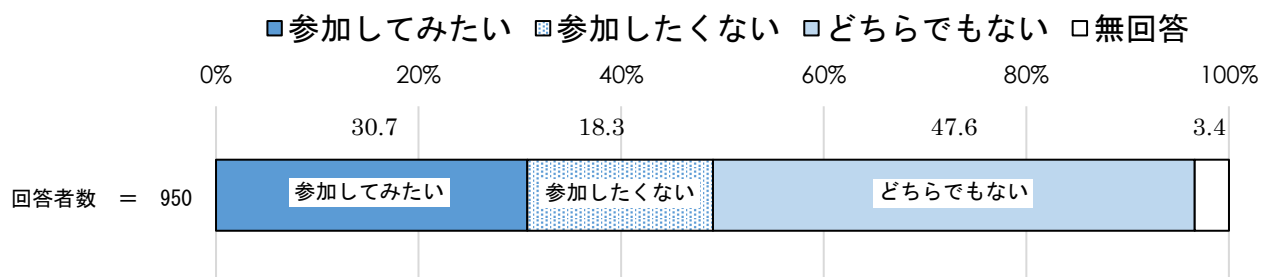
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

体調不良、参加出来るものが無い、介護のため、病気のため、多忙、体が不自由、意欲がない、観るべきものと思っている、時間・曜日が合わない、体力に自信がない、工作中、高齢であり歩けない、昔やっていたから違うことをしたい

- ・文化財に対する知識が浅いので活動を行う前に学ぶ場があれば参加したい。
- ・鑑賞はしたいけど積極的に参加したいとは思わない。
- ・引っ越して来て1年だが川越の事がよくわからない。
- ・興味はあるが参加までの気持ちがわいてこない。
- ・「どういったものがあるのか」の情報がなく検討する材料がない。
- ・興味がないわけではないが自ら活動しようという気持ちはない。
- ・興味がないわけではないが行動を起こさなかった。
- ・仕事が不規則なのでスケジュールが合わない。
- ・情報は入手できるが参加に対し敷居が高いイメージがある。
- ・こどもと参加できる空気ではない気がする。

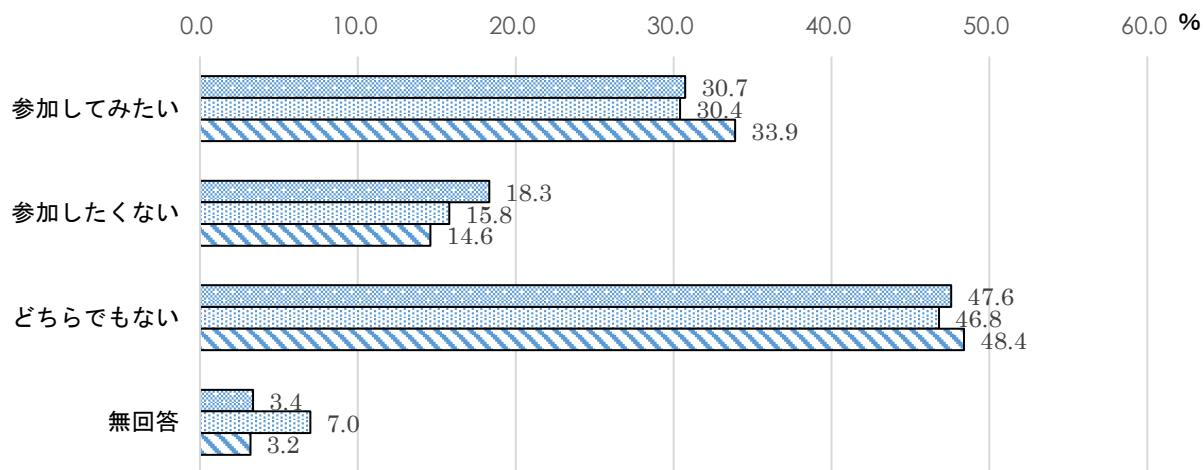
問 11 今後、文化財や歴史的遺産を保存・活用する活動に参加してみたいと思いますか。（1つに○）

「どちらでもない」(47.6%) が5割近くと、最も多くなっています。以下、「参加してみたい」(30.7%)、「参加したくない」(18.3%) の順となっています。



【経年比較】

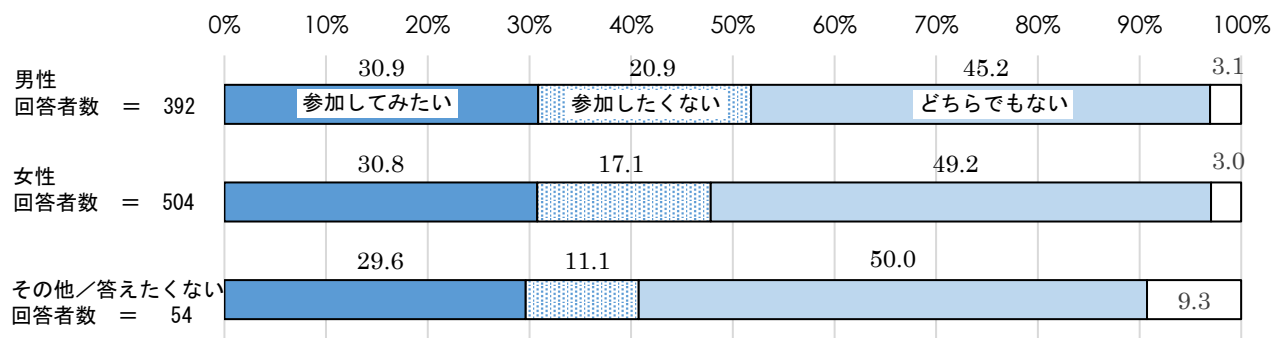
令和元年度調査、平成26年度調査と比較すると、「参加したくない」の割合が微増しています。



■令和6年度調査（回答者数＝950） ■令和元年度調査（回答者数＝1,338）
 ■平成26年度調査（回答者数＝1,576）

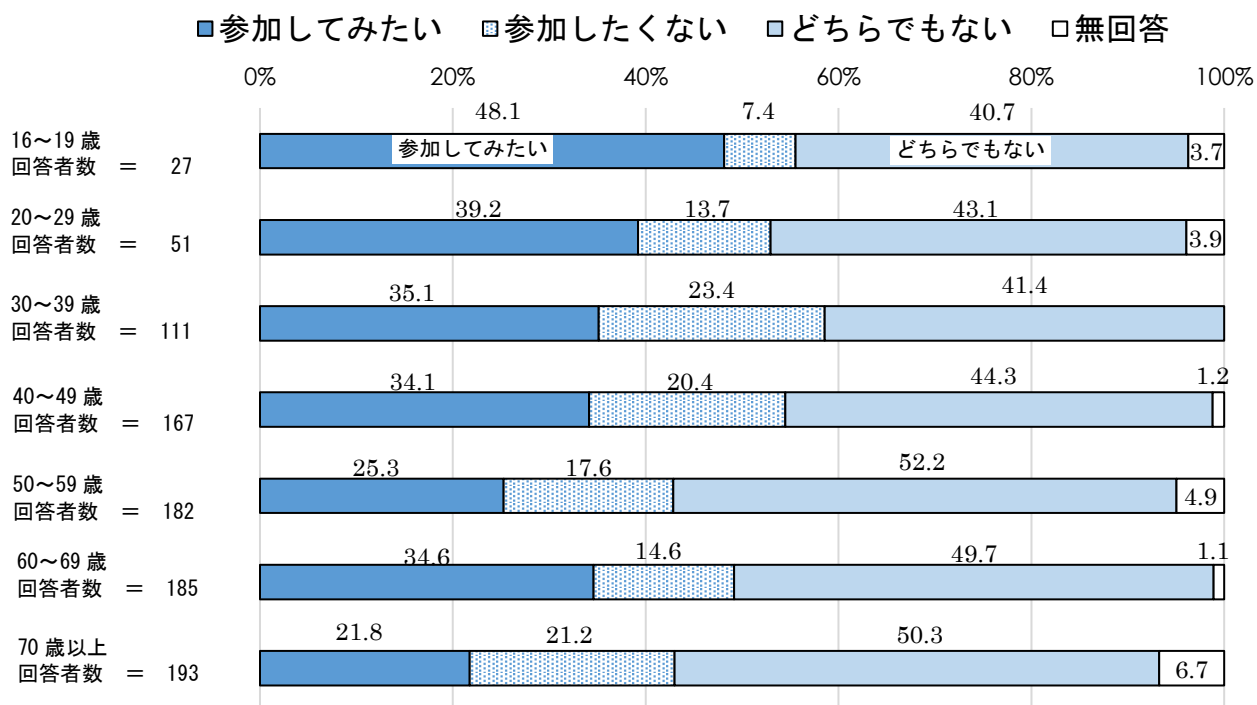
【性 別】

性別でみると、男性の「参加したくない」が女性より3.8ポイント高くなっています。



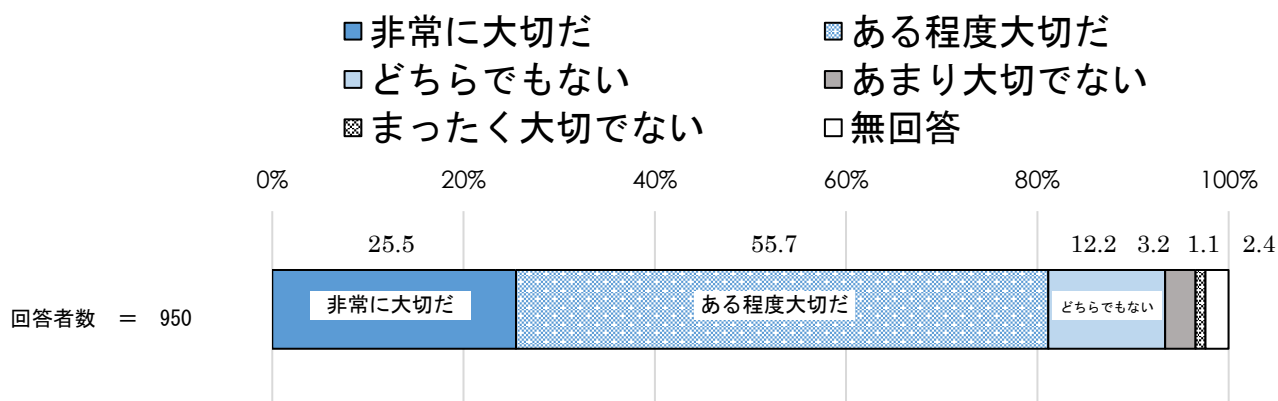
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、「参加してみたい」と答えた年代は、50～59 歳、70 歳以上では少なくなっていますが、その他の年代では 3 割以上となっています。



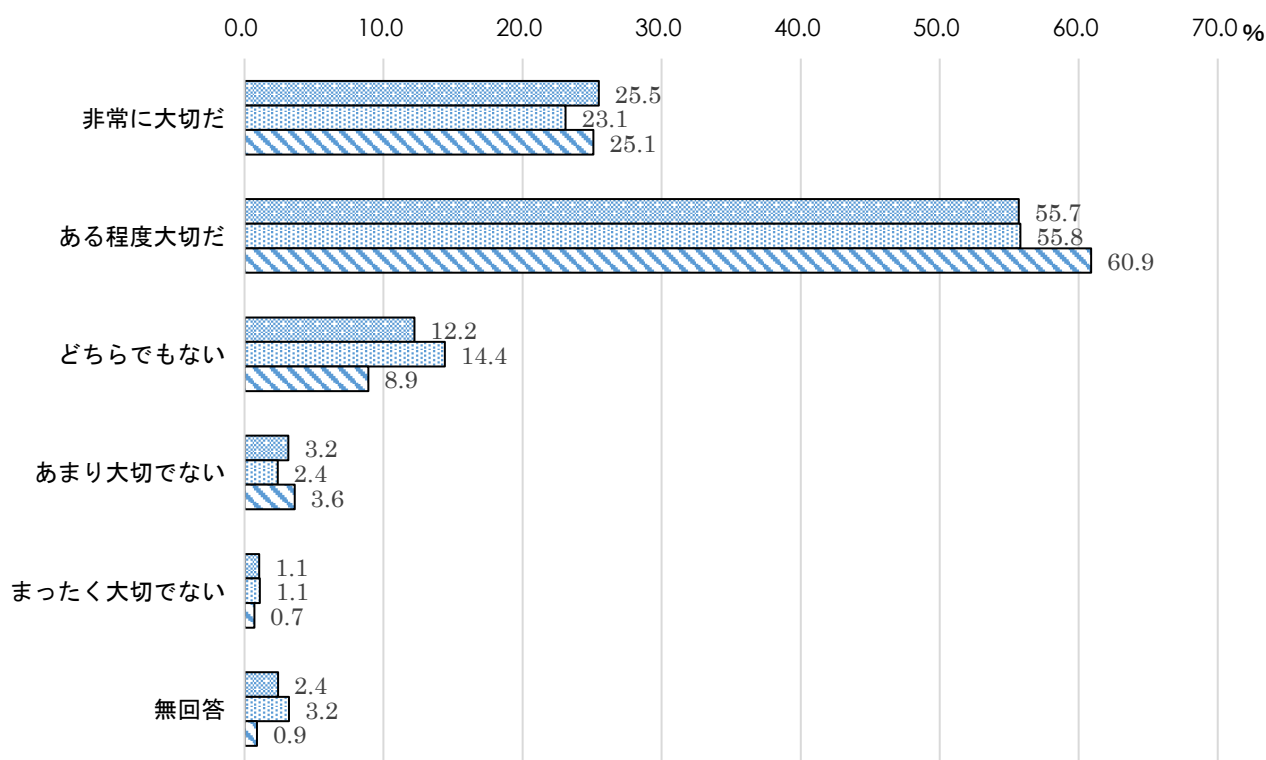
問 12 あなたは、日常生活の中で、優れた芸術を鑑賞したり、自ら文化活動を行うことが大切だと思いますか。（1つに○）

「非常に大切だ」（25.5%）と「ある程度大切だ」（55.7%）を合わせた“大切だ”（81.2%）が8割を占めます。一方、「あまり大切ではない」（3.2%）と「まったく大切ではない」（1.1%）を合わせた“大切ではない”の割合は4.3%となっています。



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「非常に大切だ」の割合が増加し、「どちらでもない」の割合が減少しています。



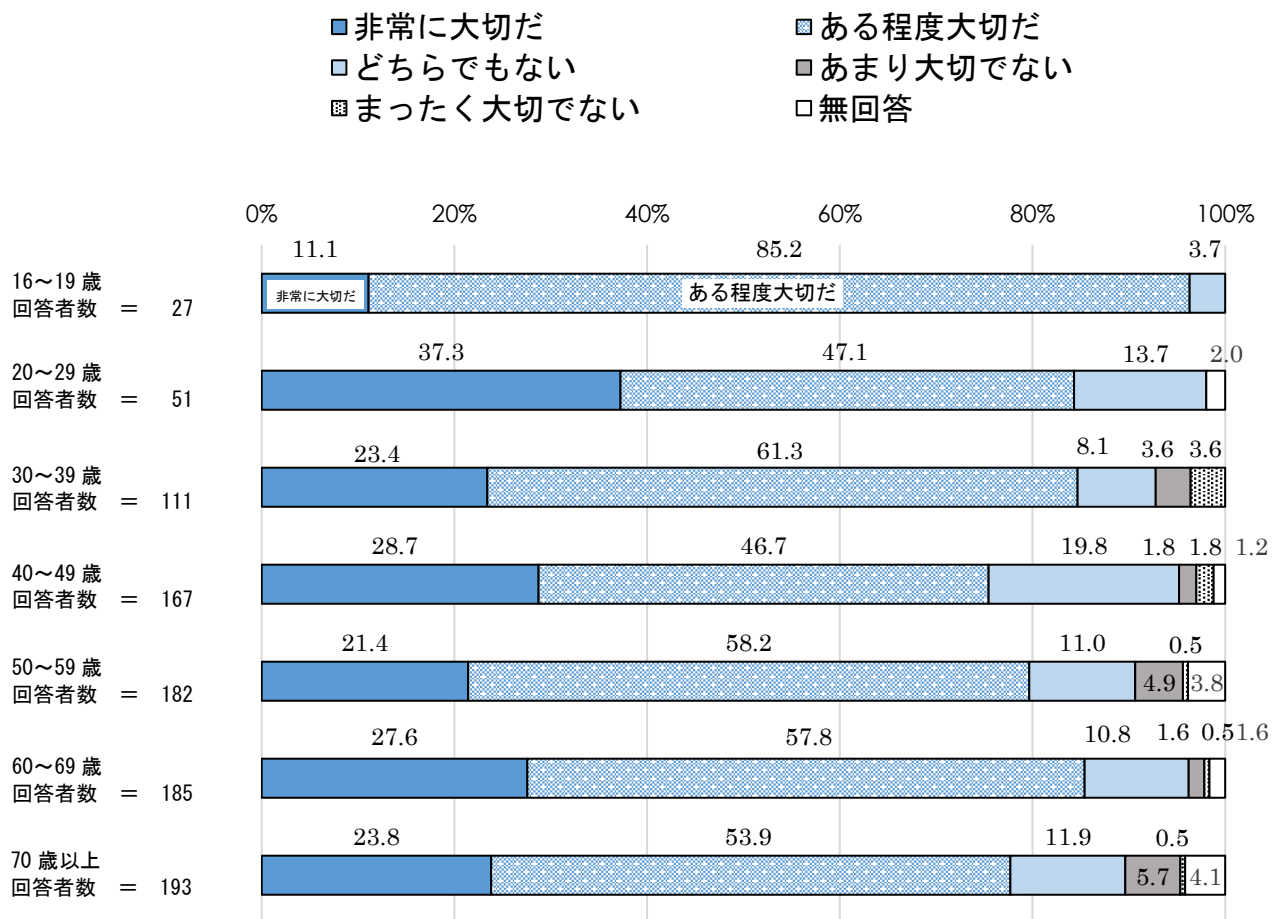
■ 令和6年度調査（回答者数＝950）

■ 令和元年度調査（回答者数＝1,338）

■ 平成26年度調査（回答者数＝1,576）

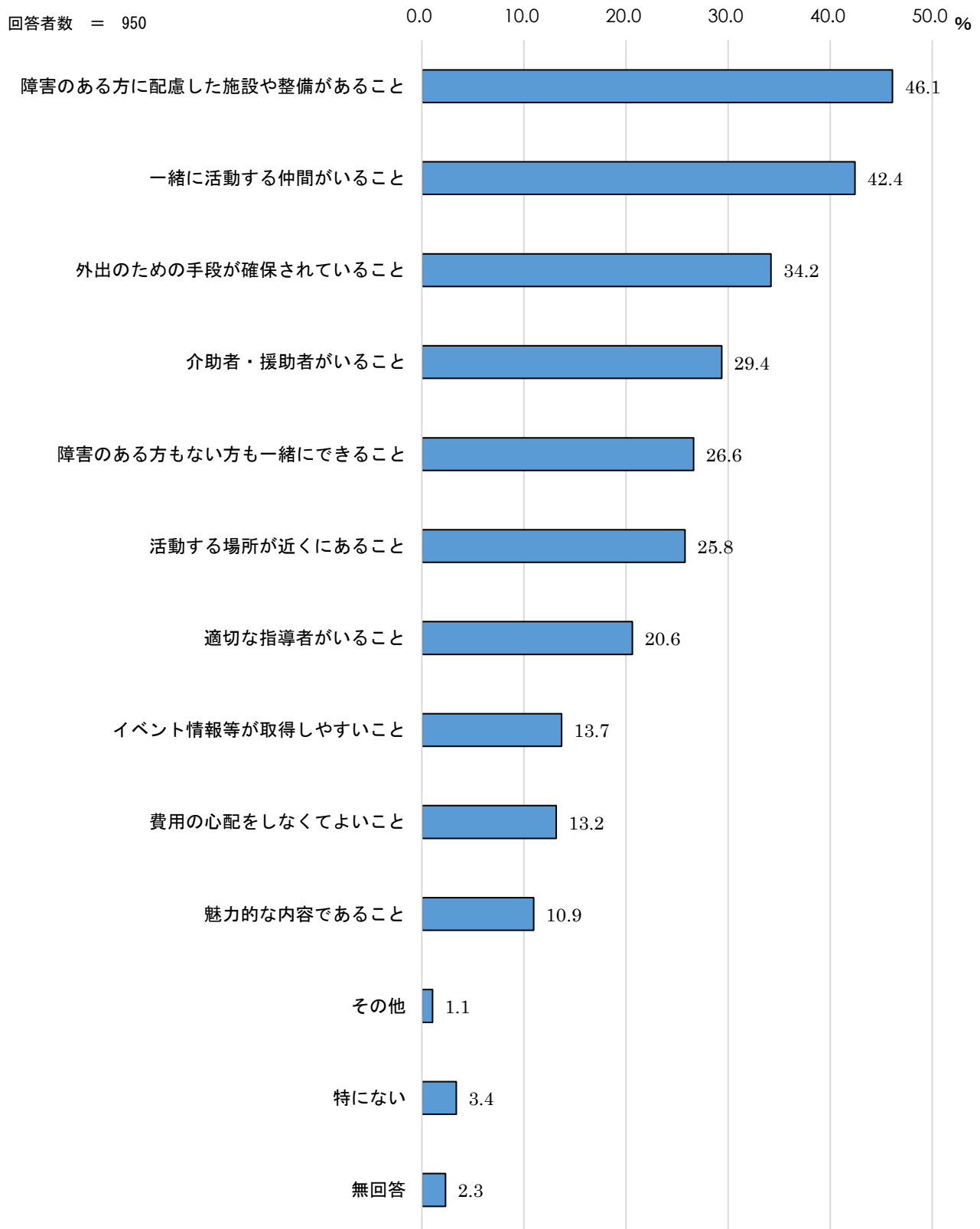
【年代別】

年代別でみると、全世代で「非常に大切だ」、「ある程度大切だ」を合わせた“大切だ”の割合が7割半ばを超えています。なかでも特に、20～29歳では「非常に大切だ」（37.3％）の割合が高く、4割近くとなっています。



問 13 障害のある方が文化芸術活動をするために効果的なことは何だと思いますか。
(○は3つまで)

「障害のある方に配慮した施設や整備があること」(46.1%)と「一緒に活動する仲間がいること」(42.4%)が4割を超えています。次いで、「外出のための手段が確保されていること」(34.2%)と「介助者・援助者がいること」(29.4%)の割合が高くなっています。



【性別】

男女とも、「障害のある方に配慮した施設や整備があること」が第1位、「一緒に活動する仲間がいること」が第2位、「外出のための手段が確保されていること」が第3位となっています。

「障害のある方に配慮した施設や整備があること」及び「外出のための手段が確保されていること」においては、男性より女性の回答割合が比較的高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	イベント情報等が取得しやすいこと	一緒に活動する仲間がいること	活動する場所が近くにあること	外出のための手段が確保されていること	魅力的な内容であること	適切な指導者がいること	障害のある方に配慮した施設や整備があること	介助者・援助者がいること	費用の心配をしなくてよいこと	障害のある方もない方も一緒にできること	その他	特にない	無回答
男性	392	14.8	41.3	26.3	28.6	14.3	20.7	42.1	26.8	14.5	26.5	1.3	4.8	1.8
女性	504	12.5	42.9	25.4	39.5	8.9	21.0	50.4	32.3	11.7	27.4	1.0	1.8	2.6
その他／答えたくない	20	25.0	45.0	35.0	15.0	5.0	25.0	30.0	5.0	15.0	20.0	—	5.0	—

【年代別】

多くの年代で「障害のある方に配慮した施設や整備があること」が高い割合になっていますが、30～39歳及び70歳以上では「一緒に活動する仲間がいること」が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	イベント情報等が取得しやすいこと	一緒に活動する仲間がいること	活動する場所が近くにあること	外出のための手段が確保されていること	魅力的な内容であること	適切な指導者がいること	障害のある方に配慮した施設や整備があること	介助者・援助者がいること	費用の心配をしなくてよいこと	障害のある方もない方も一緒にできること	その他	特にない	無回答
16～19歳	27	18.5	29.6	25.9	7.4	14.8	29.6	51.9	22.2	14.8	37.0	—	—	—
20～29歳	51	17.6	33.3	21.6	41.2	27.5	13.7	47.1	29.4	9.8	25.5	—	3.9	2.0
30～39歳	111	10.8	47.7	28.8	29.7	10.8	16.2	41.4	35.1	12.6	20.7	1.8	5.4	—
40～49歳	167	14.4	41.3	29.9	35.3	11.4	24.6	43.7	25.7	14.4	24.6	1.2	1.2	0.6
50～59歳	182	13.2	38.5	20.9	34.1	10.4	22.5	51.6	31.3	18.1	29.7	—	1.6	3.3
60～69歳	185	13.0	45.9	28.6	37.8	8.1	22.2	51.4	32.4	13.5	27.6	2.2	1.6	0.5
70歳以上	193	14.0	43.5	24.4	34.7	9.8	18.7	40.4	25.4	7.3	27.5	1.0	7.8	5.7

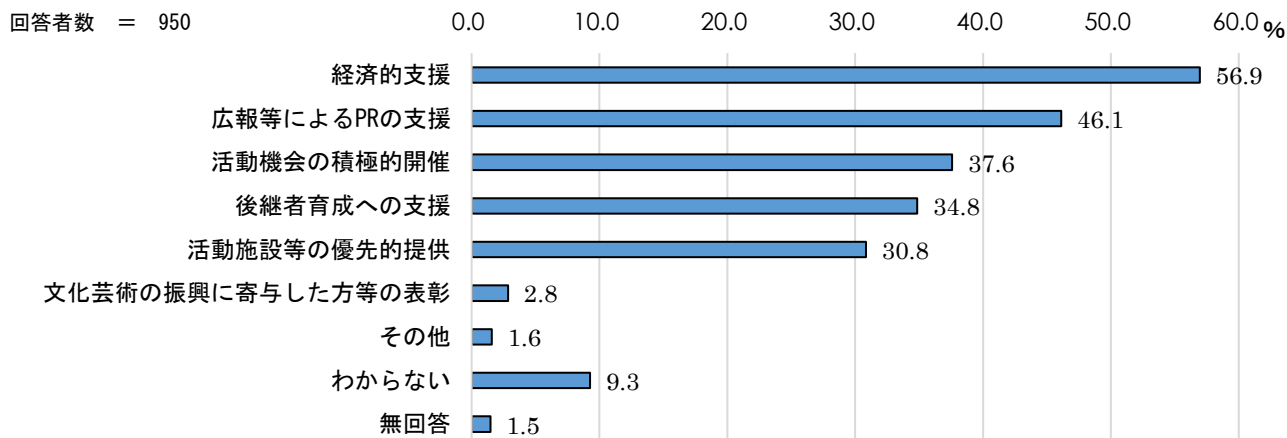
【「その他」記述欄】

この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

- ・特性が異なるのでそれぞれ個々の思いを把握すること。
- ・活動に対する周囲の理解。
- ・医療関係者の付き添い者が欲しい。
- ・本人の主体性、受け入れ側の施設も車いすとか入れるように（段差がないトイレも）。
- ・協力する事を強制しないこと。

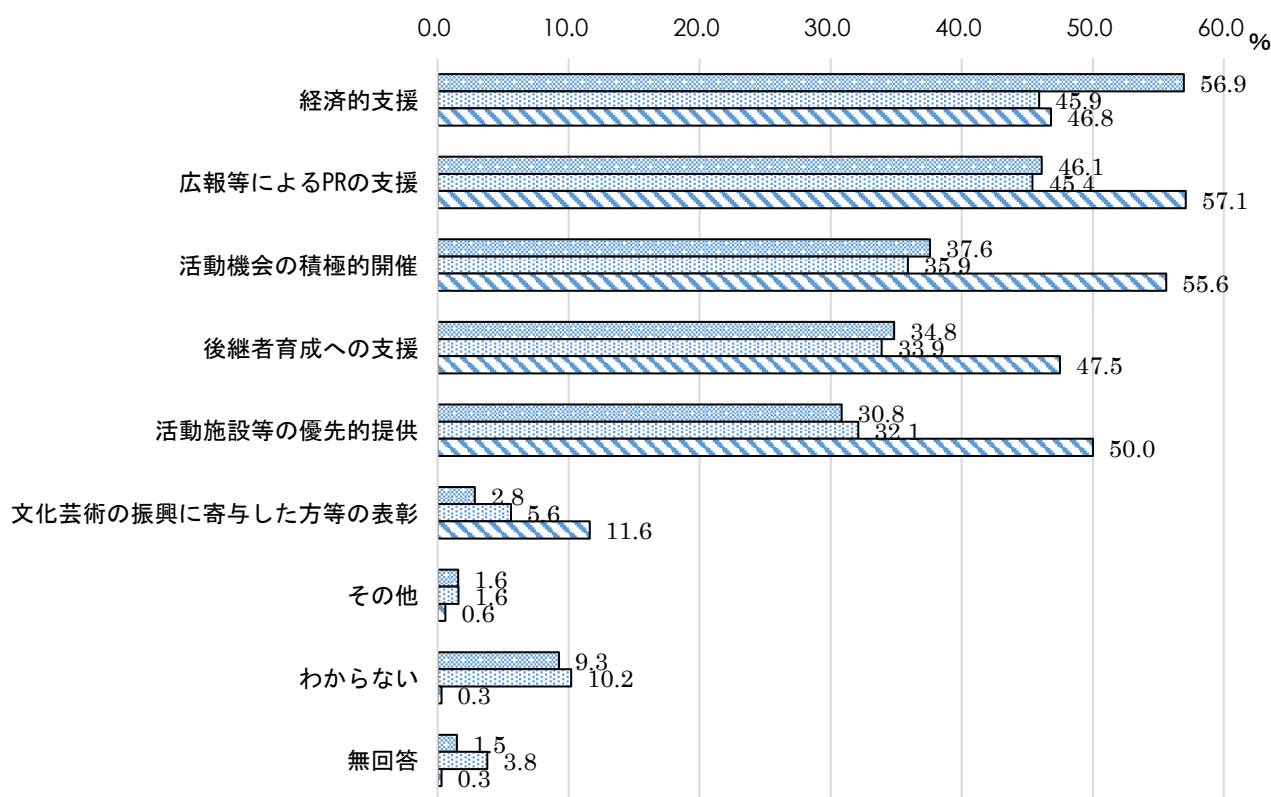
問 14 市が市民の文化活動や市内の芸術家を支援するには、どんなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「経済的支援」（56.9％）が5割半ばと、最も多くなっています。以下「広報等によるPRの支援」（46.1％）、「活動機会の積極的開催」（37.6％）の順となっています。



【経年比較】

令和元年度調査と比較すると、「経済的支援」が11ポイント増加しています。一方で、「文化芸術の振興に寄与した方等の表彰」は減少傾向にあります。



■ 令和6年度調査（回答者数＝950）

■ 令和元年度調査（回答者数＝1,338）

■ 平成26年度調査（回答者数＝786）

※平成26年度調査では、「芸術家等への支援が必要か」との設問で「必要だ」と回答した人のみが回答しています。

【年代別】

年代別でみると、いずれの年代も「経済的支援」が1位を占めています。2位は多くの年代で「広報等によるPRの支援」となっていますが、16～19歳では「後継者育成への支援」が、30～39歳では「活動機会の積極的開催」がそれぞれ2位となっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	経済的支援	活動施設等の優先的提供	広報等によるPRの支援	活動機会の積極的開催	後継者育成への支援	文化芸術の振興に寄与した方等の表彰	その他	わからない	無回答
16～19 歳	27	66.7	25.9	33.3	33.3	51.9	14.8	7.4	7.4	—
20～29 歳	51	62.7	23.5	43.1	33.3	35.3	3.9	2.0	9.8	2.0
30～39 歳	111	58.6	29.7	38.7	42.3	32.4	3.6	1.8	11.7	—
40～49 歳	167	63.5	29.3	46.7	37.7	29.9	3.0	3.0	7.8	—
50～59 歳	182	59.3	32.4	51.6	36.8	30.8	2.2	1.1	7.1	2.2
60～69 歳	185	54.6	33.5	51.4	43.8	42.7	2.2	1.6	6.5	0.5
70 歳以上	193	47.2	31.1	43.5	32.1	34.7	2.1	—	13.0	3.1

【「その他」記述欄】

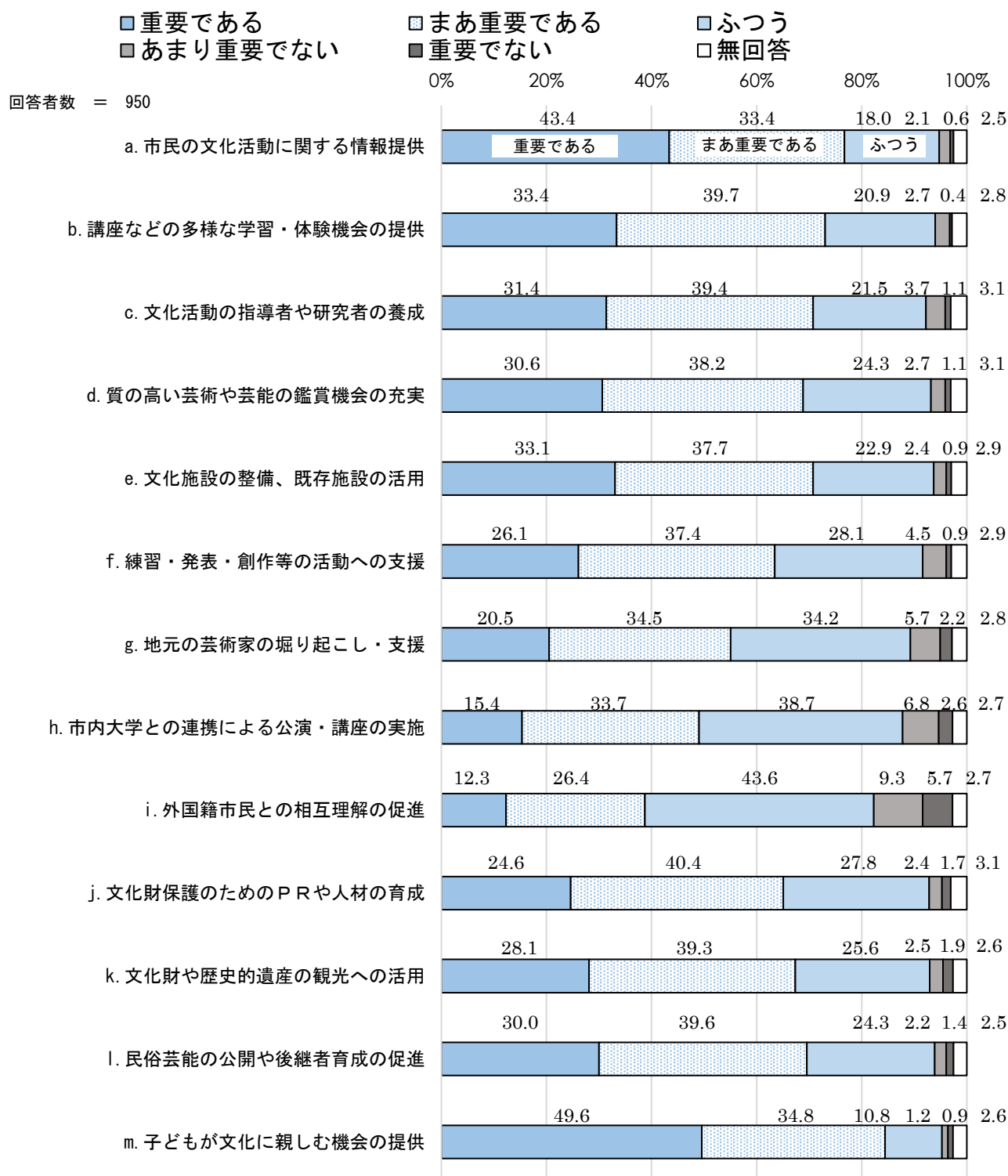
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

状況把握、芸術より今は防災、仕事する場所を作る、集客活動などの営業支援、接触、展覧会

- ・共働きで塾に行ったり家でゲームをしたりしている子どもが多くなったので放課後に学校や施設で教えてもらいたい。
- ・自らこつこつと自宅など関わり合った文化活動や芸術家とふれあって自己流で活動すること。
- ・こどものころから本物鑑賞させること（私は学生の頃鑑賞したミュージカル忘れられません）。
- ・直接的な経済的支援とまではいかなくてもその方の利益に繋がる活動。
- ・イベントとして市の収益につなげるならそれに見合った減税等の優遇措置。
- ・日本の建造物等を残すことは大事で芸術家の支援はいらない。

問 15 あなたは、文化活動をもっと活発にするために行う市の取り組みとして、次の各項目が、どれくらい重要だと思いますか。（それぞれの項目 1 つに○）

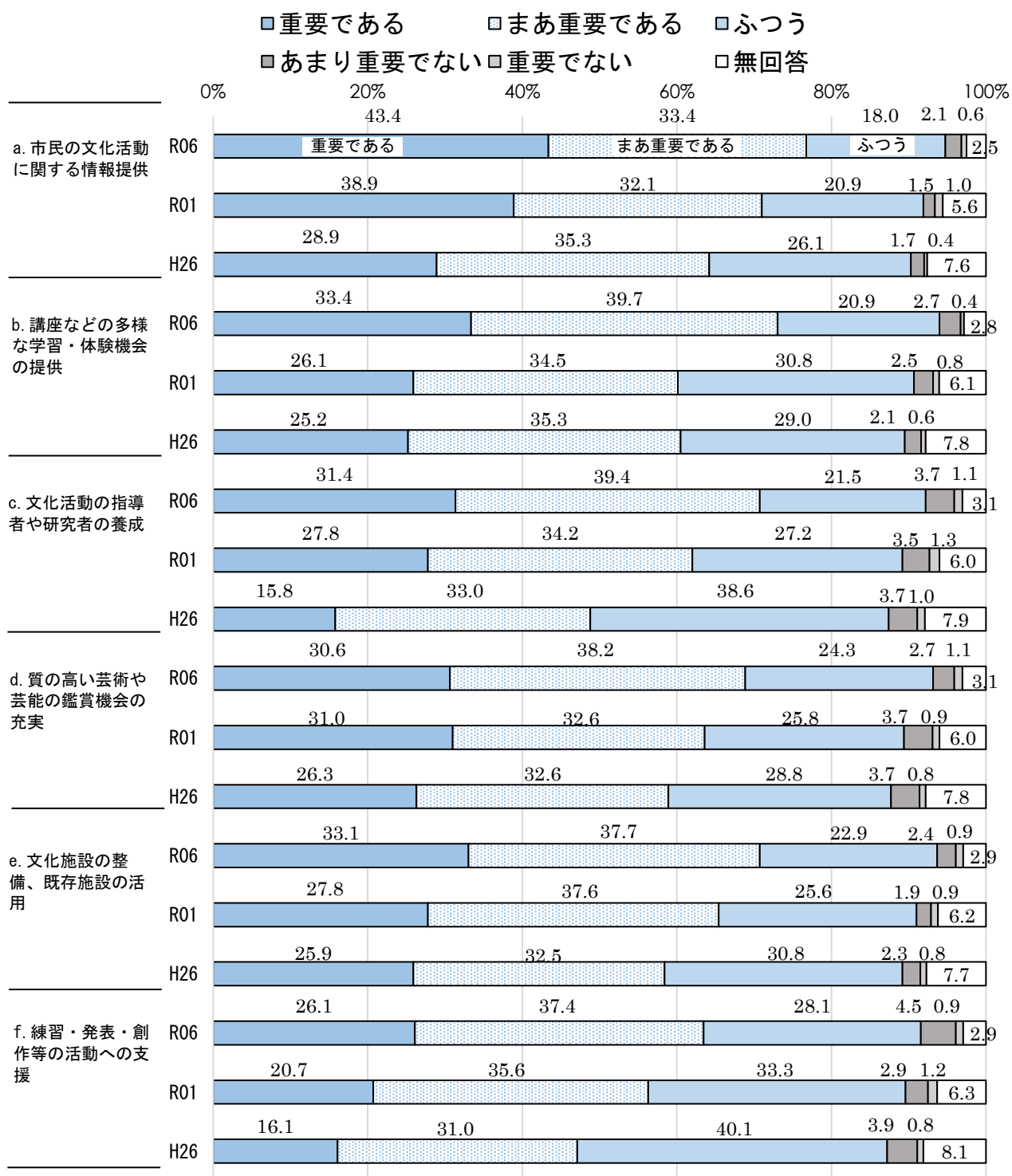
「m. 子どもが文化に親しむ機会の提供」で「重要である」(49.6%)と「まあ重要である」(34.8%)を合わせた“重要である”(84.4%)が多く、8割半ばとなっています。以下、「a. 市民の文化活動に関する情報提供」で「重要である」(43.4%)と「まあ重要である」(33.4%)を合わせた“重要である”(76.8%)、「b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供」で「重要である」(33.4%)と「まあ重要である」(39.7%)を合わせた“重要である”(73.1%)の順となっています。



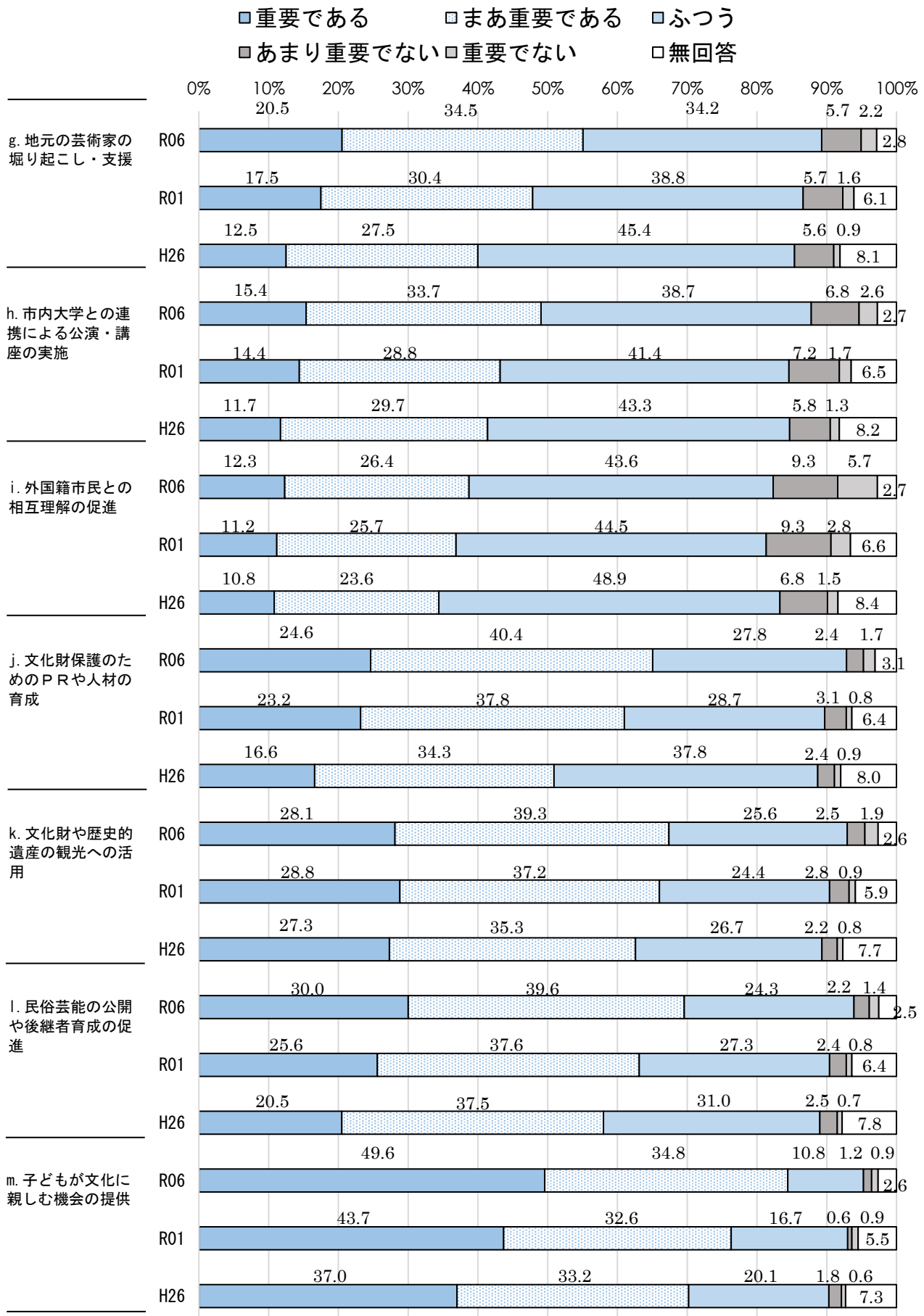
【市の各施策の重要度の経年比較】

『市の各施策に対する重要度』については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせた“重要である”が令和元年度調査と比べて「b. 講座などの多様な学習・体験機会の提供」が12.5ポイント、「c. 文化活動の指導者や研究者の養成」が8.8ポイント増加している他、すべての項目で重要度が高くなっています。

「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた“重要でない”については、あまり差のない回答となっています。



【市の各施策の重要度の経年比較（つづき）】



問 16 川越市の文化や芸術に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【自由記述欄】

この設問でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

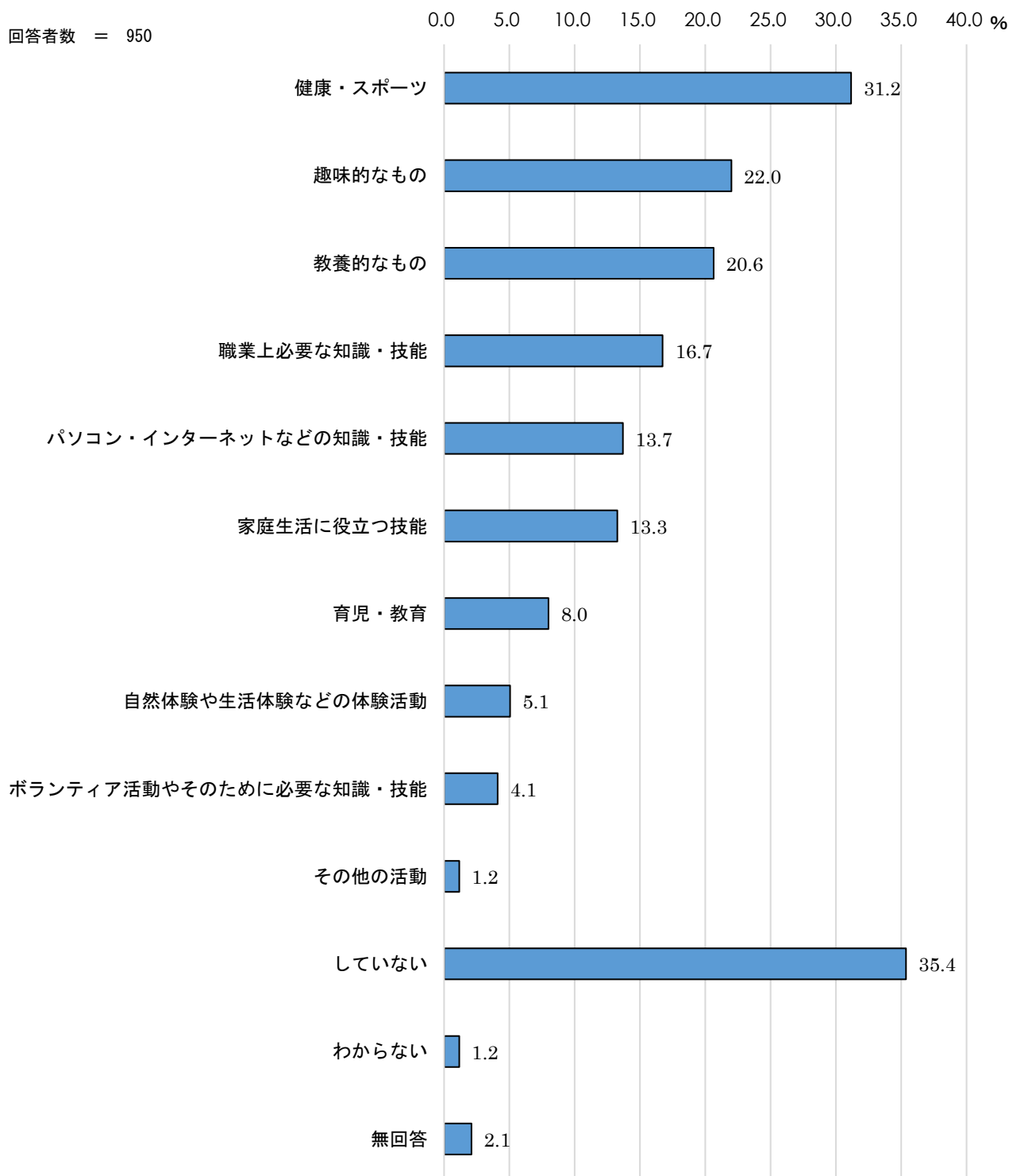
- ・私は鶴ヶ島市寄りに居住している為、市内の文化施設への交通の便がいまいちです。
- ・特定の文化財の存在する地区に観光客が集中するのを防ぐ為、メイン以外の観光スポットにも広報活動を増加させると良いと思います。
- ・こどもが参加できるコンサートなどが少ないように思います。土日にもっと開催してもらいたいです。
- ・歴史的建造物あつての観光であると思うので、古い蔵や建造物の所有者や管理者と積極的に交流をとって、維持保存に努めてほしい。文化的観点からも歴史ある街並みは市民の誇りにつながる。
- ・送迎のある文化や芸術の習い事があればよいと思う。
- ・活動に参加する場所への交通機関の充実。
- ・ウェスタ川越でもっとポピュラー音楽の有名歌手やグループのコンサート等をどんどんやってほしい（80年代、90年代）。
- ・こどもたちがより日本の伝統芸能、邦楽にふれる機会をふやして欲しい。
- ・川越まつりだけで他の文化はぜい弱。
- ・他県より転居してきましたが、情報量が少ない。
- ・定住してまだ一年足らずの為、まだ意見を述べられるほどの経験はありません。ただ、このようなアンケートで文化芸術に対する市民の意見を聞こうとする市の姿勢には大変感銘を受けるものであります。
- ・同じ川越市内でも住んでいる地区によって、文化、芸術の機会に温度差があるように感じる。本庁地区に集中しているように感じる。
- ・川越は文化財があるので次世代以降もつなげられるようにしたい。
- ・古い建築物など文化財が多く残っている地域のPR。インフラ整備、催事等で他の市県、国から魅力ある街と認識されるように頑張してほしい。
- ・情報発信の充実を希望します。各世代で情報入手のツールが異なるので、これらに対応するとより参加しやすくなるのではないのでしょうか。
- ・小学生、中学生から文化芸術に親しむ機会を作っていただきたい。美術館やウェスタ川越などでは常設だけでなく、魅力的なアーティストの展示を多く企画して欲しいと思います。
- ・川越の特色ある文化、行事を小中学生に体験してもらい継承してもらう機会をつくること。
- ・市民が文化や芸術を身近に感じることができるよう施設の提供、料金を安く、障害者も一緒に楽しめるようにしていただきたい。
- ・美術の体験イベントを体験しやすい価格であつたらいいなと思います。あまり市内でないので（あるのかもしれませんが情報が入ってこない）東京に行っています。
- ・折角芸術のイベント等が実施されていても、情報が発信されていないと知るすべがない市民の方が多いと思うので、広報やウェスタ川越などのチラシや宣伝だけではなく、SNSやアンケートを利用して人々に知ってもらい、参加した方はポイントやスタンプラリーが貯まるようにすると思う。

- ・いろいろ行きたいと思いますが、交通の便が悪く、行けないというのが実情です。
- ・小さい子どもがいるので、これからは学びを増やしていく中で住んでいる地への文化等にふれる機会が増えていけばいいなと思います。
- ・特に小中学生に興味を持ってもらうように学校の授業で取り込んでいく。市のホームページで映像を見られるようにする。小中学生が興味を持てばその親も一緒に体験する機会が増える。親子での会話も増える。
- ・市内大学との連携に加え、都内大学の研究者との協力により、若者を呼び込む方策についてアイデアを募集してみてはどうか。将来的に川越市に住みたいと思う人を増やし、文化芸術を通じて、川越市の魅力を高める具体的な提案をお願いします。
- ・市民にリクエスト調査。実施してほしい演目、公演をアンケートしてほしい。私は以前行けなかった二胡のコンサートを実施してほしい。
- ・文化芸術に関してもっと予算を取ってほしいです。小学校、中学校などでの音楽鑑賞会など年に1回といわず子どもたちが音楽に触れる機会をもっとたくさんバックアップしてもらえたらよいなと思います。
- ・税金でするのであれば、特定の人に補助をするのは良くないかと。公平性が大事だと思う。川越市民が希望すればできるようなものを、初心者でも気軽にできるような環境があつたらいいなと思います。
- ・閉館して放置されている音楽ホールをきちんと壊したほうが良いと思う。
- ・学生や保護者へのPR 拡充を行った方が良いのかなと思います。
- ・公民館の掲示板や広報かわごえの情報は本当に興味のある方しか見ません。
- ・情報が少ないからもう少し情報提供した方がいいと思う。
- ・身近なところで参加しやすい時間帯に参加型のイベント等があれば、参加しやすいのにと考えます。平日仕事をしていると、継続して参加できるものが少ないのが残念です。
- ・後継者育成のために地域、地区に括られず人材を募集することが、少子化対策としてあってもよいのでは？支援としては活動場所を一括で調べられること、予約がとりやすいことも重要かと思われる。活動者への交通の安全と利便性の向上が望ましい。
- ・文化財支援をするにはクリエイターが苦手とする集客活動やその作品を売り込む営業活動支援が重要だと思います。
- ・文化や芸術に興味があり川越市内で行われる催し物をたびたび調べておりますが市のホームページが分かりにくい、施設名や公演名が明確でないとなかなか検索が出来ないことが多く感じました。また、市民が参加できる形での催し物もPR が少なくもう少しSNS などを活用した広報を積極的にしてほしいと思っています。
- ・ワークショップなど、最初は気軽に参加できるといいのでは、と思います。

B 生涯学習の活動について

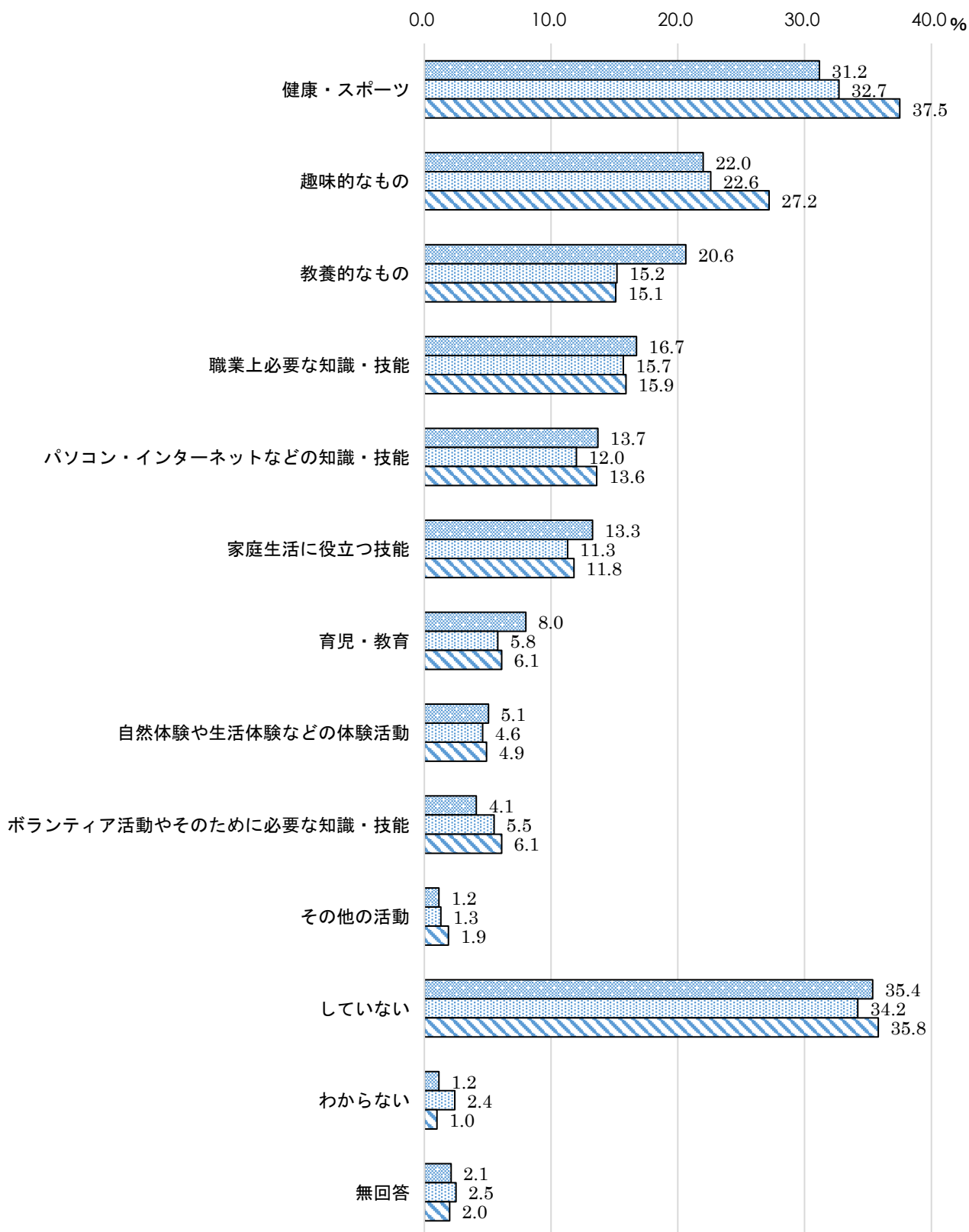
問 17 あなたは、この1年間（令和5年10月～令和6年9月）に『生涯学習』をしたことがありますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
（○はいくつでも）

「していない」の割合が35.4%と最も高く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」の割合が31.2%、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」の割合が22.0%となっています。



【経年比較】

令和元年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「健康・スポーツ」「趣味的なもの」の割合が減少しています。一方で、「していない」は令和元年度調査から増加しました。



令和6年度調査（回答者数=950）
 令和元年度調査（回答者数=1,338）
 平成25年度調査（回答者数=1,370）

【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「健康・スポーツ」「職業上必要な知識・技能」「パソコン・インターネットなどの知識・技能」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「趣味的なもの」「家庭生活に役立つ技能」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	していない	わからない	無回答
男性	392	18.9	19.9	35.2	8.2	6.9	20.2	16.8	2.6	5.4	1.5	36.7	1.0	0.5
女性	504	24.4	20.4	28.8	17.3	8.7	13.1	11.5	5.4	4.8	1.0	36.1	0.8	1.6
その他／答えたくない	20	40.0	40.0	40.0	15.0	20.0	40.0	20.0	—	5.0	—	15.0	10.0	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50～59 歳及び 70 歳以上で「していない」の割合が高く、4 割を超えています。また、20～29 歳では「健康・スポーツ」の割合が 5 割近く、30～39 歳では「職業上必要な知識・技能」の割合が 3 割になっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	していない	わからない	無回答
16～19 歳	27	59.3	55.6	40.7	22.2	7.4	22.2	25.9	7.4	3.7	—	3.7	3.7	—
20～29 歳	51	31.4	41.2	49.0	31.4	17.6	25.5	23.5	5.9	17.6	—	23.5	—	—
30～39 歳	111	24.3	30.6	30.6	18.0	26.1	30.6	18.0	1.8	6.3	0.9	28.8	0.9	—
40～49 歳	167	19.8	21.0	27.5	15.0	11.4	28.7	18.0	3.6	4.2	0.6	30.5	1.2	—
50～59 歳	182	14.8	12.6	29.1	7.1	3.8	14.8	10.4	1.6	3.3	1.1	43.4	2.2	—
60～69 歳	185	20.5	22.7	35.1	13.5	3.2	12.4	12.4	4.9	4.9	1.6	37.8	1.1	1.1
70 歳以上	193	24.4	9.3	28.5	8.8	1.6	1.0	8.8	6.2	3.1	2.1	43.5	0.5	4.7

【「その他」記述欄】

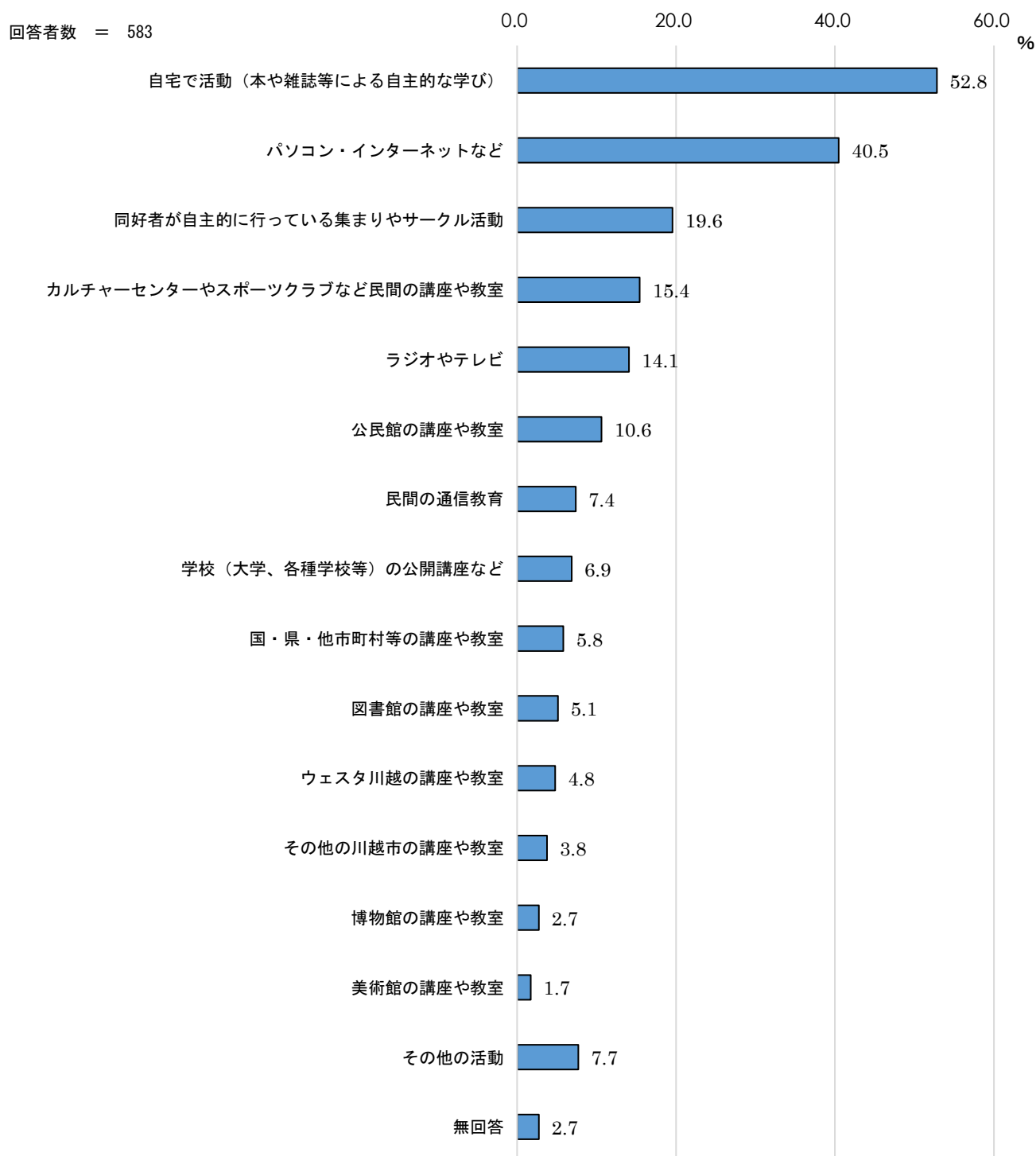
この設問における「その他の活動」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

美術館に行く、英語学習、中国語会話、グランドゴルフ、科学館（地震体験など）、伐木造林作業技能講習、家庭菜園、ボランティア活動、消防に関わる知識

問 17 で 1. ～ 1 0. と答えた方におたずねします。

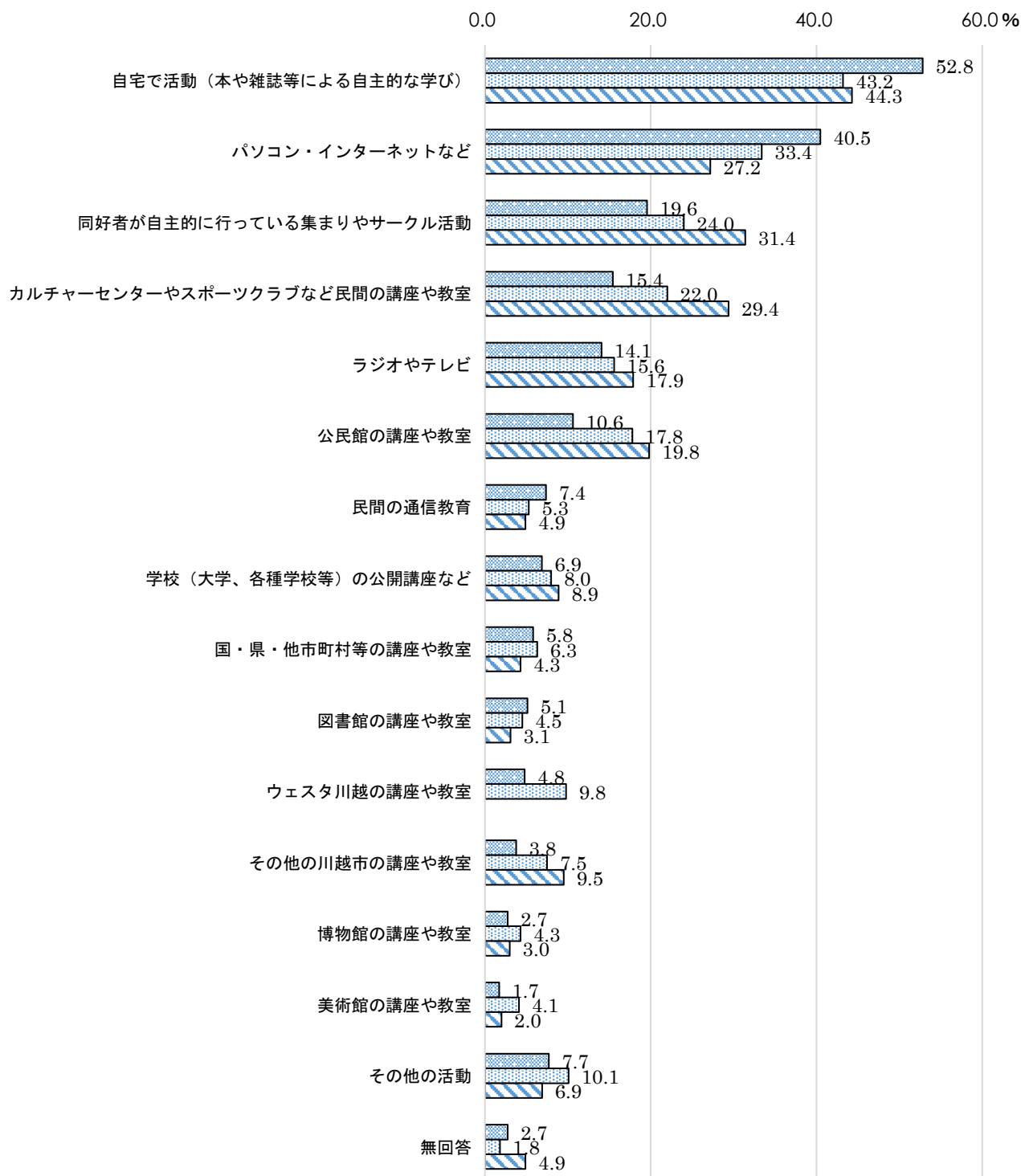
問 18 あなたは、『生涯学習』をどのように行っていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「パソコン・インターネットなど」の割合が 40.5%、「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」の割合が 19.6%となっています。



【経年比較】

令和元年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）」「パソコン・インターネットなど」の割合が増加しています。一方、「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」の割合は減少しています。



■ 令和6年度調査（回答者数＝583） ■ 令和元年度調査（回答者数＝814）

▨ 平成25年度調査（回答者数＝866）

※平成 25 年度調査には「ウエスタ川越の講座や教室」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）」「パソコン・インターネットなど」の割合が、年代が高くなるにつれ「公民館の講座や教室」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、70歳以上では「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」の割合が高く、3割半ばとなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	公民館の講座や教室	図書館の講座や教室	博物館の講座や教室	美術館の講座や教室	ウエスタ川越の講座や教室	その他の川越市の講座や教室	国・県・他市町村等の講座や教室	学校（大学、各種学校等）の 公開講座など	カルチャーセンターやスポーツクラブ など民間の講座や教室	民間の通信教育	同好者が自主的に行っている集まりや サークル活動	自宅で活動 (本や雑誌等による自主的な学び)	パソコン・インターネットなど	ラジオやテレビ	その他の活動	無回答
16～19歳	25	4.0	—	—	—	—	—	12.0	40.0	12.0	8.0	16.0	44.0	44.0	12.0	20.0	8.0
20～29歳	39	—	5.1	2.6	—	2.6	—	2.6	12.8	5.1	10.3	17.9	76.9	53.8	10.3	7.7	—
30～39歳	70	2.6	3.8	2.6	—	2.6	1.3	7.7	3.8	6.4	10.3	12.8	73.1	59.0	12.8	5.1	5.1
40～49歳	114	6.1	4.4	1.8	0.9	3.5	0.9	4.4	4.4	9.6	14.9	14.0	57.9	45.6	7.9	9.6	3.5
50～59歳	99	3.0	3.0	2.0	2.0	4.0	2.0	8.1	6.1	18.2	8.1	13.1	53.5	42.4	11.1	9.1	1.0
60～69歳	111	16.2	9.0	6.3	3.6	6.3	3.6	7.2	7.2	26.1	1.8	20.7	42.3	37.8	18.0	8.1	1.8
70歳以上	99	28.3	6.1	1.0	3.0	8.1	13.1	3.0	1.0	21.2	—	35.4	33.3	18.2	19.2	3.0	3.0

【「その他」記述欄】

この設問における「その他の活動」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

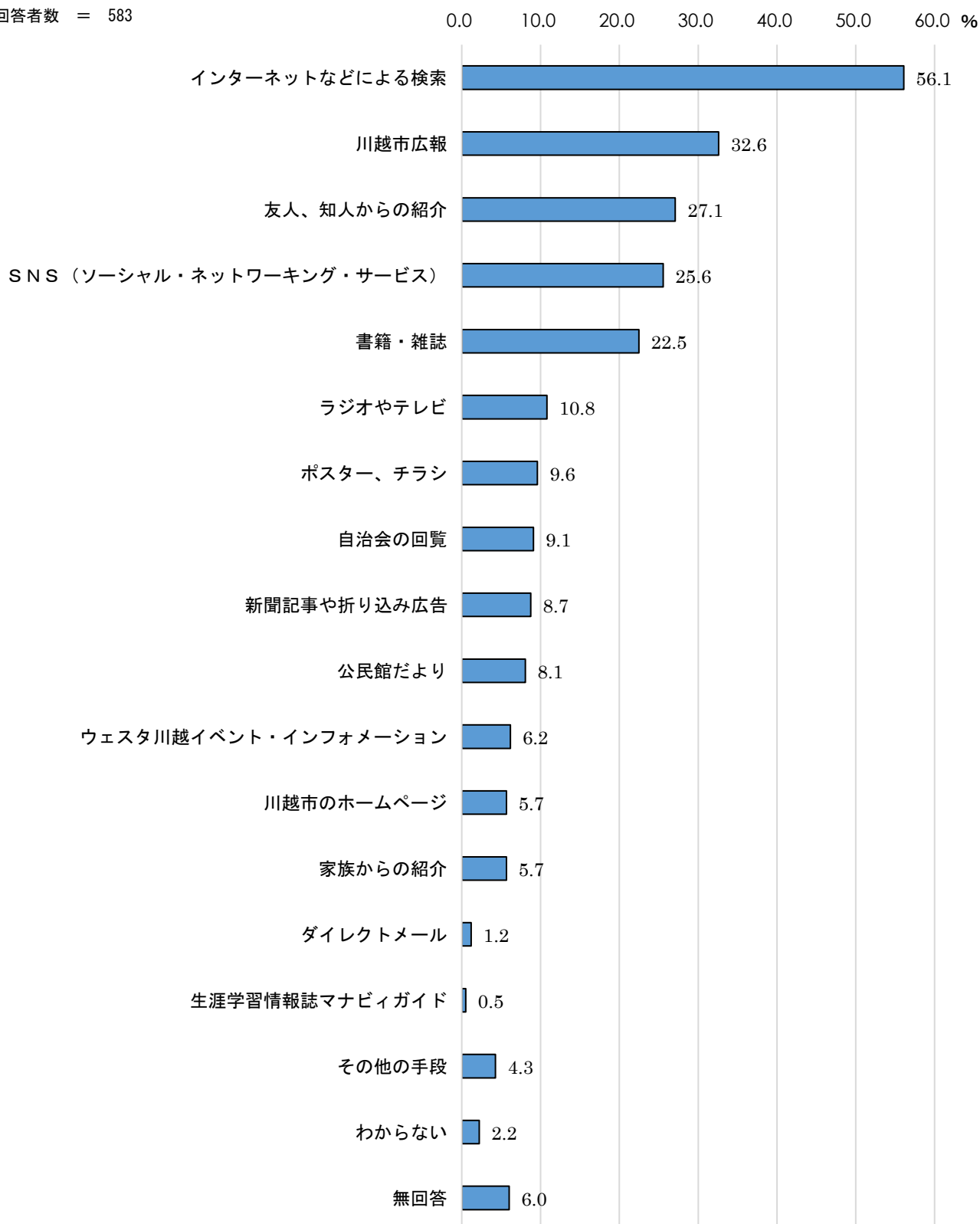
自習、会社の講習、地元の書道教室、公共施設、図書館、他自治体の活動、他市で私的に開かれている教室、科学館、学校の授業、留学、民間の研修会、自治会活動、社会活動への貢献、NPO法人等の活動、配信アプリ、ウォーキング、神社仏閣の訪問、お話し会、有料のレンタルスペースやカフェ・専用の施設

問 17 で 1. ～ 1 0. と答えた方におたずねします。

問 19 あなたは、『生涯学習』に関する情報をどのように得ていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

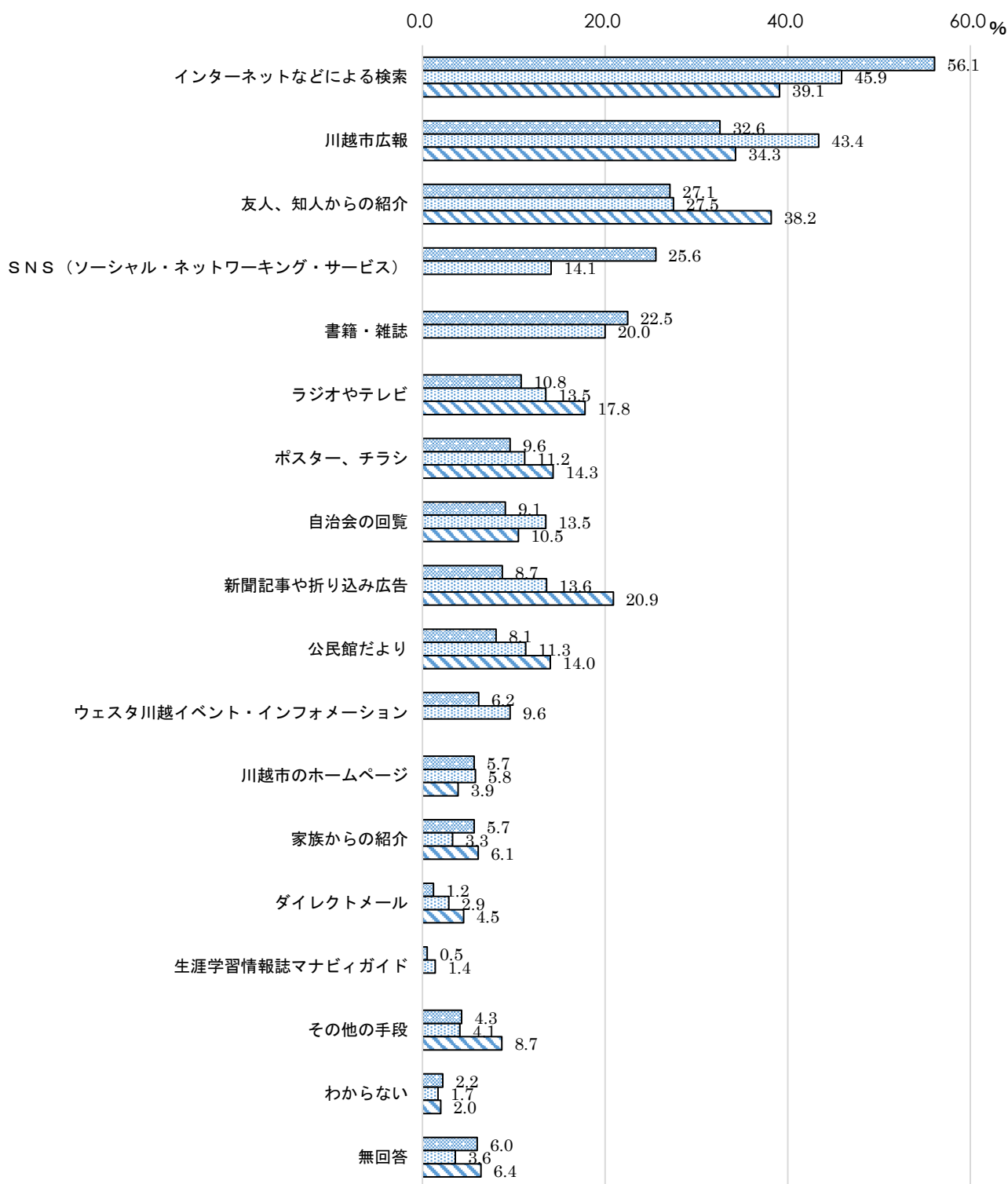
「インターネットなどによる検索」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「川越市広報」の割合が 32.6%、「友人、知人からの紹介」の割合が 27.1%となっています。

回答者数 = 583



【経年比較】

令和元年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「インターネットなどによる検索」の割合が増加しています。一方、「友人、知人からの紹介」「ラジオやテレビ」「新聞記事や折り込み広告」などの割合が減少しています。



■ 令和6年度調査 (回答者数=583) ■ 令和元年度調査 (回答者数=814)

■ 平成25年度調査 (回答者数=866)

※平成 25 年度調査には、「書籍・雑誌」「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)」「ウェスタ川越イベント・インフォメーション」「生涯学習情報誌マナビガイド」の選択肢はありませんでした。

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「インターネットなどによる検索」「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」の割合が、年代が高くなるにつれ「川越市広報」「公民館だより」「自治会の回覧」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	川越市広報	公民館だより	自治会の回覧	川越市のホームページ	ウエスタ川越イベント・インフォメーション	生涯学習情報誌マナビガイド	家族からの紹介	友人、知人からの紹介	新聞記事や折り込み広告	書籍・雑誌	ポスター、チラシ	ダイレクトメール	ラジオやテレビ	インターネットなどによる検索	SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）	その他の手段	わからない	無回答
16～19 歳	25	8.0	—	—	8.0	—	—	8.0	32.0	—	24.0	4.0	—	16.0	52.0	52.0	8.0	12.0	8.0
20～29 歳	39	10.3	—	2.6	5.1	2.6	—	10.3	25.6	—	25.6	17.9	—	15.4	74.4	74.4	7.7	5.1	—
30～39 歳	78	16.7	—	3.8	5.1	3.8	—	9.0	35.9	1.3	32.1	11.5	2.6	9.0	76.9	53.8	1.3	2.6	6.4
40～49 歳	114	23.7	2.6	6.1	3.5	9.6	—	4.4	16.7	4.4	18.4	7.9	0.9	6.1	65.8	28.9	5.3	0.9	8.8
50～59 歳	99	31.3	—	2.0	6.1	6.1	1.0	4.0	24.2	8.1	22.2	8.1	1.0	9.1	72.7	20.2	3.0	1.0	2.0
60～69 歳	111	46.8	8.1	12.6	4.5	7.2	0.9	5.4	31.5	15.3	24.3	8.1	0.9	13.5	46.8	9.9	5.4	2.7	5.4
70 歳以上	99	53.5	30.3	22.2	8.1	7.1	1.0	4.0	27.3	18.2	13.1	10.1	1.0	13.1	22.2	1.0	1.0	1.0	10.1

【「その他」記述欄】

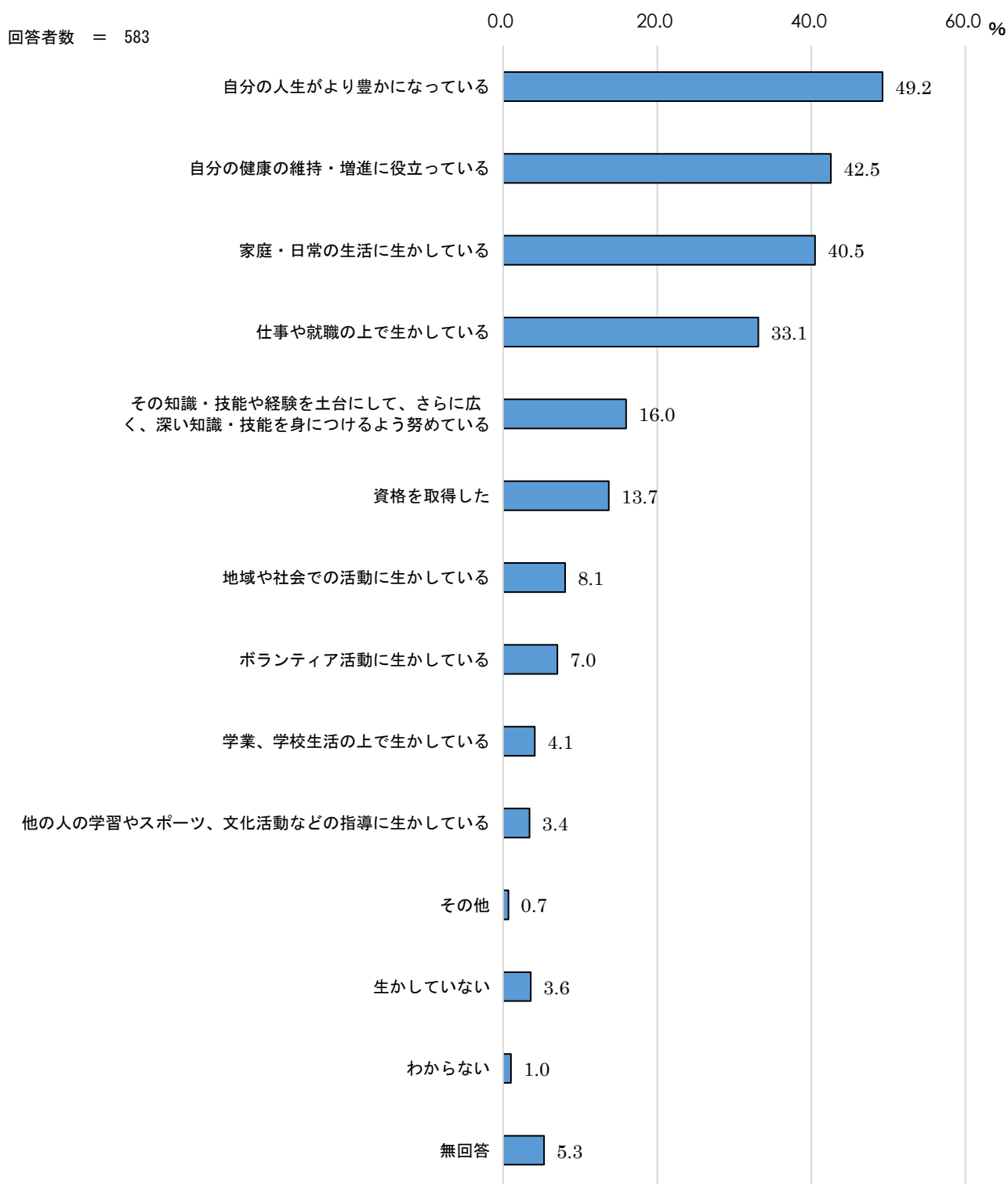
この設問における「その他の手段」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

会社、学校、生協、知人、動画サイト、研究室の案内、近所の人

問 17 で 1. ～ 10. と答えた方におたずねします。

問 20 あなたは、『生涯学習』を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「自分の人生がより豊かになっている」の割合が 49.2%と最も高く、次いで自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が 42.5%、「家庭・日常の生活に生かしている」の割合が 40.5%となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「仕事や就職の上で生かしている」の割合が、年代が高くなるにつれ「自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、20～29 歳及び 30～39 歳で「家庭・日常の生活に生かしている」の割合が 5 割を超えています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事や就職の上で生かしている	ボランティア活動に生かしている	資格を取得した	家庭・日常の生活に生かしている	地域や社会での活動に生かしている	その知識・技能や経験を土台にして、さらに深く深い知識・技能を身につけるよう努めている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	自分の人生がより豊かになっている	自分の健康の維持・増進に役立っている	学業、学校生活の上で生かしている	その他	生かしていない	わからない	無回答
16～19 歳	25	16.0	12.0	20.0	44.0	8.0	28.0	4.0	56.0	36.0	40.0	4.0	—	8.0	8.0
20～29 歳	39	51.3	—	25.6	51.3	5.1	17.9	5.1	69.2	46.2	20.5	—	2.6	2.6	—
30～39 歳	78	56.4	2.6	20.5	51.3	6.4	21.8	2.6	51.3	33.3	1.3	—	2.6	—	6.4
40～49 歳	114	45.6	4.4	18.4	39.5	6.1	14.9	2.6	43.0	28.9	1.8	—	3.5	—	7.9
50～59 歳	99	40.4	5.1	11.1	42.4	4.0	13.1	5.1	41.4	40.4	1.0	—	7.1	—	3.0
60～69 歳	111	19.8	10.8	8.1	36.9	7.2	14.4	4.5	55.0	56.8	0.9	—	3.6	0.9	3.6
70 歳以上	99	4.0	12.1	2.0	32.3	17.2	13.1	2.0	44.4	54.5	—	3.0	3.0	2.0	8.1

【「その他」記述欄】

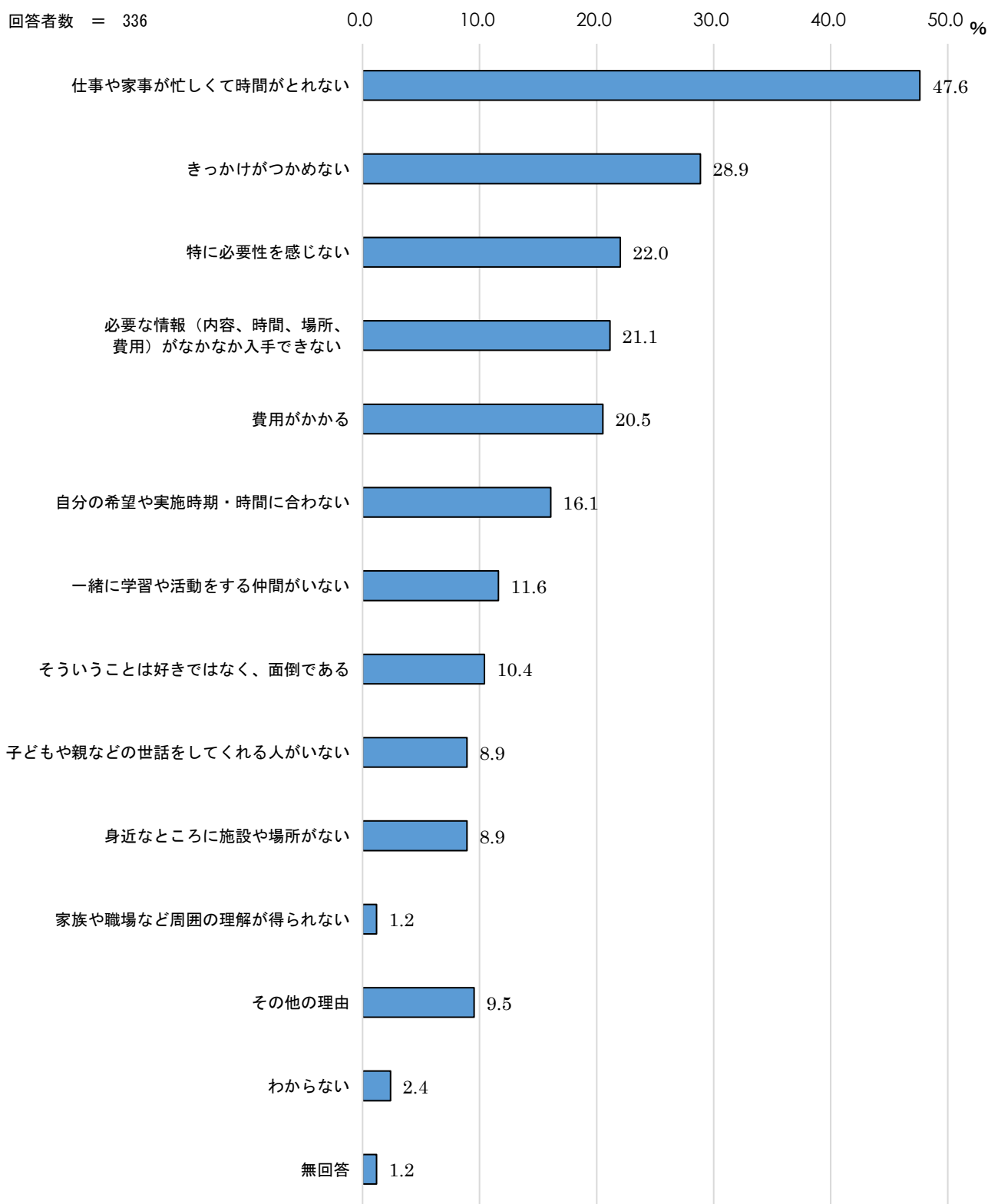
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

- ・教養として。
- ・何かを作るという作業で出来上がるのが楽しみに。
- ・ご近所との物々交換によりコミュニケーションが図れる。
- ・留学・ホームステイ先での生活に生かした。

問 17 で『1 1. していない』と答えた方におたずねします。

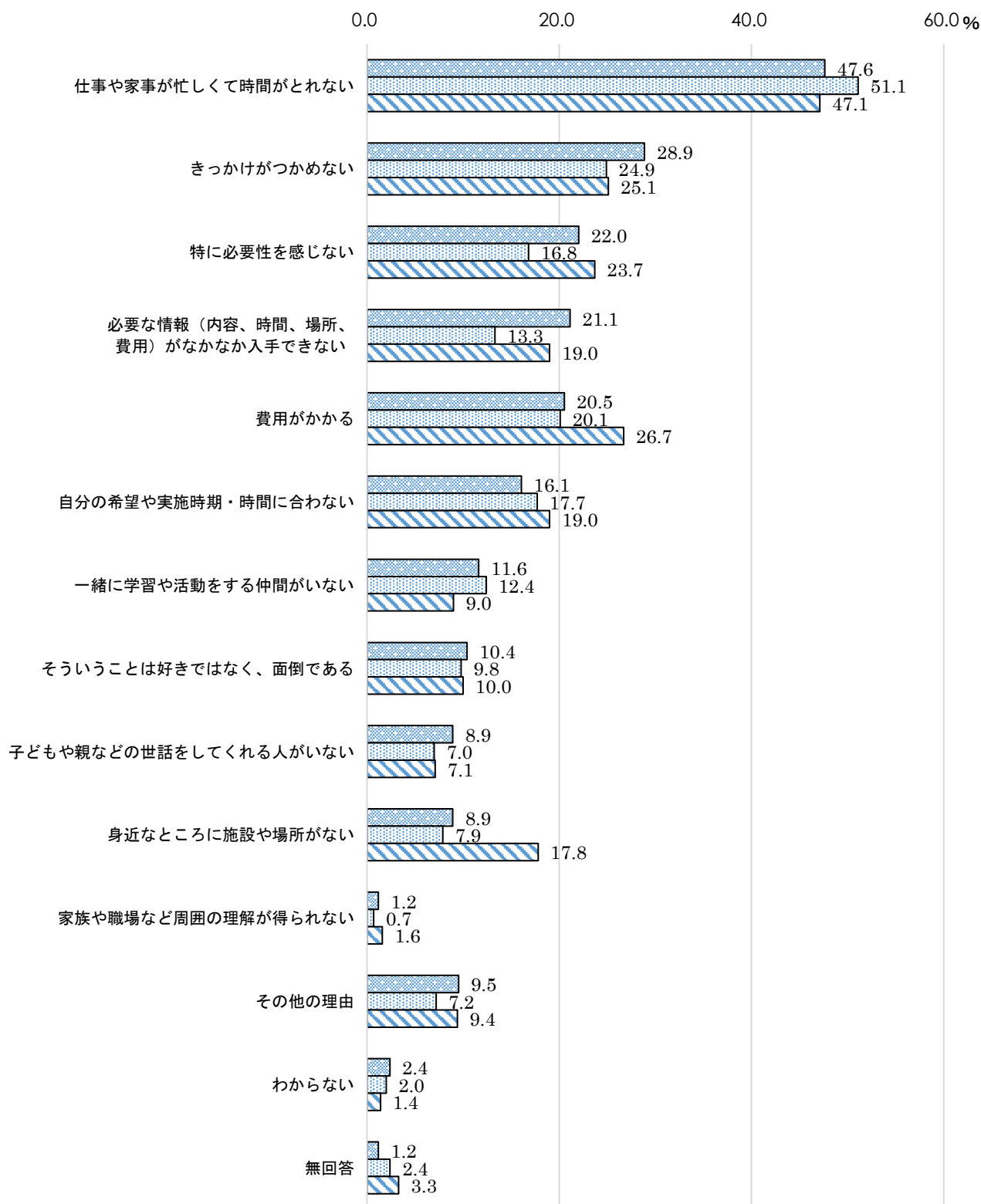
問 21 あなたが、『生涯学習』を行っていない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」の割合が 28.9%、「特に必要性を感じない」の割合が 22.0%となっています。



【経年比較】

令和元年度調査、平成 25 年度調査と比較すると、「きっかけがつかめない」「必要な情報（内容、時間、場所、費用）がなかなか入手できない」の割合が増加しています。一方で、「自分の希望や実施時期・時間に合わない」の割合は減少しています。



■ 令和6年度調査（回答者数＝336） ■ 令和元年度調査（回答者数＝458）

■ 平成25年度調査（回答者数＝490）

【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に必要性を感じない」「必要な情報（内容、時間、場所、費用）がなかなか入手できない」「一緒に学習や活動をする仲間がいない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」「自分の希望や実施時期・時間に合わない」「子どもや親などの世話をしてくれる人がいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事や家事が忙しくて時間がとれない	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	費用がかかる	必要な情報（内容、時間、場所、費用）がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がない	自分の希望や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きっかけがつかめない	そういうことは好きではなく、面倒である	特に必要性を感じない	その他の理由	わからない	無回答
男性	144	42.4	4.2	16.0	27.8	15.3	6.9	11.8	2.1	32.6	13.2	34.0	6.3	1.4	—
女性	182	52.7	13.2	24.2	15.9	9.3	10.4	19.8	0.5	25.8	8.2	13.7	11.5	3.3	1.6
その他／ 答えたくない	3	66.7	—	66.7	33.3	—	33.3	—	—	66.7	33.3	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30～39 歳、40～49 歳及び 50～59 歳で「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」の割合が高く、7 割前後となっています。また、30～39 歳では「子どもや親などの世話をしてくれる人がいない」の割合も高く、3 割を超えています。

単位：％

区分	回答者数（件）	仕事や家事が忙しくて時間がとれない	子どもや親などの世話をしてくれる人がいない	費用がかかる	必要な情報（内容、時間、場所、費用）がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がない	自分の希望や実施時期・時間に合わない	家族や職場など周囲の理解が得られない	きっかけがつかめない	そういうことは好きではなく、面倒である	特に必要性を感じない	その他の理由	わからない	無回答
16～19 歳	1	100.0	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
20～29 歳	12	50.0	16.7	8.3	8.3	—	16.7	8.3	—	33.3	—	16.7	16.7	—	—
30～39 歳	32	68.8	31.3	37.5	18.8	9.4	3.1	9.4	3.1	28.1	18.8	21.9	—	—	—
40～49 歳	51	74.5	19.6	33.3	17.6	5.9	9.8	15.7	—	29.4	9.8	9.8	—	—	—
50～59 歳	79	64.6	3.8	25.3	20.3	10.1	8.9	21.5	—	30.4	8.9	16.5	7.6	3.8	—
60～69 歳	70	38.6	4.3	15.7	30.0	11.4	11.4	24.3	2.9	34.3	5.7	21.4	5.7	1.4	1.4
70 歳以上	84	16.7	2.4	8.3	19.0	19.0	8.3	8.3	1.2	22.6	15.5	38.1	21.4	4.8	2.4

【「その他」記述欄】

この設問における「その他の理由」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

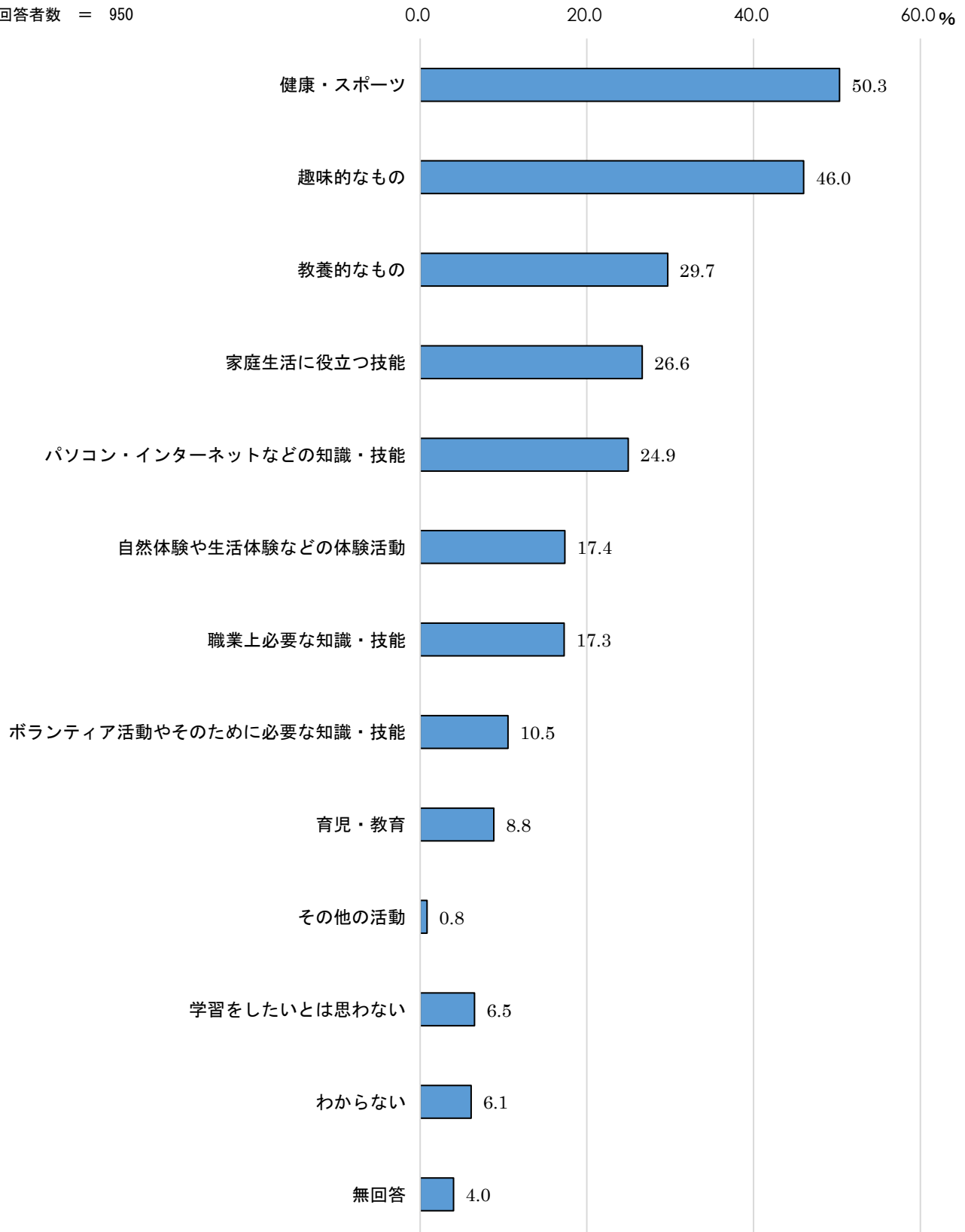
時間がない、介護のため、障害がある、病気のため、高齢、健康上の理由、介護、費用対効果を考慮するから、積極性が低い

- ・興味がないわけではないが行動を起こさなかった。
- ・親が寝たきりで目が離せないため無理である。
- ・コロナ禍でなくなってしまいその後同等のものが見つからない（公民館の体操教室に 10 年通っていた）。
- ・以前は様々な活動に参加したり、ボランティアなどもしたりしてきましたがいつもできることがあればしようと思っています。先日は近所の認知症の方を自宅まで送り届けました。無理せずお互いさまの気持ち大切です。
- ・学ぶことは大好きです。頭の中ではアレコレやりたい事が山ほどありますが、身体が言うことを聞いてくれません。
- ・介護をしていてそんな暇はありません。
- ・行ってみたいと思うほど魅力的なものが無かった。
- ・お金を稼がなくては生活できないためできません。

問 22 あなたは、今後どのような『生涯学習』をしてみたいと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

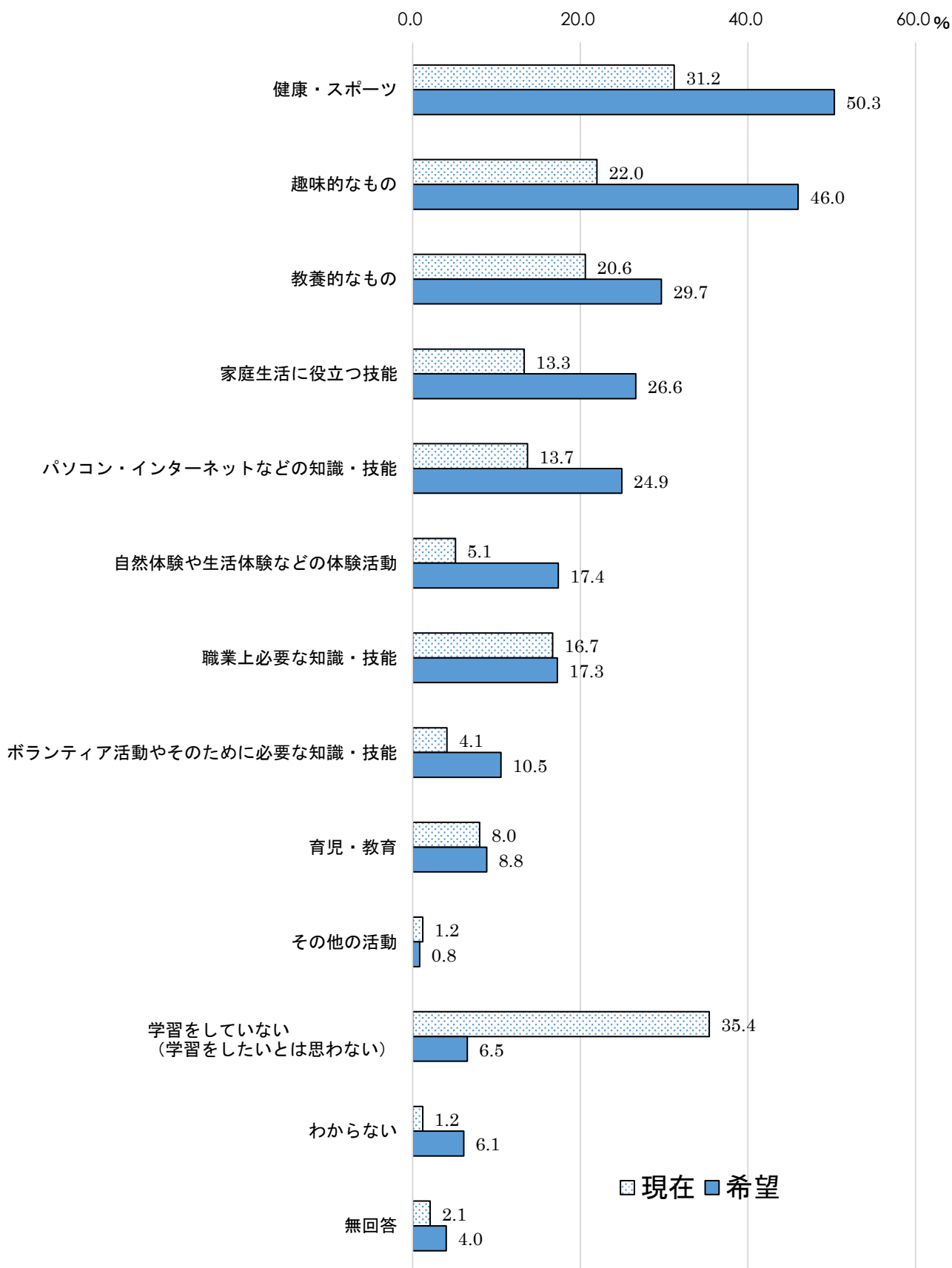
「健康・スポーツ」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「趣味的なもの」の割合が 46.0%、「教養的なもの」の割合が 29.7%となっています。

回答者数 = 950



＜現在と希望の比較＞

問 17 の現在の活動状況と比較すると、「学習をしていない」の 35.4%に対して、「学習をしたいとは思わない」は 6.5%となっています。



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「趣味的なもの」「家庭生活に役立つ技能」「育児・教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	学習をしたいとは思わない	わからない	無回答
男性	392	39.5	31.6	52.8	18.9	8.2	20.7	29.3	11.5	16.6	1.0	8.7	6.1	1.8
女性	504	51.4	28.8	49.8	33.7	9.7	14.1	21.8	10.1	18.3	0.8	5.4	5.6	3.8
その他／ 答えたくない	20	60.0	40.0	50.0	30.0	10.0	35.0	30.0	15.0	10.0	—	—	20.0	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20～29 歳で「趣味的なもの」「健康・スポーツ」の割合が、30～39 歳で「家庭生活に役立つ技能」「育児・教育」「職業上必要な知識・技能」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	趣味的なもの	教養的なもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	パソコン・インターネットなどの知識・技能	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	その他の活動	学習をしたいとは思わない	わからない	無回答
16～19 歳	27	48.1	29.6	37.0	44.4	22.2	29.6	40.7	14.8	18.5	—	—	7.4	—
20～29 歳	51	58.8	41.2	58.8	37.3	19.6	27.5	35.3	7.8	29.4	—	5.9	3.9	2.0
30～39 歳	111	49.5	38.7	55.9	43.2	28.8	36.9	36.0	8.1	26.1	—	4.5	2.7	0.9
40～49 歳	167	50.3	29.9	53.3	25.7	13.2	29.9	25.7	10.8	19.2	0.6	4.2	6.0	0.6
50～59 歳	182	46.2	26.4	51.1	24.7	3.3	13.7	23.1	12.1	13.2	1.1	4.4	9.3	2.2
60～69 歳	185	49.2	35.1	55.7	27.0	2.7	10.3	24.3	13.0	17.3	—	5.9	6.5	1.6
70 歳以上	193	35.2	21.2	41.5	16.1	1.0	1.0	16.6	9.3	10.9	2.6	14.0	5.7	8.8

【「その他」記述欄】

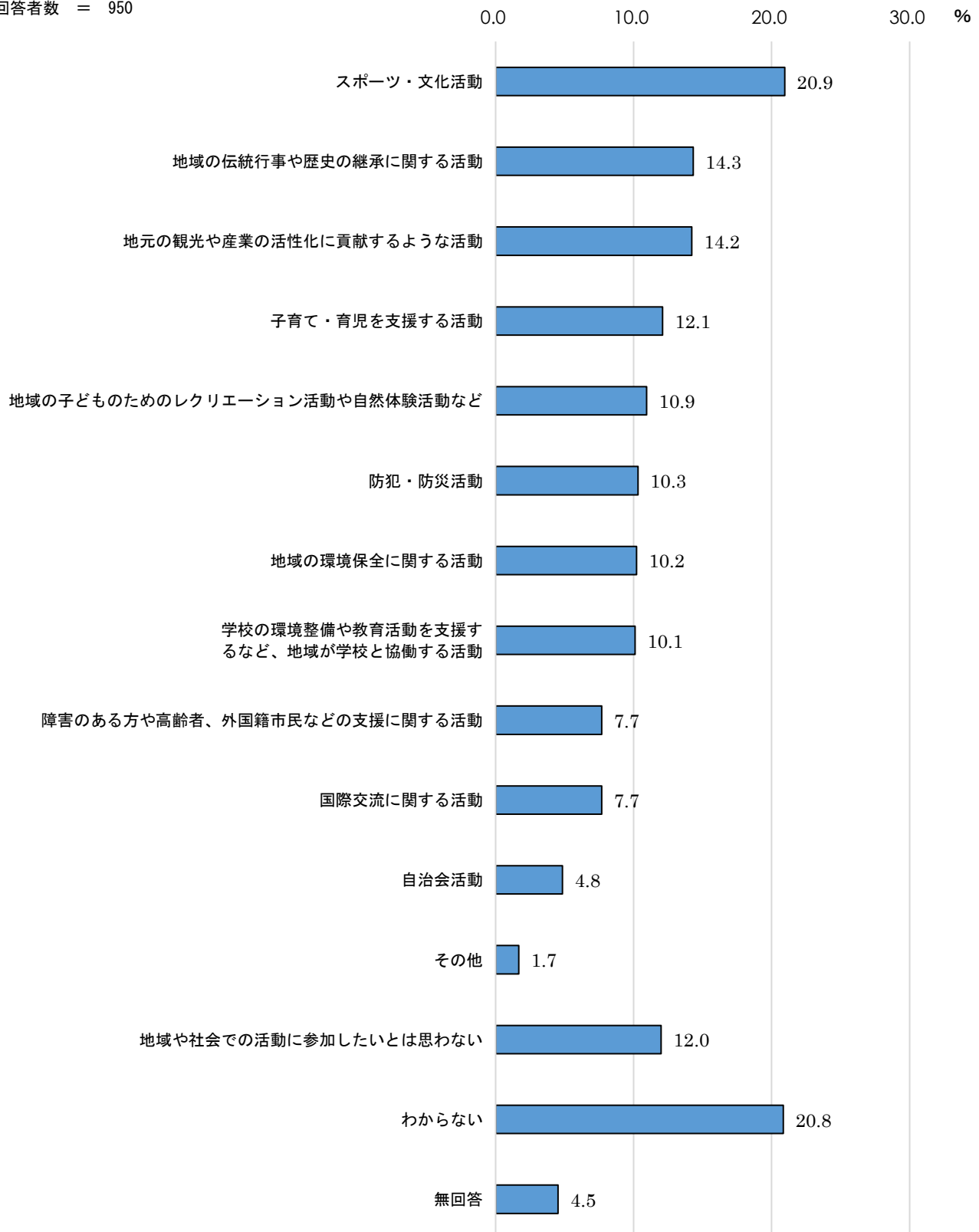
この設問における「その他の活動」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

体力のいらないスポーツ、釣り、老人介護、毎年の作物を子ども食堂に提供したい、介護士

問 23 あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

「スポーツ・文化活動」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 20.8%、「地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 950



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「スポーツ・文化活動」「防犯・防災活動」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育て・育児を支援する活動」「障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	学校の環境整備や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	わからない	無回答
男性	392	11.0	11.7	8.2	14.3	17.3	29.1	5.6	12.8	6.6	15.3	5.6	0.8	11.5	19.1	2.6
女性	504	9.7	11.1	15.7	14.1	12.9	15.9	9.7	8.1	7.7	5.8	4.0	2.2	13.1	22.0	4.4
その他／ 答えたくない	20	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0	10.0	5.0	5.0	25.0	5.0	5.0	—	—	50.0	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、16～19歳及び20～29歳で「スポーツ・文化活動」の割合が高く、4割前後となっています。また、30～39歳で「子育て・育児を支援する活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	学校の環境整備や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思わない	わからない	無回答
16～19歳	27	18.5	18.5	14.8	11.1	14.8	44.4	3.7	18.5	25.9	18.5	7.4	—	3.7	14.8	—
20～29歳	51	9.8	13.7	15.7	19.6	17.6	37.3	11.8	3.9	13.7	3.9	—	—	9.8	13.7	2.0
30～39歳	111	7.2	19.8	27.9	19.8	17.1	21.6	6.3	7.2	9.0	9.0	2.7	—	13.5	17.1	—
40～49歳	167	12.0	17.4	18.6	13.8	18.6	22.8	7.8	10.2	6.6	10.2	3.6	1.2	17.4	18.0	—
50～59歳	182	5.5	6.0	8.2	19.8	14.3	17.0	9.3	9.3	11.0	10.4	3.3	3.3	12.1	26.9	1.6
60～69歳	185	13.5	7.6	7.0	14.6	13.5	20.5	11.4	11.4	7.0	9.2	4.9	2.2	6.5	23.8	2.2
70歳以上	193	10.4	7.8	5.2	4.7	9.8	17.6	3.6	11.4	1.0	10.9	8.8	1.6	13.5	22.3	12.4

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、本庁地区で「地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動」「地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動」の割合が高く、それぞれ2割以上となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	学校の環境整備や教育活動を支援する など、地域が学校と協働する活動	地域の子どものためのレクリエーション 活動や自然体験活動など	子育て・育児を支援する活動	地元の観光や産業の活性化に貢献する ような活動	地域の伝統行事や歴史の継承に関する 活動	スポーツ・文化活動	障害者や高齢者、外国人住民などの支援に 関する活動	地域の環境保全に関する活動	国際交流に関する活動	防犯・防災活動	自治会活動	その他	地域や社会での活動に参加したいとは思 わない	わからない	無回答
本庁管内	274	9.9	10.2	13.5	20.8	20.4	19.3	7.7	13.5	10.2	9.5	2.9	1.5	12.8	19.7	3.3
芳野地区	11	—	9.1	18.2	9.1	9.1	45.5	—	9.1	—	—	9.1	—	9.1	36.4	—
古谷地区	24	—	—	8.3	8.3	8.3	16.7	4.2	12.5	—	4.2	8.3	—	16.7	33.3	8.3
南古谷地区	74	12.2	9.5	12.2	10.8	10.8	17.6	6.8	10.8	5.4	5.4	1.4	—	17.6	29.7	6.8
高階地区	140	12.9	21.4	15.0	10.0	15.0	22.1	9.3	12.9	9.3	10.7	7.9	2.9	10.0	11.4	2.9
福原地区	46	8.7	4.3	8.7	10.9	6.5	17.4	8.7	2.2	8.7	6.5	6.5	2.2	17.4	30.4	4.3
大東地区	100	6.0	9.0	14.0	13.0	13.0	26.0	10.0	7.0	7.0	12.0	4.0	1.0	17.0	19.0	5.0
霞ヶ関地区	96	15.6	11.5	6.3	11.5	11.5	21.9	5.2	8.3	5.2	17.7	9.4	1.0	3.1	25.0	1.0
川鶴地区	22	9.1	4.5	4.5	9.1	13.6	22.7	—	4.5	4.5	9.1	13.6	—	13.6	31.8	—
霞ヶ関北地区	29	6.9	6.9	6.9	10.3	10.3	17.2	3.4	13.8	3.4	13.8	—	3.4	13.8	27.6	6.9
名細地区	59	8.5	11.9	16.9	18.6	8.5	27.1	11.9	1.7	6.8	5.1	—	1.7	10.2	23.7	1.7
山田地区	37	13.5	13.5	10.8	10.8	21.6	21.6	10.8	8.1	8.1	10.8	2.7	2.7	5.4	13.5	—

【「その他」記述欄】

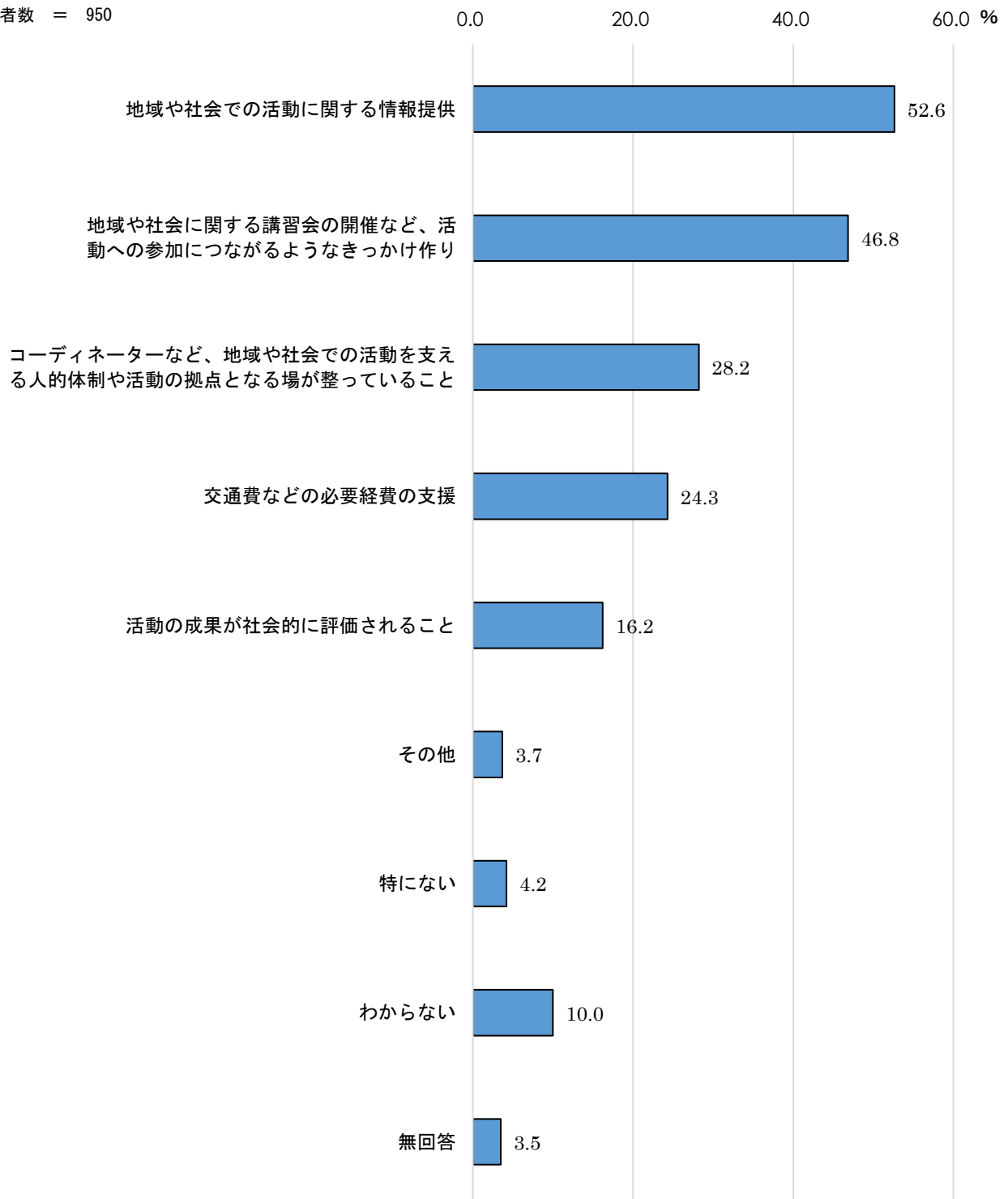
この設問における「その他の活動」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

交通関係、河川の清掃・公園の美化活動、文芸川越、能登のボランティア、こども食堂、まだ余裕がない、仕事で忙しい

問 24 多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをお選びください。
(○はいくつでも)

「地域や社会での活動に関する情報提供」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が 46.8%、「コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること」の割合が 28.2%となっています。

回答者数 = 950



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60～69 歳で「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が高く、5 割を超えています。また、20～29 歳及び 30～39 歳では「交通費などの必要経費の支援」の割合が高く、3 割を超えています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域や社会での活動に関する 情報提供	地域や社会に関する講習会の開催 など、活動への参加につながるような きっかけ作り	コーディネートなど、地域や社会 での活動を支える人的体制や活動の 拠点となる場が整っていること	活動の成果が社会的に 評価されること	交通費などの必要経費の支援	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
16～19 歳	27	55.6	48.1	33.3	29.6	22.2	—	—	7.4	—
20～29 歳	51	49.0	39.2	19.6	27.5	31.4	13.7	2.0	7.8	2.0
30～39 歳	111	54.1	44.1	30.6	20.7	36.0	4.5	3.6	9.0	—
40～49 歳	167	52.7	47.3	34.1	21.6	26.9	4.2	3.0	6.0	—
50～59 歳	182	54.4	42.3	29.7	17.0	23.6	2.7	2.2	12.1	1.6
60～69 歳	185	55.7	54.1	31.9	13.0	24.9	3.2	1.6	11.9	1.1
70 歳以上	193	48.7	48.2	19.7	7.8	14.5	1.0	11.9	12.4	8.8

【地区別】

地区別でみると、他に比べ、芳野地区、古谷地区及び山田地区で「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」の割合が最も高くなっています。また、川鶴地区及び名細地区では「地域や社会での活動に関する情報提供」の割合が高く、6割近くとなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域や社会での活動に関する情報提供	地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り	コーディネートなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	活動の成果が社会的に評価されること	交通費などの必要経費の支援	その他	特にない	わからない	無回答
本庁管内	274	55.8	51.8	35.8	12.8	21.2	2.9	2.9	8.8	1.8
芳野地区	11	45.5	63.6	9.1	9.1	36.4	—	9.1	9.1	—
古谷地区	24	29.2	41.7	8.3	12.5	29.2	4.2	8.3	29.2	4.2
南古谷地区	74	50.0	37.8	16.2	18.9	17.6	5.4	9.5	10.8	5.4
高階地区	140	57.1	48.6	30.0	24.3	25.0	6.4	1.4	7.9	2.1
福原地区	46	47.8	43.5	37.0	19.6	34.8	—	10.9	13.0	2.2
大東地区	100	51.0	40.0	27.0	18.0	24.0	2.0	4.0	14.0	4.0
霞ヶ関地区	96	51.0	47.9	26.0	17.7	32.3	6.3	4.2	7.3	—
川鶴地区	22	59.1	45.5	9.1	9.1	13.6	—	9.1	18.2	—
霞ヶ関北地区	29	51.7	48.3	27.6	31.0	20.7	3.4	3.4	3.4	10.3
名細地区	59	59.3	47.5	33.9	5.1	23.7	1.7	6.8	6.8	—
山田地区	37	45.9	48.6	18.9	16.2	29.7	—	—	13.5	2.7

【「その他」記述欄】

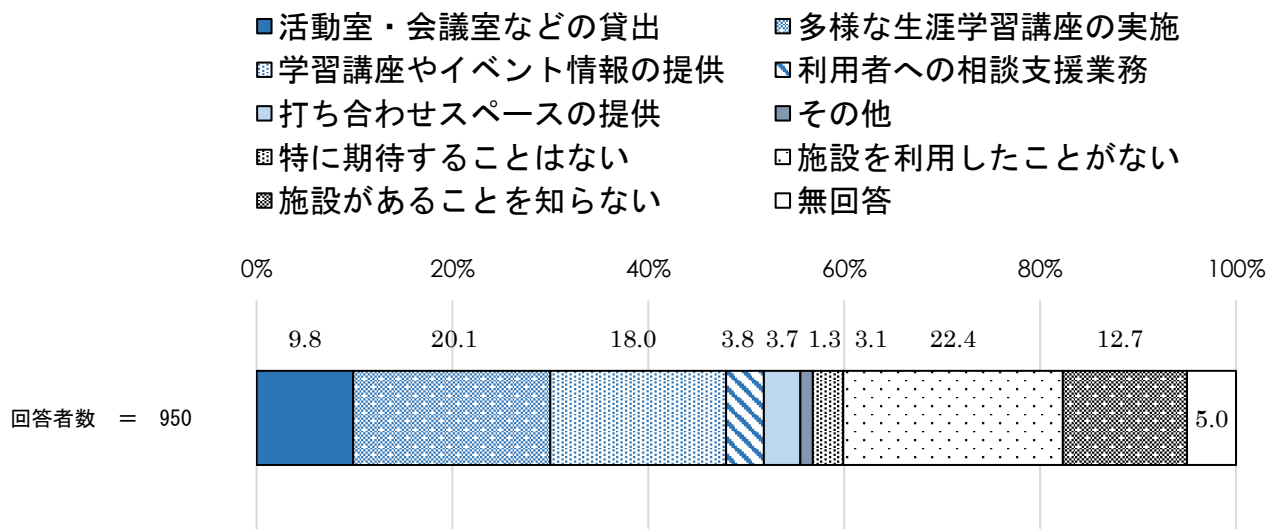
この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

身近な人たちからの誘い、一緒に活動する仲間、活動対象者の活動の理解、自分自身がやる気になったら、オンライン等での参加など参加デバイスの多様化、自治会、若い人がお年寄りに対する接し方の支援、外国から来た人への支援、障害がある人への支援の仕方の講座、こどもの頃からの活動、家族の理解と自身の体力、こどもの保育施設の拡充、誰もが参加できる催しもの、出入りしやすい拠点、参加することによる明確なメリット、参加しやすい日程での開催、魅力的な活動が開催されていることの周知

- ・仕事や日常の家事・介護などで自由になる時間がない。
- ・図書館・児童館や公民館など多くの人が訪れる場所の活用（子育て世代の人もよく訪れる図書館での情報提供や催しは、多くの人々の目に留まりやすくハードルを下げられるのではない）。
- ・川越市が文化振興以外にも積極的になること。
- ・老人のために老人による何かではなく若い人が何かを発足するか。
- ・本人が活動に参加したいと思う気持ちが一番（情報提供だけでは難しい）。
- ・共働き世帯のこどもを参加させるためには時期や時間帯を考慮すること。
- ・こどものころから地域社会での活動に参加するような社会づくりが必要。
- ・将来的に地域社会に参加できるようになるためにまず個人として充実すること。
- ・自治会の活動を活発にする・地域のコミュニケーションを作る・人の輪づくりが重要である。
- ・給料が上がれば心に余裕ができて休みの日に参加したいと思えるようになるかも。
- ・個人へのメリットを明確にすること（大きなメリットがあること）。
- ・活動に参加することでメリットがある。
- ・つまるところ本人の意思が大事です（なにかやってみようという生活にゆとりが持てる社会にする）。

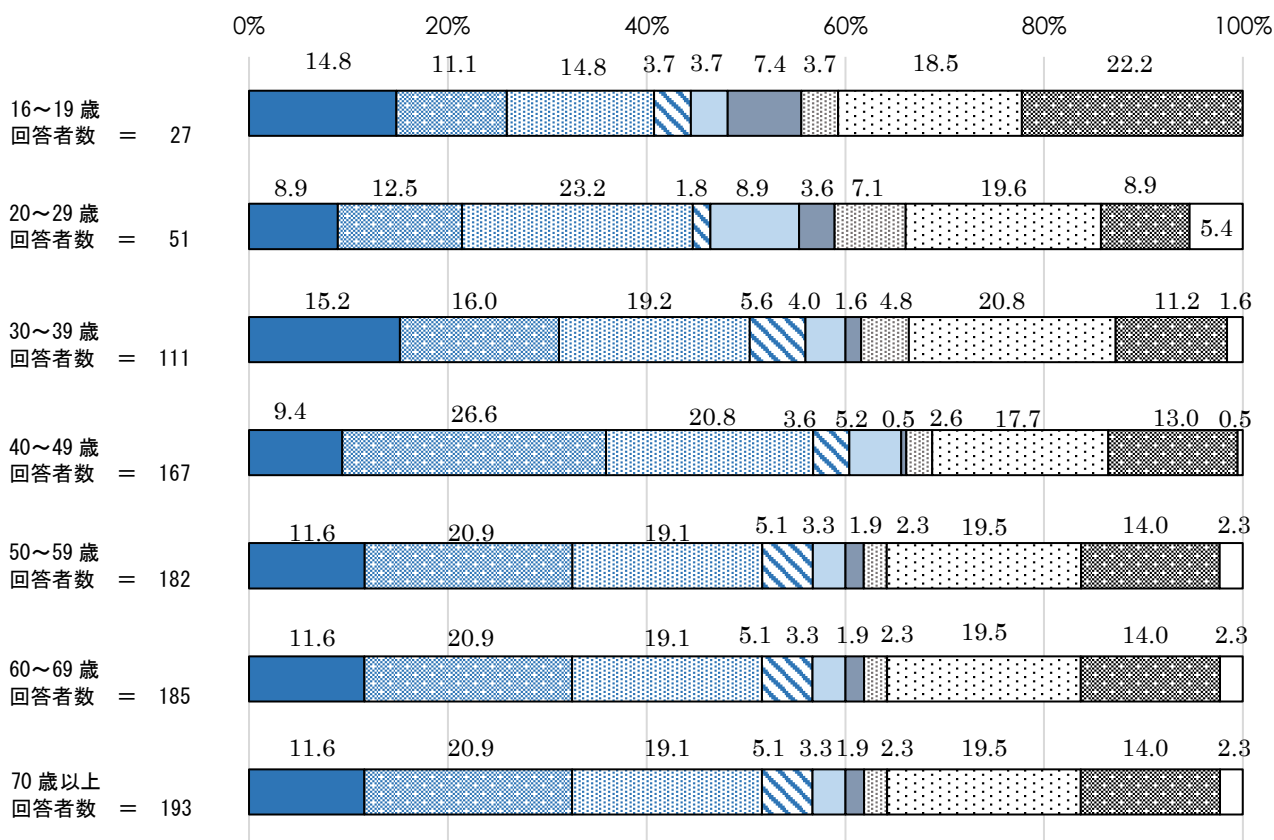
問 25 川越市では、市民の皆さんの自主的な学習活動を支援するため、市民活動の場や生涯学習の機会の充実を目的とした市民活動・生涯学習施設（ウェスタ川越２階）を主体的な学びの場として提供しています。あなたは、この施設にどのような運営・役割を期待しますか。（○は１つ）

「施設を利用したことがない」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「多様な生涯学習講座の実施」の割合が 20.1%、「学習講座やイベント情報の提供」の割合が 18.0%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、16～19歳で「施設があることを知らない」の割合が高く、約２割となっています。



【「その他」記述欄】

この設問における「その他」の選択肢でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

ライブ会場、自習スペース、こどもたちの勉強スペースとして解放、こどもを対象としたイベント、中・高校生の吹奏楽部の土・日・祝日の練習場所、分散して何か所かあるべき、この施設がある事を広く知ってもらうこと、保育施設の拡充、講座を世代別にして欲しい

問 26 あなたが、自分自身の趣味、学習、地域の活動を進める上で、市に望むことがありましたら、ご自由にご記入ください。

【自由記述欄】

この設問でご記入いただいた自由記述回答の主なものは、次のとおりです。

- ・気軽に参加出来る料理教室等有るとうれしい。サービス業なので休日が不定期なので曜日も色々選べると良い。
- ・ボランティア活動で身につけたスキルが社会貢献につながる就労につながるシステムの構築。
- ・定年後 65 才～楽しめる趣味を持ちたいと思っているので、今後時間が合えば市で行うのに参加してみたい。
- ・障がい者支援の人的確保。
- ・例えばゴミ問題など環境整備について関連施設の見学とか勉強会あれば身近な問題から参加できると思う。
- ・公共交通手段が確保されること。これ以上バスが減便されると、会場に行く時間が限られてしまう。
- ・徒歩での移動行動の為近くにある施設でなければ利用出来ない。
- ・老後の生活に生かせる活動。
- ・川越市の歴史講座（縄文・弥生時代～明治）。
- ・公民館の設備の改善。トイレなど。
- ・ウェスタ川越の催し物には行っているが主体的な学びの場として提供されていることを知らなかった。忙しい毎日だと余裕がない。市に望むことはないが経済的な余裕があれば趣味や芸術にひたれるのでは。
- ・子育て中の気分転換になる講座、もしくは子どもと一緒に参加出来る講座に参加したいです。
- ・趣味を持ち、学習してそれを深めていくことや、地域を知り地域のために活動することは、自分の老後を豊かにしてくれると思う。しかし、親の介護のために自分の時間を作ることができない今の私にとって、このアンケートは心が痛んだ。
- ・川越市中心部にイベントが多いため、参加するためには時間、お金、労力が必要となる。オンライン開催を増やすなど、多様な手法を検討していただきたいです。
- ・学習で、興味をひくものがあれば、参加したいのでいろいろなジャンルがあったらいいと思いました。
- ・現状のままで良いと思います。
- ・仲間がいると趣味や学習がもっと楽しめると思うので、市が生涯学習をする上で横のつながりを手助けするサポートが必要だと思う（例えば、その内容に関心がある方の SNS を利用したグループチャットやイベントの実施など）。
- ・休日に参加できるプログラムを増やす。
- ・夜や休祭日・土曜など、働いている人も参加できる時間での活動を希望します。
- ・シルバー世代が活躍できる場を作り、こども世代と交流することでシルバー世代に生きがいを与える。シルバー世代の経験・知識を次世代に託す。
- ・今やネットで人・物・事に簡単に繋がれる時代ですから、自治体という枠組がよくわからないので、現状で充分かと思います。

- ・川越に住んでいながら、発信されていることをキャッチ出来ていないかもしれませんね。ウェスタにそのような施設があることを知らなかったし。川越に学習したい人、教えたい人用に HP を作っては？ 見つけやすいと思います。
- ・生涯学習を行っている団体の紹介や PR をする場所や機会を増やし、そういった団体と個人がよりつながりやすくしてもらえると、より多くの人と情報交換や出会う機会が増え、より豊かな時間を過ごすことにつながると思います。
- ・腹話術や人形劇、紙芝居など、スマホに押されて、消えゆくものを、みんなが忘れないようにしてほしい。
- ・自身の趣味や活動をする上でも、子育て世帯は経済的に費用面の負担がかなり大きく、費用面を考えると活動したくてもできないのが現状である。
- ・子育て世帯の経済面の負担が軽くなる施策を行う等、川越市が魅力ある市になれば良い。
- ・市が自らの内部で活動しなくても、専門的な業者を誘致すれば良い。
- ・親世代にも興味のある楽しめる催しがあったらいいかもしれません。
- ・講座やイベントがあっても個々の生活に合っていない時間帯が多く、参加できる人に限りがあること。様々な時間帯に開催され、参加したことで就職、転職、現在就いている職に有益になる様な特典が無い。
- ・自分のことは基本自分ですので、市に期待するという発想がない。
- ・川越出身のミュージシャン・文学者を集めたコンサートや DJ・トークイベント、朗読やビブリオバトルなど。
- ・無料や、チケットをプレゼントしたりして、体験してもらい 40～50 歳代の 1 人でも参加しやすい環境にしてほしい。
- ・こどもなどの預け先が簡単にできるような仕組みを使っていないと自分の時間が取れないのが現実です。
- ・ほとんどの市民に趣味、学習、地域の活動を進めるための道が用意されていると活動を進めやすくなると思う。

令和6年度 川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査報告書

発行日 令和7年3月

発行 川越市

編集 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1

電話：049-224-8811（代表）049-224-6157（直通）

FAX：049-224-8712

E-mail：bunkashinko★city.kawagoe.lg.jp

※送信時は★を@に変更してください

URL：https://www.city.kawagoe.saitama.jp/